

令和6年度
柏市まちづくり推進のための調査
結果報告書

令和6年12月

柏市

目次

第 1 章 調査の概要	1
1 .調査の目的	3
2 .調査の概要	3
3 .調査票の回収状況	3
4 .標本の誤差	6
5 .調査結果を見る上での注意事項	6
6 .調査実施上の工夫	7
第 2 章 調査結果	9
1 .調査対象者の属性	11
2 .各質問項目の結果	13
● 柏市のイメージについて	14
● 柏の葉エリアについて	22
● 手賀沼エリアについて	24
● 健康について	30
● お住まいの状況について	34
● 柏市への気持ちについて	46
● 柏市の取組への満足度について	56
第 3 章 詳細分析	93
1 .CS 分析	95
2 .カイ二乗検定	98
3 .クラメールの連関係数	100
4 .残差分析	102
5 .mGAP 指標（修正地域参画総量）	110
第 4 章 自由記入回答	115
1 .自由記入欄の概要	117
2 .自由記入回答の分析	118
第 5 章 調査票	127

1章 調査概要

本章では、調査の対象者や抽出方法、回収結果など、どのように調査を実施したかについて掲載しています。

1. 調査の目的

柏市第五次総合計画の推進にあたり、まちづくりの進捗状況に対する定性的評価の基礎資料とするため、市の施策や取組による市民の考え方や行動への影響等について調査することを目的としています。

2. 調査の概要

調査対象者：柏市在住の満18歳以上の市民

抽出名簿：住民基本台帳（2024（令和6）年4月30日現在）

標本抽出法：層化系統抽出

調査期間：2024（令和6）年6月18日（火）～7月10日（水）

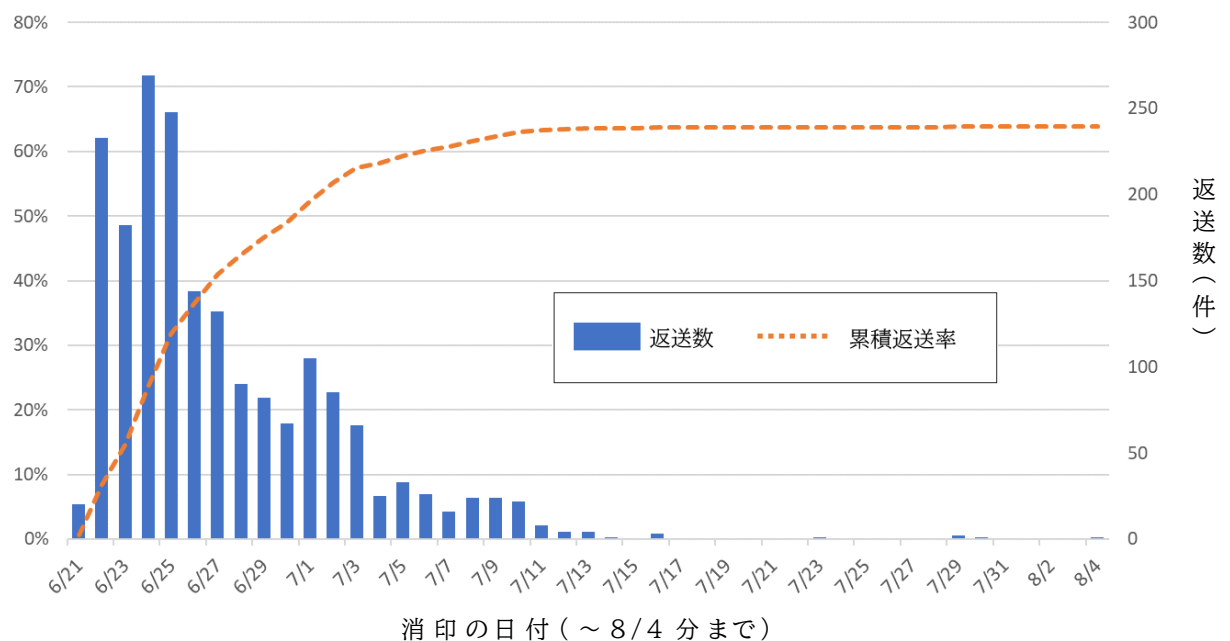
※集計対象は10月8日（火）到着分まで

調査方法：郵送による配布・回収

3. 調査票の回収状況

3.1 返送状況

調査票の返送状況について、図1は消印の日付から調査票の返送状況の経過を示したものです。



（注1）返送数とは、調査票の返送日ごとの件数（日付は消印による）

（注2）累積返送率とは、その日までに返送された件推移の累計を計画標本サイズで割った値

3.2 回収結果

表1 全体

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
3,000 通	1,922 通	1,918 通	63.9 %

(注) 有効回収率は小数点第 2 位で四捨五入

表2 男女別の回収率

	男性	女性	不明	合計
回収標本	811	1,069	38	1,918
計画標本	1,470	1,530	—	3,000
回収率(%)	55.2%	69.9%	—	63.9%

(注) 男女別の回収率の計算には、不明分 38 は含まれていない。

表3 年齢別の回収率

	18～22	23～35	36～50	51～64	65～	不明	合計
回収標本	63	237	458	477	650	33	1,918
計画標本	159	515	751	677	898	—	3,000
回収率(%)	39.6%	46.0%	61.0%	70.5%	72.4%	—	63.9%

(注) 年齢別の回収率の計算には、不明分 33 は含まれていない。

表4 地域別の回収率

	北部	中央	南部	東部	不明	合計
回収標本	476	719	398	221	104	1,918
計画標本	776	1192	667	365	—	3,000
回収率(%)	61.3%	60.3%	59.7%	60.5%	—	63.9%

(注) 地域別回収率の計算には、不明分 104 は含まれていない。

3.3 回収結果に対する適合度の検定

地域別の回収率の違いにより、回収標本が母集団からある程度ずれている可能性があるため、その確認を行いました。

表5は、母集団における地域別の人口分布と回収標本における地域別の人口分布を比較したものです。適合度検定から、地域別の人口分布について、回収標本が母集団と乖離していないことが統計学的に示されました。

表5 地域別の人口分布の比較

地域名	2024（令和6）年 4月1日人口	総人口における 構成比	有効回収数	回収数における 構成比
北部	112,694	25.9%	476	26.2%
中央	173,098	39.7%	719	39.6%
南部	96,852	22.2%	398	22.0%
東部	52,989	12.2%	221	12.2%
合計	435,633	100%	1,814	100%

（注）有効回収数には地域不明の104件は含まれていない。

（適合度検定） $\chi^2 = 0.14$, $df = 3$, $p > 0.05$

各地域の構成

地域名	大字
中央	緑ヶ丘、弥生町、明原、末広町、豊平町、豊町、豊上町、豊住、豊四季台、豊四季、富里、八幡町、柏下、柏、日立台、南柏中央、南柏、東柏、東台本町、東上町、東、中央町、中央、大塚町、大山台、泉町、千代田、西町、新富町、常盤台、松ヶ崎、若葉町、篠籠田、桜台、今谷南町、今谷上町、高田、向原町、戸張、吉野沢、亀甲台町、関場町、永楽台、旭町、ひばりが丘、かやの町、あけぼの、あかね町
北部	北柏台、北柏、布施新町、布施下、布施、柏堀之内新田、柏の葉、柏インター南、柏インター東、中十余二、大青田、大室、船戸山高野、船戸、青田新田飛地、西柏台、西原、正連寺、松葉町、松ヶ崎新田、小青田、宿連寺、十余二、若柴、根戸新田、根戸、呼塚新田、花野井、伊勢原、みどり台
南部	名戸ヶ谷、南増尾、南逆井、藤心、東中新宿、東山、東逆井、中新宿、中原、増尾台、増尾、青葉台、西山、新柏、新逆井、酒井根、光ヶ丘団地、光ヶ丘、逆井藤ノ台、逆井、加賀、つくしが丘
東部	鷺野谷、緑台、柳戸、箕輪新田、箕輪、片山、布瀬、南高柳、藤ヶ谷新田、藤ヶ谷、塚崎、大島田、大津ヶ丘、大井、染井入新田、泉、手賀新田、手賀の杜、手賀、若白毛、高柳新田、高柳、高南台、五條谷、金山、岩井、しいの木台

4. 標本の誤差

この調査の標本誤差は、次式によって得られます。ただし、信頼区間は95%としています。

(注) 信頼区間95%とは、同じ調査を100回実施したときに、そのうち95回は母集団の平均が標本誤差の範囲に収まることを示す。

$$SE = 1.96 \times \sqrt{\frac{p(1-p)}{n}}$$

S E: 標 本 誤 差 (9 5 %)

p : 回 答 比 率

n : 標 本 数

上式を基に、本調査の標本誤差の早見表を以下に示しています。

回答比率 (p) 標本数 (n)	10%または90%	20%または80%	30%または70%	40%または60%	50%
2,000	1.3%	1.8%	2.0%	2.1%	2.2%
1,600	1.5%	2.0%	2.2%	2.4%	2.5%
1,000	1.9%	2.5%	2.8%	3.0%	3.1%
400	2.9%	3.9%	4.5%	4.8%	4.9%

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する有効回答者数です。
- ・調査結果の数値は回答率(%)で示しています。%の母数は、その設問に回答した数又は分類別(性別等)の数です。
- ・百分率(%)の計算は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせても100%にならない場合があります。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい設問)においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。

6. 調査実施上の工夫

この調査では、調査及び回収を円滑に実施するために、いくつかの工夫を行っています。ここでは代表的なものについて記載をします。

6.1 予告はがきの送付

調査票が届いたのちスムーズに回答できるように、調査票発送の前に予告はがきを送付しました。事前に調査の実施を通知することで、調査対象者が心の準備をすることができるとともに、その後に届く調査票が正式なものであるという信頼感を与えられることを期待したものです。今回は6月17日(月)に予告はがきを送付しています。

6.2 調査票送付日

調査票の送付は6月19日(水)に行いました。これは、予告はがき到着から時間を空けすぎないこと、週末となる金曜日頃に調査票を受け取ることの2点を意識したものです。

6.3 同封物

調査に協力いただいた謝礼として、ノベルティを同封しました。ノベルティには「令和6年度柏市まちづくり推進のための調査」と表記し、本調査専用制作を行いました。

なお、事前にも事後にも金銭的な謝礼は一切行っていません。

6.4 調査票の構成デザイン

二段組にすることで余分なスペースを無くし、A4サイズ8ページ(両面)に収まる調査票としています。

その他、質問文をゴシック、選択肢を明朝とすることで視覚的なわかりやすさを重視しました。

6.5 封筒

調査票を送付する封筒は、調査票が曲がらないように角2サイズのものを利用しました。封筒の色も、他の封筒と一緒にいても目立つようにカラー封筒を使用しています。

一方、返信用封筒は、調査対象者が回答票を封入しやすくなるようにハイシール加工済みのものを使用しました。

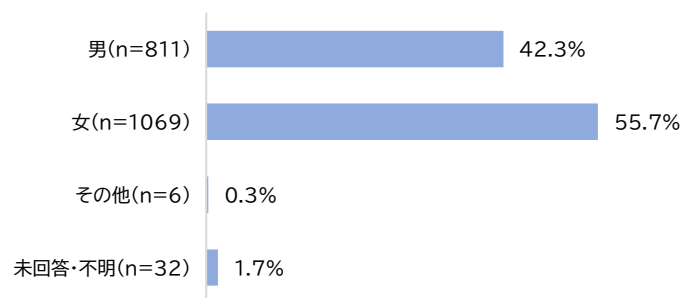
2章 調査結果

本章では、各質問ごとに集計した結果をグラフとともに掲載しています。

1. 調査対象者の属性

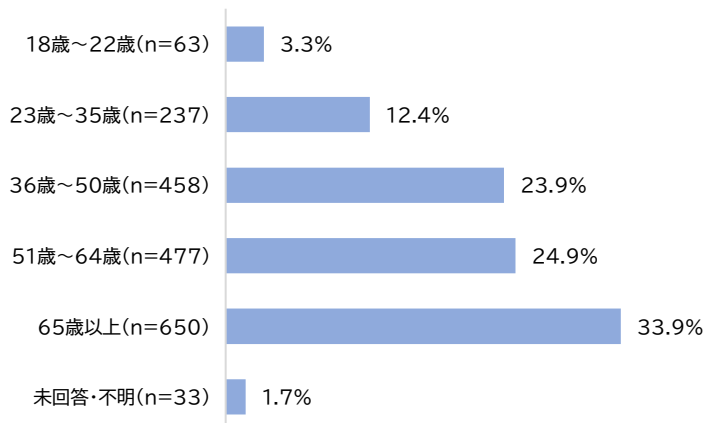
調査票の質問順とは異なりますが、はじめに本調査における回答者の属性を掲載します。

Q25.あなたの性別を教えてください。



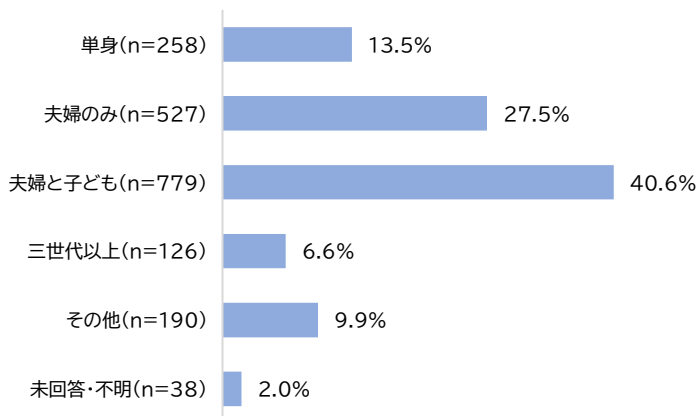
	n	%
男	811	42.3
女	1,069	55.7
その他	6	0.3
未回答・不明	32	1.7
合計	1,918	100

Q26.あなたの年齢を教えてください。



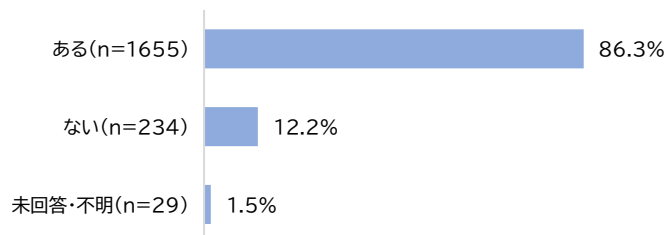
	n	%
18歳～22歳	63	3.3
23歳～35歳	237	12.4
36歳～50歳	458	23.9
51歳～64歳	477	24.9
65歳以上	650	33.9
未回答・不明	33	1.7
合計	1,918	100

Q27.あなたの家族構成を教えてください。



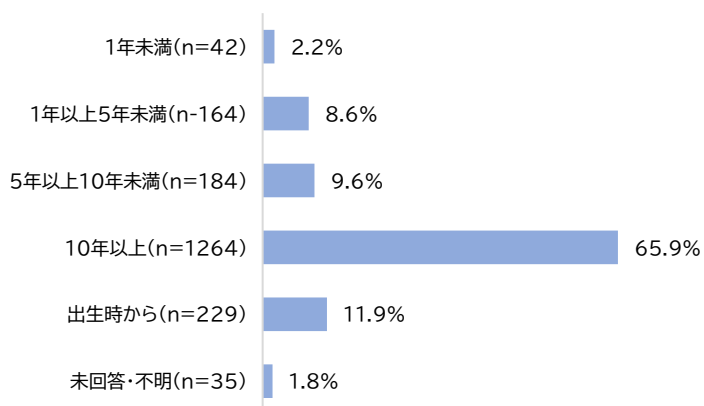
	n	%
単身	258	13.5
夫婦のみ	527	27.5
夫婦と子ども	779	40.6
三世代以上	126	6.6
その他	190	9.9
未回答・不明	38	2.0
合計	1,918	100

Q28. 柏市以外での居住経験はありますか。



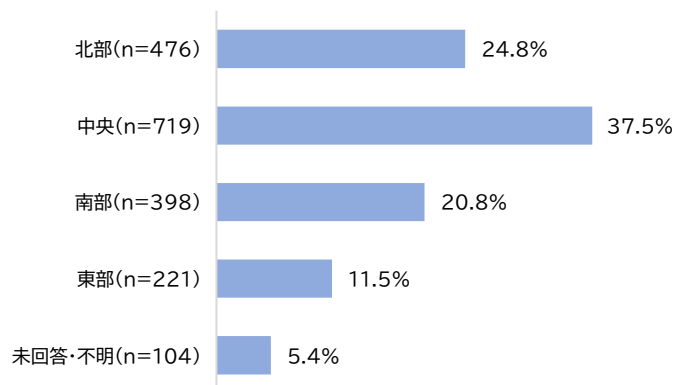
	n	%
ある	1,655	86.3
ない	234	12.2
未回答・不明	29	1.5
合計	1,918	100

Q29. 柏市に住んでいる期間はどれくらいですか。



	n	%
1年未満	42	2.2
1年以上5年未満	164	8.6
5年以上10年未満	184	9.6
10年以上	1,264	65.9
出生時から	229	11.9
未回答・不明	35	1.8
合計	1,918	100

Q30. あなたの家の郵便番号を教えてください。



	n	%
北部	476	24.8
中央	719	37.5
南部	398	20.8
東部	221	11.5
未回答・不明	104	5.4
合計	1,918	100

2. 各質問項目の結果

ここからは質問項目についての結果の概要を示します。基本的には、上から順に性別・年齢・地域・居住年数によるクロス集計を提示しています。

なお、選択肢において、対象者がいないためわからない・対象でないと回答した者は、非該当者としてグラフからは除外しています。

☒ とても思う
 ☒ どちらかといえば
 そう思う
 ☐ どちらかといえば
 そう思わない
 ☒ 全く思わない
 ☐ 未回答・不明



【全体】

「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合は64.0%、「全く思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“思わない”の割合は34.9%となっています。

【性別】

性別で見ると、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合は、男性では64.7%であり、女性では63.8%となっています。

また、「全く思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“思わない”の割合は、男性では34.2%であり、女性では35.3%となっています。

【年齢】

年齢別で見ると、「とても思う」と回答した割合が最も高いのは18歳～22歳の25%であり、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合は68.8%となっています。

一方、“思う”の割合が最も低いのは23歳～35歳の57.8%となっています。

【地域】

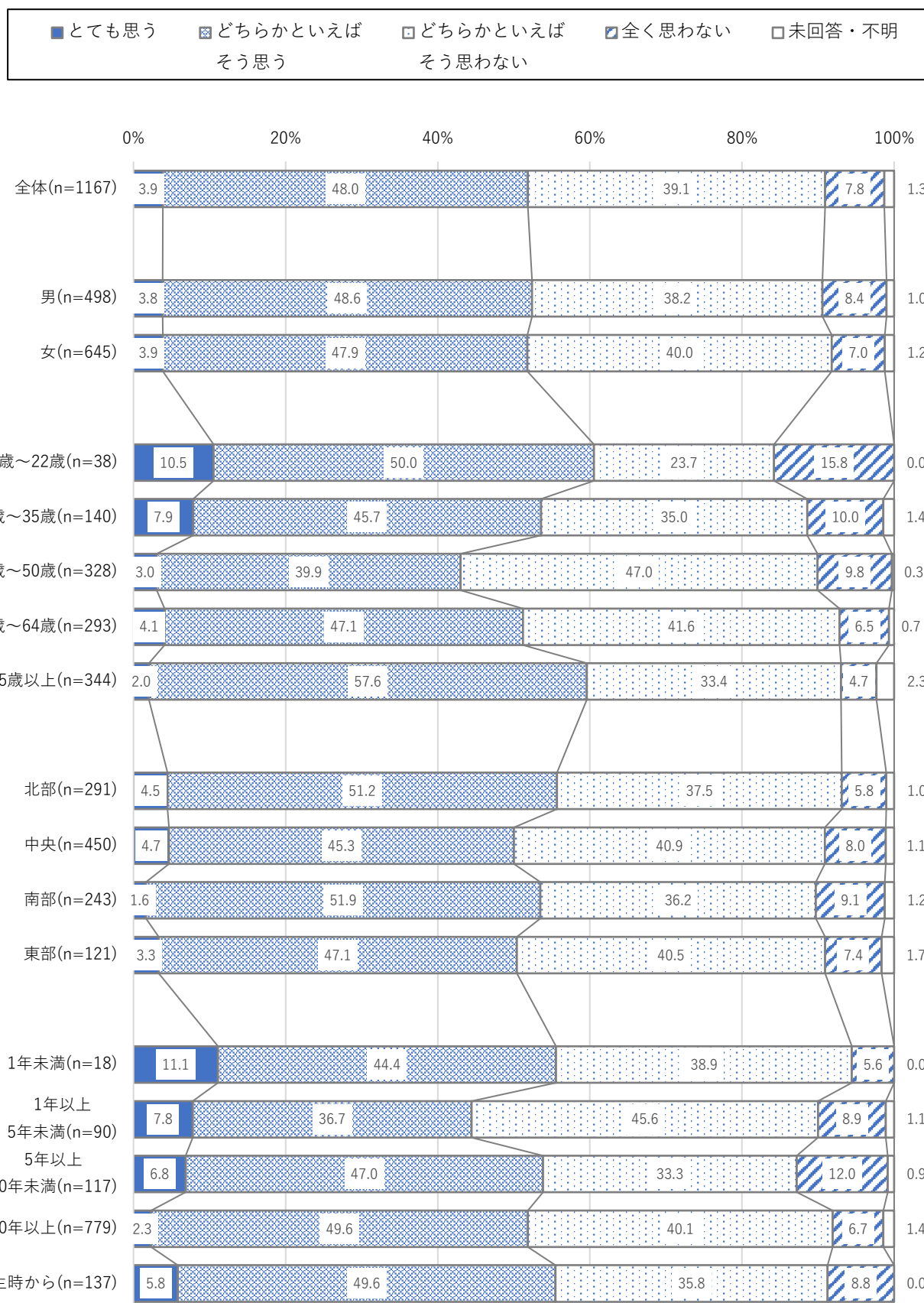
地域別で見ると、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合について高い順に、北部69.8%、南部66.5%、東部63.0%、中央59.7%となっています。

【居住年数】

居住年数別で見ると、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が最も高いのは10年以上で65.7%となっています。

一方、“思う”の割合が最も低いのは1年未満の57.2%となっています。

Q2. あなたは、現在の柏市の「教育環境は充実している」と思いますか。



【全体】

「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合は51.9%、「全く思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“思わない”の割合は46.9%となっています。

【性別】

性別で見ると、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合は、男性では52.4%であり、女性では51.8%となっています。

また、「全く思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“思わない”の割合は、男性では46.6%であり、女性では47.0%となっています。

【年齢】

年齢別で見ると、「とても思う」と回答した割合が最も高いのは18歳～22歳の10.5%であり、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合は60.5%となっています。

一方、“思う”の割合が最も低いのは36歳～50歳の42.9%となっています。

【地域】

地域別で見ると、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合について高い順に、北部55.7%、南部53.5%、東部50.4%、中央50.0%となっています。

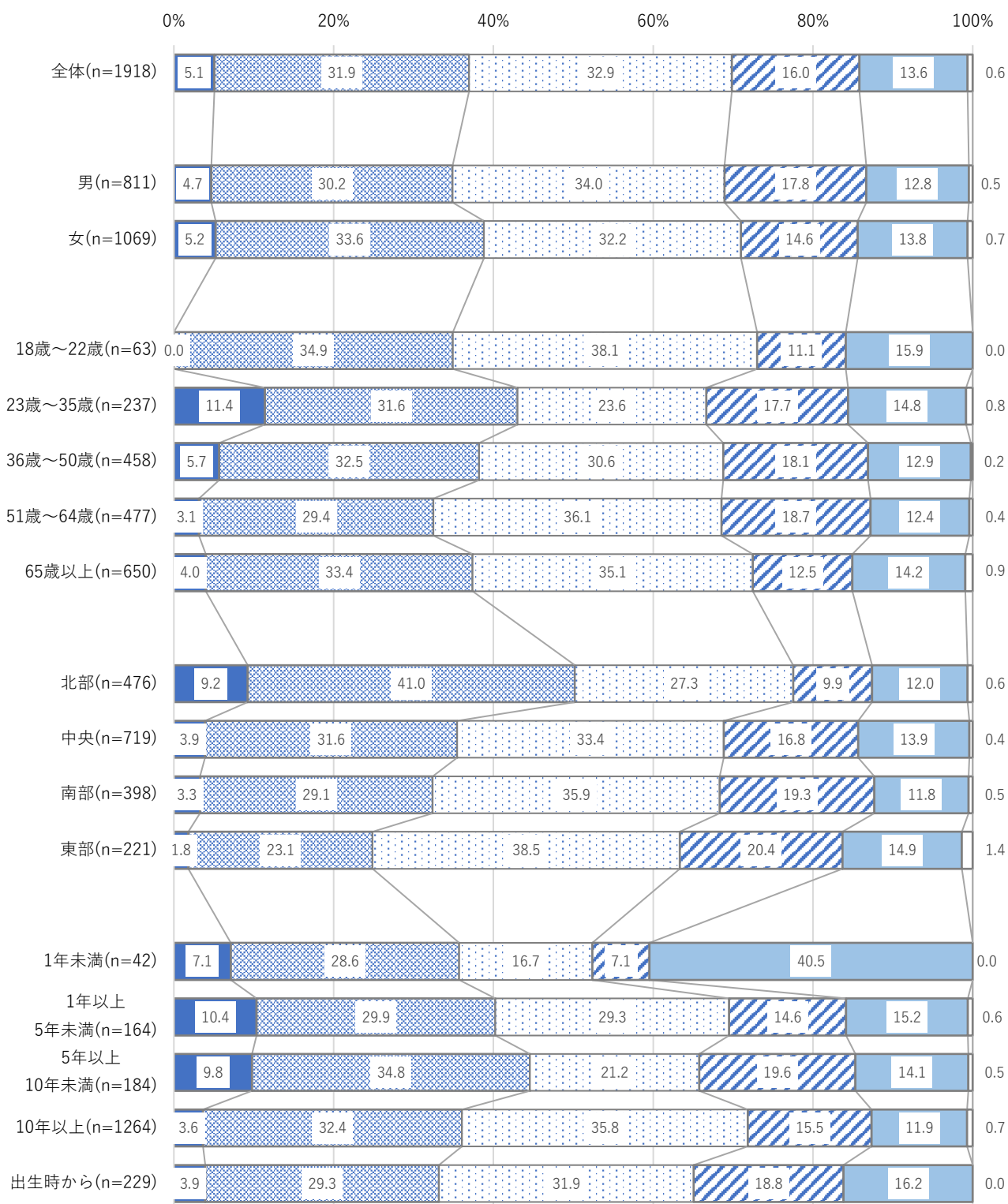
【居住年数】

居住年数別で見ると、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が最も高いのは1年未満の55.5%となっています。

一方、“思う”の割合が最も低いのは1年以上5年未満の44.5%となっています。

Q3. あなたの「お住まいの地域」は、人が集まるイベントや活動が盛んだと思いますか。

とても思う
 どちらかといえばそう思う
 どちらかといえばそう思わない
 全く思わない
 わからない
 未回答・不明



【全体】

「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合は37.0%、「全く思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“思わない”の割合は48.9%となっています。

【性別】

性別でみると、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合は、男性では34.9%であり、女性では38.8%となっています。

また、「全く思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“思わない”の割合は、男性では51.8%であり、女性では46.8%となっています。

【年齢】

年齢別で見ると、「とても思う」と回答した割合が最も高いのは23歳～35歳の11.4%であり、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合は43%となっています。

一方、“思う”の割合が最も低いのは51歳～64歳の32.5%となっています。

【地域】

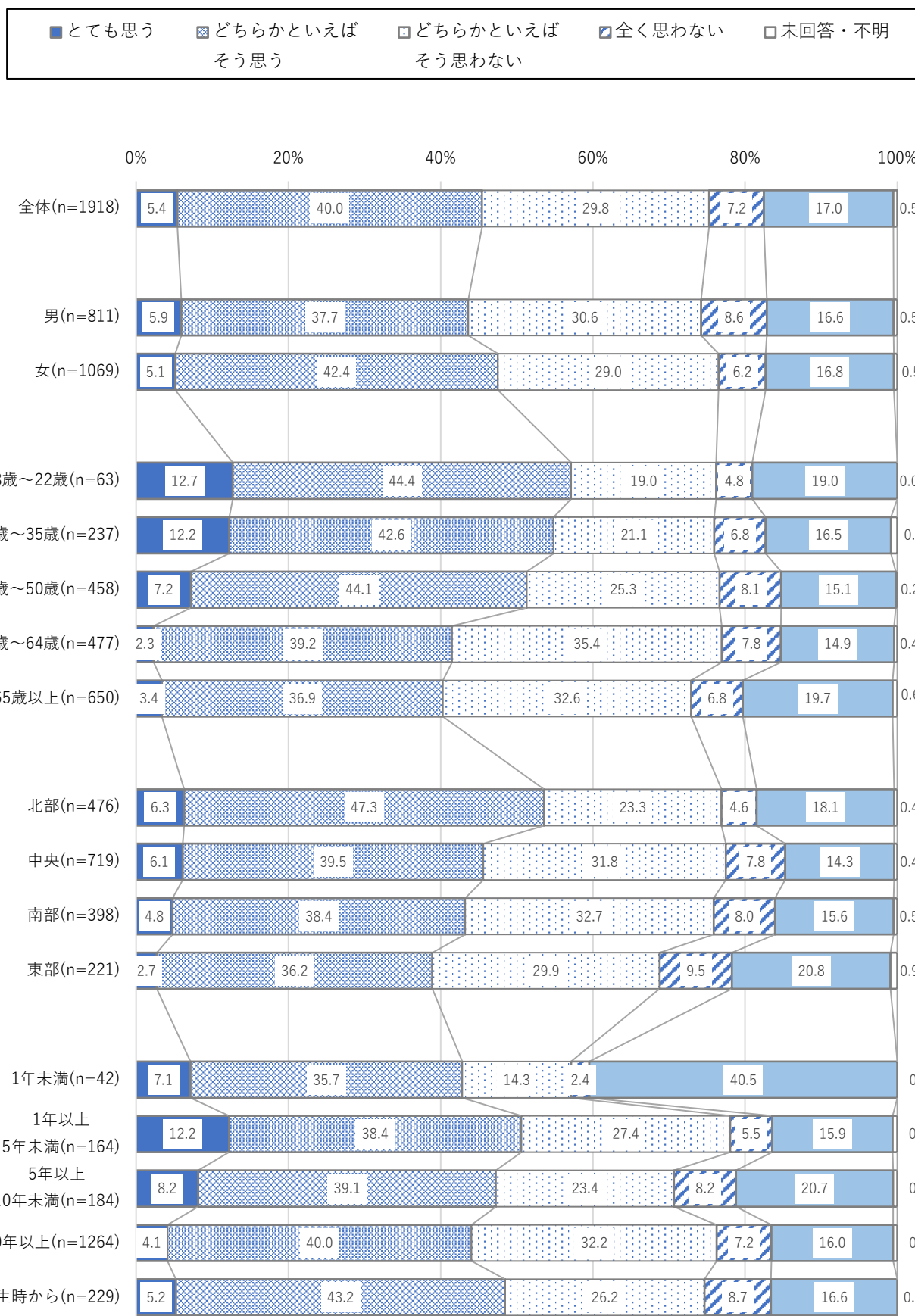
地域別で見ると、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合について高い順に、北部50.2%、中央35.5%、南部32.4%、東部24.9%となっています。

【居住年数】

居住年数別で見ると、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が最も高いのは5年以上10年未満で44.6%となっています。

一方、“思う”の割合が最も低いのは出生時からの33.2%となっています。

Q4.「柏市」は、人が集まるイベントや活動が盛んだと思いますか。



【全体】

「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合は45.4%、「全く思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“思わない”の割合は37.0%となっています。

【性別】

性別で見ると、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合は、男性では43.6%であり、女性では47.5%となっています。

また、「全く思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“思わない”の割合は、男性では39.2%であり、女性では35.2%となっています。

【年齢】

年齢別で見ると、「とても思う」と回答した割合が最も高いのは18歳～22歳の12.7%であり、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合は57.1%となっています。

一方、“思う”の割合が最も低いのは65歳以上の40.3%となっています。

【地域】

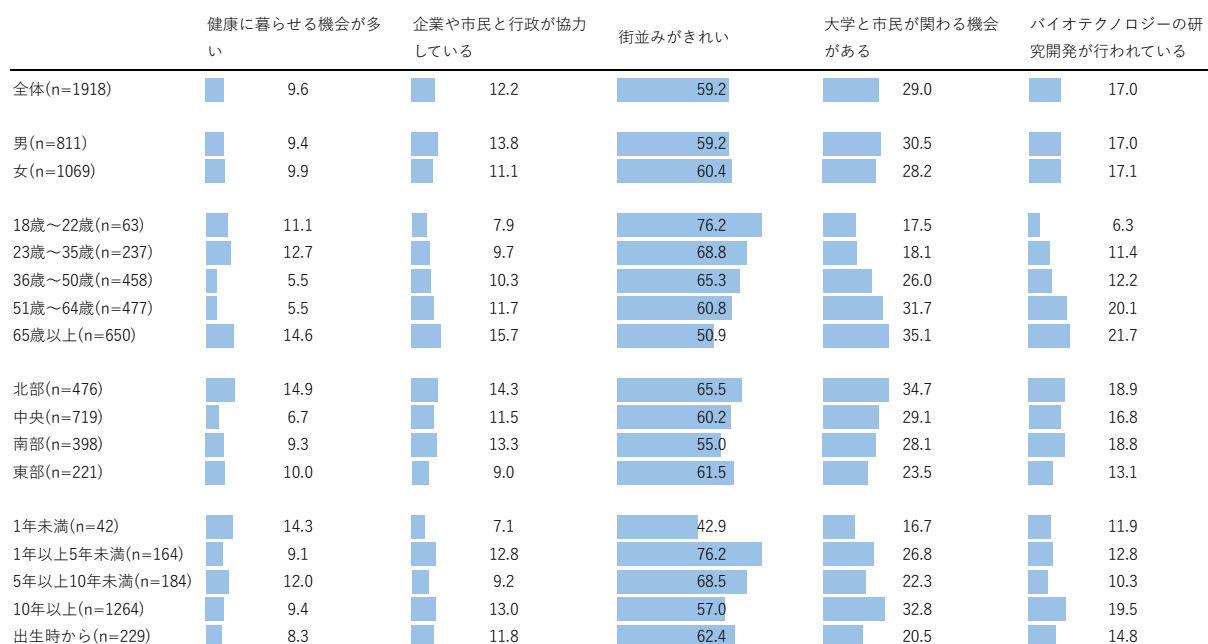
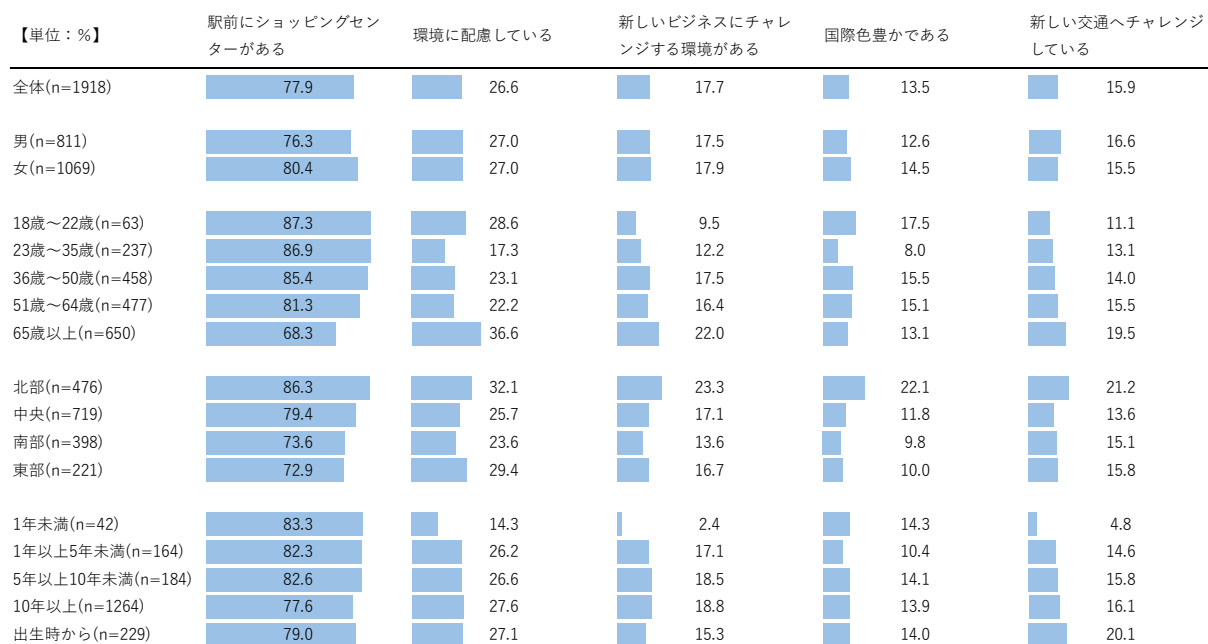
地域別で見ると、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合について高い順に、北部53.6%、中央45.6%、南部43.2%、東部38.9%となっています。

【居住年数】

居住年数別で見ると、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が最も高いのは1年以上5年未満で50.6%となっています。

一方、“思う”の割合が最も低いのは1年未満の42.8%となっています。

Q5. あなたが「柏の葉エリア」と聞いて思い浮かぶ印象について、以下の選択肢からすべて選んでください。



最も多く選ばれているのは「駅前にショッピングセンターがある」であり、年齢や地域にかかわらず、概ね70％以上の方が選択しています。

次に多く選ばれているのは「街並みがきれい」であり、特に18歳～22歳においては76.2％が選択しています。

Q6. スマートシティではデジタル技術など新しい技術を活用し、社会課題の解決を目指しています。以下の選択肢のうち、あなたの生活で必要とするものを3つまで選んでください。

【単位：％】	脱炭素社会を実現する省エネルギーな暮らし	いつまでも健康で暮らせる仕組み	好きな時に快適に移動できる交通手段	安心できる暮らしを支える防犯システム	災害状況を知らせてくれる情報ネットワーク
全体(n=1918)	16.2	52.8	47.2	47.7	21.3
男(n=811)	15.2	54.7	45.9	45.3	18.6
女(n=1069)	17.4	52.2	49.0	50.5	23.9
18歳～22歳(n=63)	15.9	50.8	60.3	49.2	23.8
23歳～35歳(n=237)	14.3	51.1	55.7	60.3	22.4
36歳～50歳(n=458)	15.3	49.1	44.3	49.3	22.9
51歳～64歳(n=477)	18.2	53.9	49.3	49.3	23.5
65歳以上(n=650)	16.8	56.9	44.9	42.3	18.6
北部(n=476)	15.5	48.5	43.3	51.9	26.1
中央(n=719)	17.4	55.2	48.5	50.8	20.0
南部(n=398)	19.1	56.5	49.5	44.2	20.9
東部(n=221)	12.7	55.7	51.6	40.3	16.7
1年未満(n=42)	14.3	38.1	52.4	61.9	26.2
1年以上5年未満(n=164)	18.9	45.1	52.4	54.3	20.1
5年以上10年未満(n=184)	17.4	53.8	50.0	56.5	17.9
10年以上(n=1264)	17.1	55.2	46.4	45.5	21.4
出生時から(n=229)	10.5	51.1	49.3	50.2	24.5

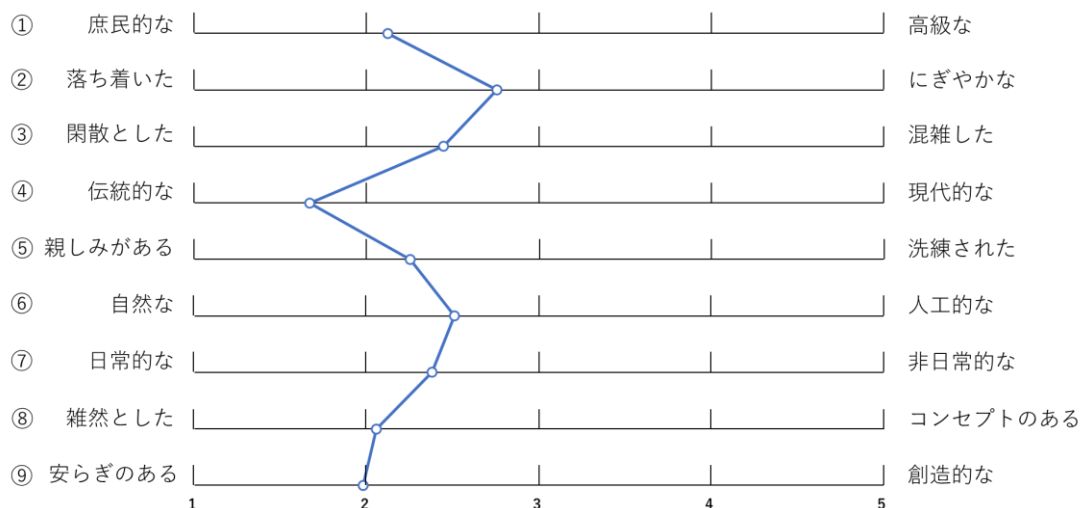
	地域の声をまちづくりに反映できる仕組み	生涯学べ、誰もが新しいことに挑戦できる環境	新しい事業に挑戦できる仕組み	最先端のがん予防、治療が受けられる環境	国際的な交流が活発な環境
全体(n=1918)	19.4	17.2	4.2	26.0	5.9
男(n=811)	21.5	15.9	6.4	27.3	6.5
女(n=1069)	18.0	18.7	2.7	25.4	5.6
18歳～22歳(n=63)	20.6	11.1	7.9	19.0	14.3
23歳～35歳(n=237)	23.6	15.2	5.5	19.8	5.5
36歳～50歳(n=458)	21.8	20.7	6.1	23.6	7.2
51歳～64歳(n=477)	17.2	20.1	2.7	25.6	5.2
65歳以上(n=650)	18.2	14.5	3.4	31.5	5.1
北部(n=476)	17.9	17.9	5.5	26.5	8.6
中央(n=719)	18.1	18.9	3.8	25.0	5.6
南部(n=398)	22.1	15.1	5.3	26.6	4.5
東部(n=221)	23.5	17.2	2.3	28.5	5.9
1年未満(n=42)	21.4	9.5	2.4	23.8	7.1
1年以上5年未満(n=164)	14.6	17.7	6.7	14.6	13.4
5年以上10年未満(n=184)	23.9	18.5	4.3	20.7	4.3
10年以上(n=1264)	19.4	18.1	3.8	28.3	5.4
出生時から(n=229)	21.4	14.0	5.7	27.9	4.8

多く選ばれているのは「いつまでも健康で暮らせる仕組み」「好きな時に快適に移動できる交通手段」「安心できる暮らしを支える防犯システム」であり、約半数の方が選択しています。

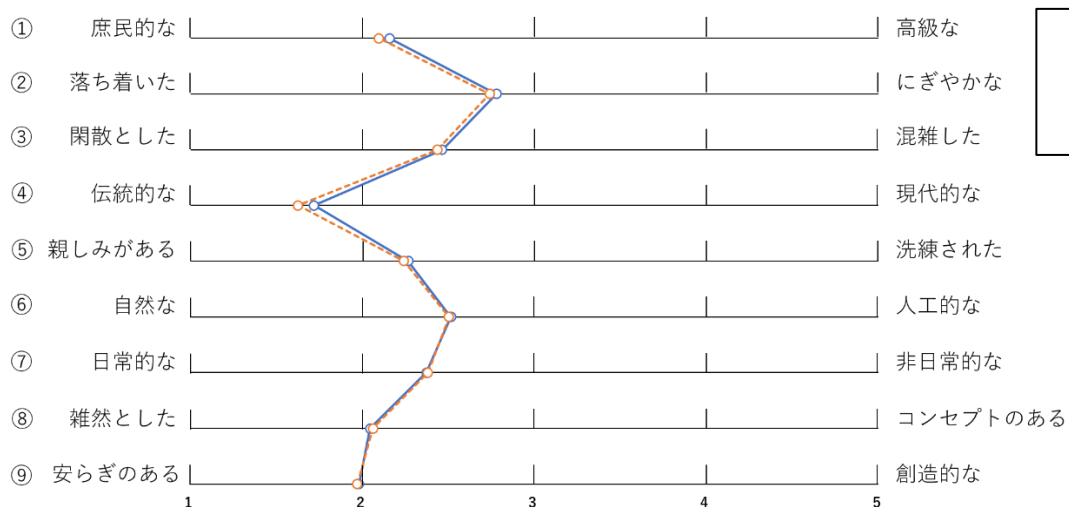
Q7. あなたが「手賀沼エリア」と聞いて思い浮かぶイメージについて、以下の言葉ごとに、あなたの気持ちに近いものを1つ選んでください。

※回答を得点化し、各イメージについて平均点を算出しています。

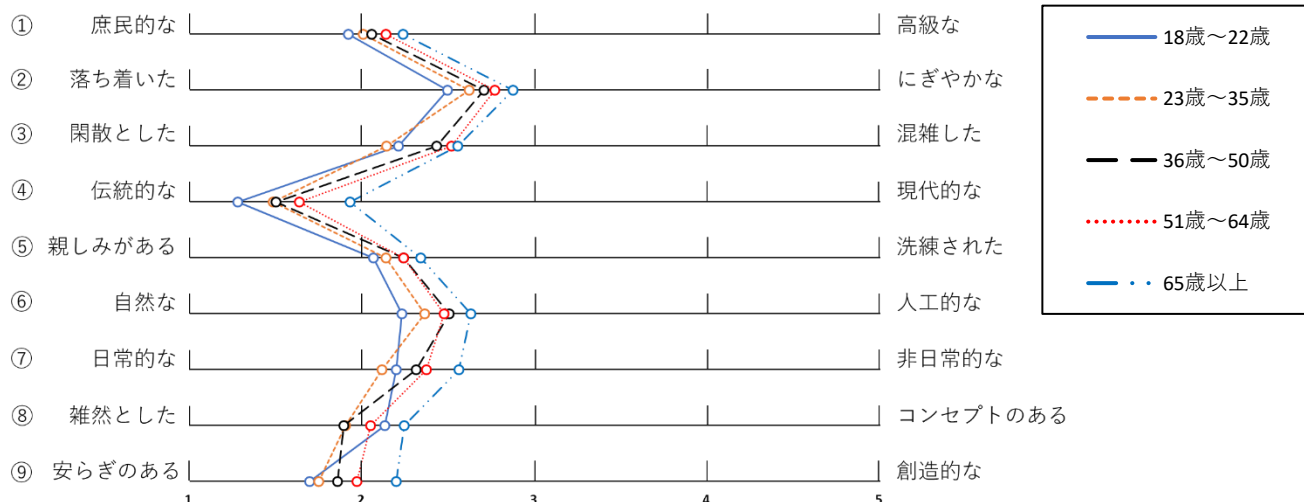
【全体】



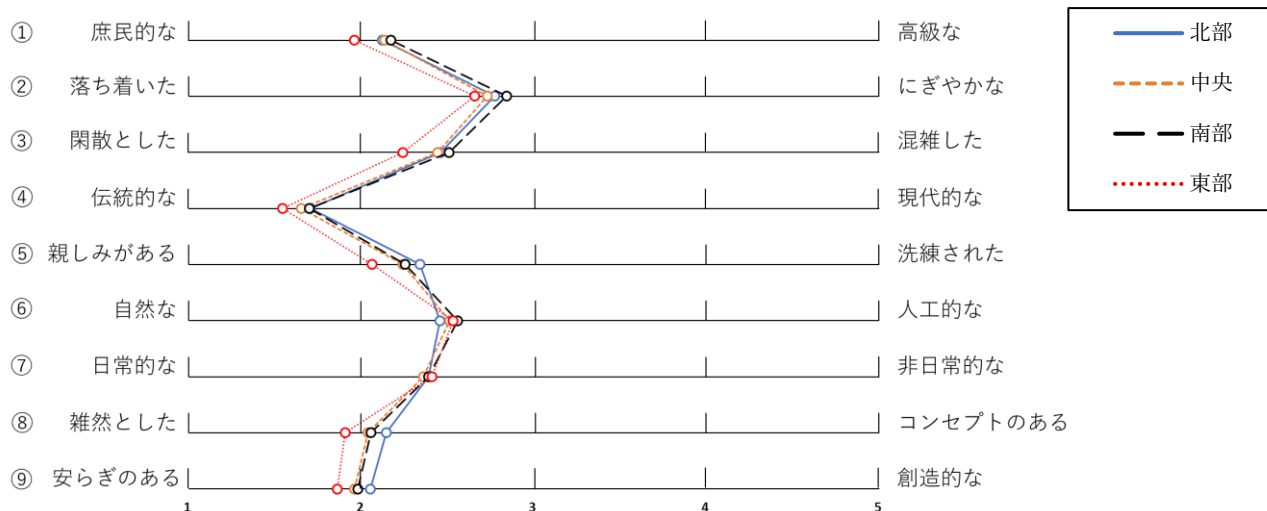
【性別】



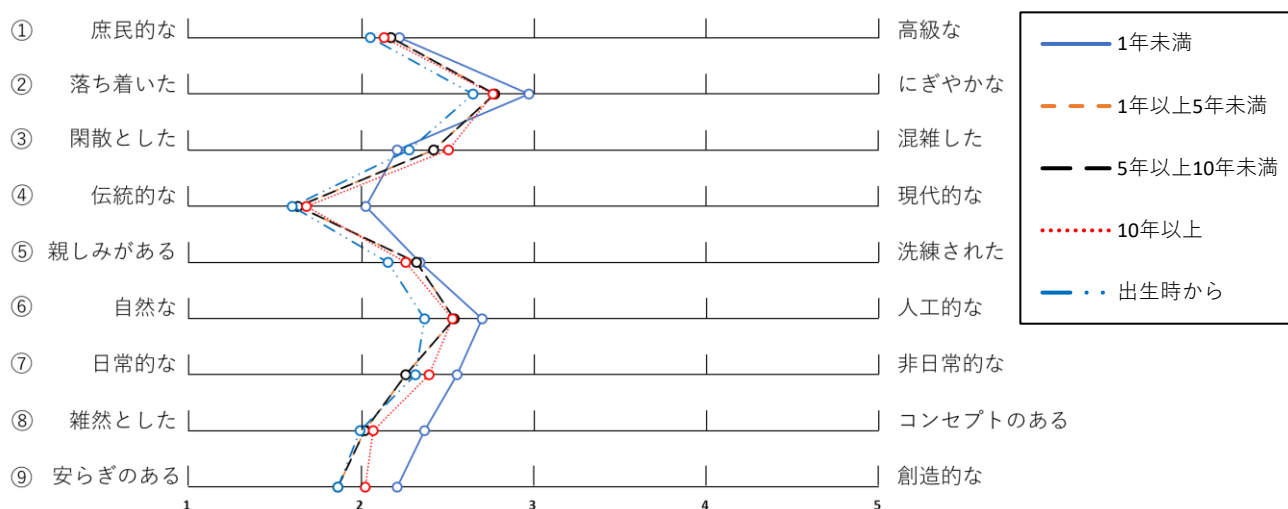
【年齢別】



【地域別】



【居住年数別】

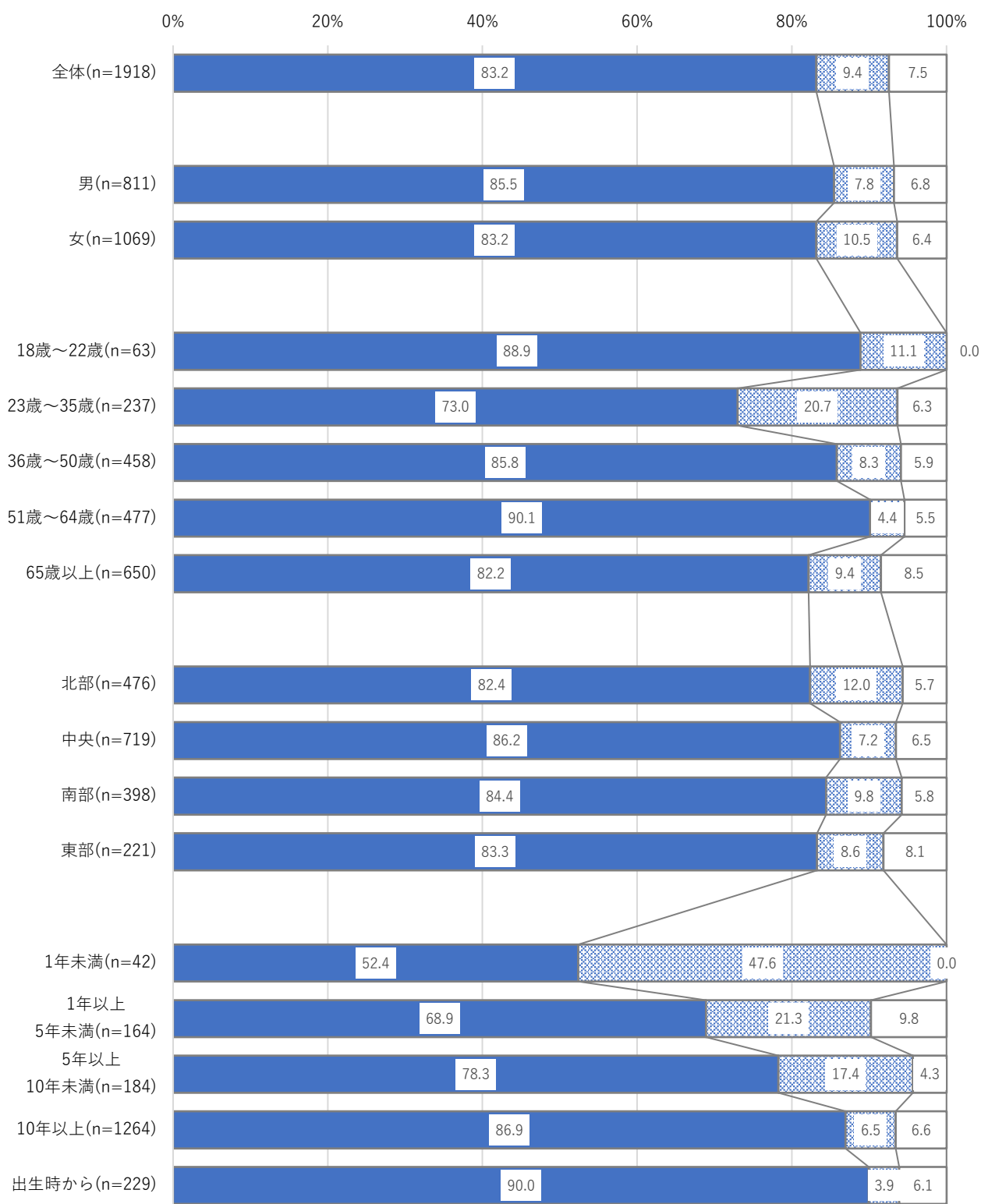


(各カテゴリー別のスコア表) 回答番号×人数÷総人数で算出

	全体	男	女	18歳～ 22歳	23歳～ 35歳	36歳～ 50歳	51歳～ 64歳	65歳 以上	北部	中央	南部	東部	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	出生時 から
①	1.98	1.98	1.97	1.69	1.75	1.86	1.97	2.20	2.05	1.96	1.98	1.86	2.21	1.87	1.83	2.02	1.87
②	2.05	2.04	2.06	2.13	1.90	1.89	2.05	2.24	2.14	2.04	2.06	1.91	2.37	2.02	1.97	2.07	2.00
③	2.38	2.37	2.38	2.20	2.11	2.31	2.37	2.56	2.39	2.36	2.39	2.41	2.56	2.26	2.40	2.39	2.32
④	2.51	2.51	2.50	2.23	2.36	2.50	2.47	2.63	2.46	2.51	2.56	2.53	2.70	2.54	2.45	2.53	2.37
⑤	2.25	2.27	2.24	2.06	2.14	2.24	2.24	2.34	2.34	2.24	2.25	2.06	2.34	2.32	2.26	2.26	2.16
⑥	1.67	1.72	1.63	1.28	1.48	1.50	1.63	1.93	1.70	1.65	1.70	1.54	2.03	1.64	1.59	1.69	1.60
⑦	2.45	2.46	2.43	2.21	2.14	2.43	2.52	2.55	2.46	2.44	2.51	2.24	2.21	2.42	2.33	2.51	2.28
⑧	2.76	2.78	2.74	2.49	2.62	2.70	2.77	2.87	2.77	2.73	2.84	2.66	2.97	2.77	2.77	2.76	2.65
⑨	2.12	2.16	2.10	1.92	2.00	2.05	2.14	2.23	2.12	2.13	2.17	1.96	2.22	2.17	2.09	2.13	2.05

Q8. あなたは、「手賀沼エリア」に行ったことがありますか。

■ある ■ない □未回答・不明



【全体】

全体の83.2%が手賀沼エリアに「行ったことがある」と回答しています。

また、行ったことがないと回答した人は9.4%となっています。

【性別】

性別で見ると、「行ったことがある」と回答した人は、男性で85.5%、女性で83.2%となっています。

【年齢】

年齢別で見ると、「行ったことがある」と最も多く回答したのは51歳～64歳の90.1%であり、最も低いのは23歳～35歳の73.0%となっています。

【地域】

地域別で見ると、「行ったことがある」と回答した割合の高い順に、中央86.2%、南部84.4%、東部83.3%、北部82.4%となっています。

【居住年数】

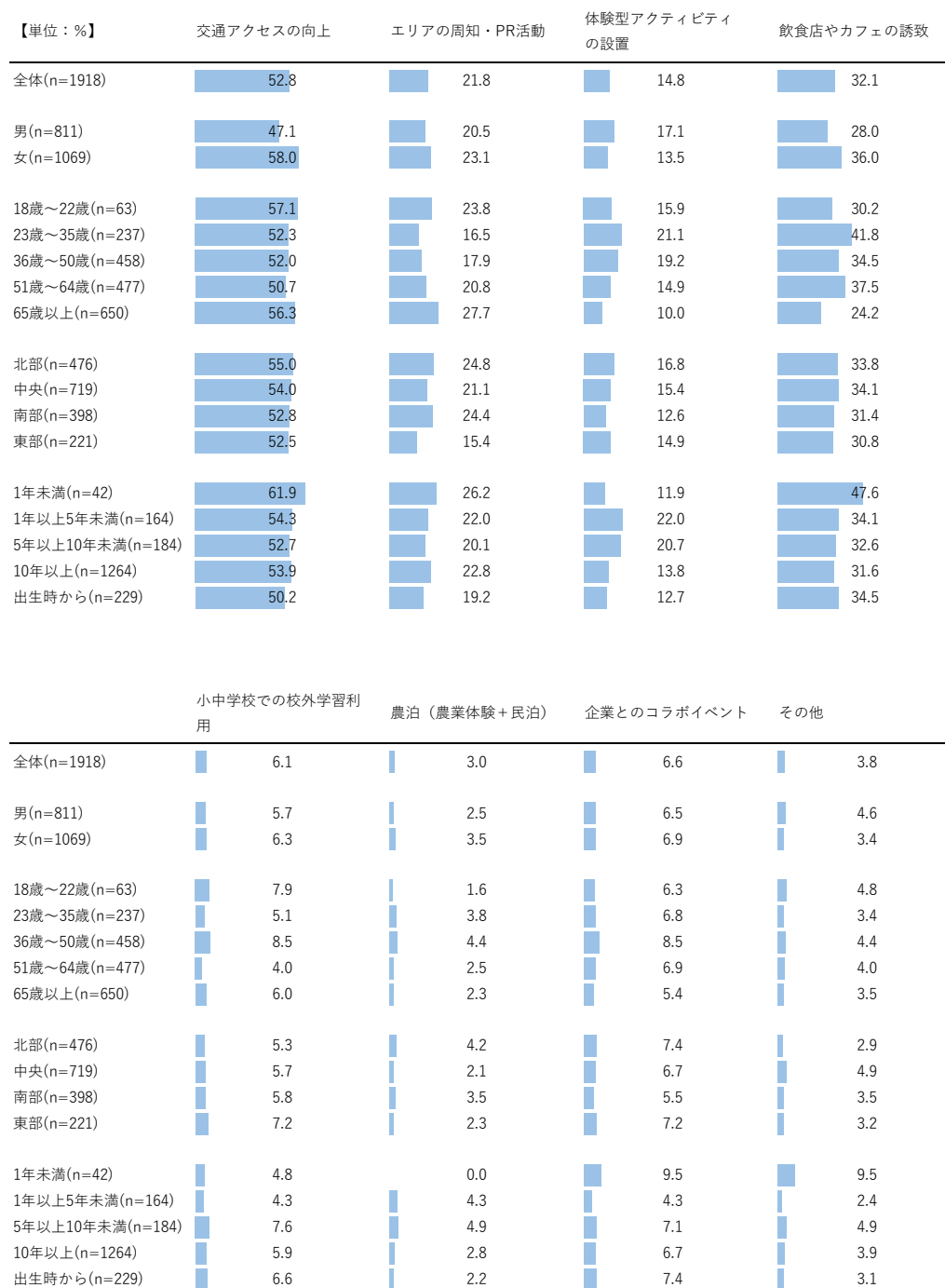
居住年数別で見ると、「行ったことがある」と回答した割合が最も高いのは出生時からの90%であり、最も低いのは1年未満の52.4%となっています。

Q9.「手賀沼エリア」に行った目的を以下の選択肢からすべて選んでください。

【単位：％】	道の駅しょうなん	柏ふるさと公園	北柏ふるさと公園	手賀沼花火大会などのイベント	ランニング・ウォーキング
全体(n=1918)	67.0	46.1	36.7	47.2	29.0
男(n=811)	66.8	44.9	35.9	46.1	31.4
女(n=1069)	68.7	48.0	38.0	49.2	27.8
18歳～22歳(n=63)	50.8	44.4	30.2	49.2	31.7
23歳～35歳(n=237)	47.7	42.6	28.3	44.3	22.8
36歳～50歳(n=458)	70.5	51.7	43.0	50.2	27.7
51歳～64歳(n=477)	75.1	48.2	40.5	52.4	36.5
65歳以上(n=650)	69.7	43.7	34.3	43.8	27.2
北部(n=476)	60.7	41.4	42.9	47.3	22.1
中央(n=719)	67.7	54.1	39.5	51.3	33.1
南部(n=398)	72.4	42.2	29.6	40.5	29.4
東部(n=221)	78.3	44.3	33.5	53.4	33.5
1年未満(n=42)	28.6	14.3	11.9	19.0	14.3
1年以上5年未満(n=164)	51.2	29.3	20.7	23.2	19.5
5年以上10年未満(n=184)	59.2	34.8	33.7	36.4	19.6
10年以上(n=1264)	71.9	51.2	40.0	50.9	32.2
出生時から(n=229)	70.3	49.8	40.2	62.0	31.9
	サイクリング	キャンプ	水辺でのアクティビティ	農作業体験・収穫体験	その他
全体(n=1918)	16.3	3.2	13.2	2.8	8.4
男(n=811)	21.5	3.5	15.7	3.0	8.5
女(n=1069)	12.6	3.0	11.7	2.8	8.3
18歳～22歳(n=63)	20.6	0.0	11.1	3.2	11.1
23歳～35歳(n=237)	13.5	2.5	5.1	3.0	6.3
36歳～50歳(n=458)	21.2	6.3	12.7	4.6	10.5
51歳～64歳(n=477)	17.4	4.2	14.5	1.9	10.1
65歳以上(n=650)	13.2	0.8	16.2	2.2	6.3
北部(n=476)	14.5	2.1	12.8	2.7	9.0
中央(n=719)	19.2	3.9	12.7	2.9	8.3
南部(n=398)	13.8	3.0	15.8	1.5	7.5
東部(n=221)	17.2	3.6	14.5	4.1	10.9
1年未満(n=42)	11.9	2.4	7.1	4.8	9.5
1年以上5年未満(n=164)	7.9	1.8	1.8	3.7	7.9
5年以上10年未満(n=184)	17.4	2.2	8.2	1.1	10.9
10年以上(n=1264)	17.2	3.3	15.9	2.8	8.5
出生時から(n=229)	19.2	4.4	13.5	3.9	7.0

最も多く選ばれているのは「道の駅しょうなん」で、36歳以上の回答では約70％の方が選択しています。そのほか多い選択肢として「柏ふるさと公園」「北柏ふるさと公園」「手賀沼花火大会などのイベント」となっています。

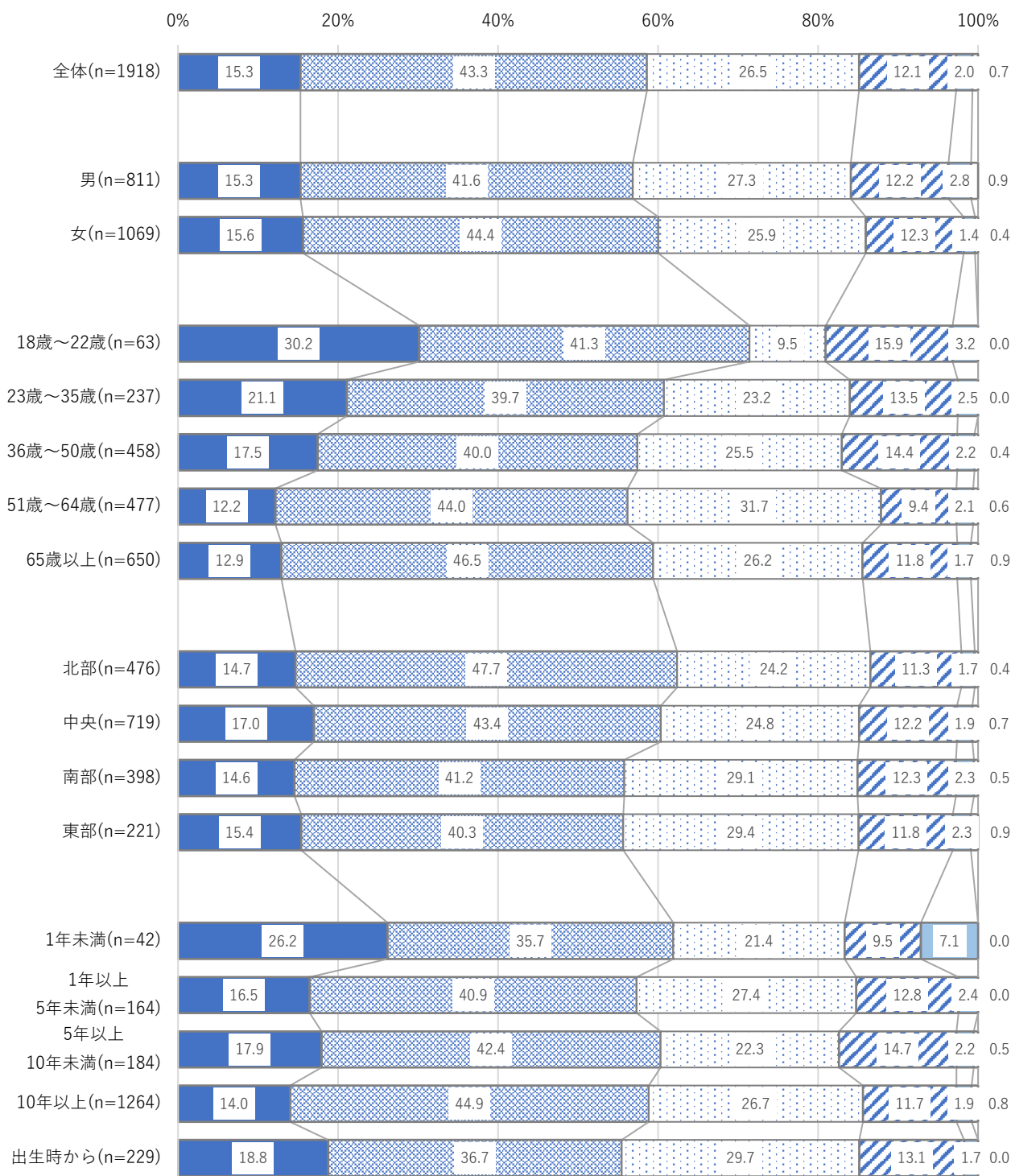
Q10. 柏市全域の人に「手賀沼エリア」がもっと利用される場となるために必要だと思うものを、2つまで選んでください。



最も多く選ばれているのは「交通アクセスの向上」で、全ての地域、年齢で50％以上の回答率となっています。次に多く選ばれているのは、「飲食店やカフェの誘致」となっています。

Q11. あなたは、障がいや病気の有無に関わらず、健やかでいきいきと生活が
できていると感じますか。

■とても感じる ▨やや感じる □どちらともいえない ▩あまり感じない ■全く感じない □未回答・不明



【全体】

「とても感じる」「やや感じる」を合わせた“いきいきと生活ができていると感じている”の割合は58.6%、「全く感じない」「あまり感じない」を合わせた“感じない”の割合は14.1%となっています。

【性別】

性別で見ると、「とても感じる」「やや感じる」を合わせた“いきいきと生活ができていると感じている”の割合は、男性では56.9%であり、女性では60%となっています。

また、「全く感じない」「あまり感じない」を合わせた“感じない”の割合は、男性では15%であり、女性では13.7%となっています。

【年齢】

年齢別で見ると、「とても感じる」と回答した割合が最も高いのは18歳～22歳の30.2%であり、「とても感じる」「やや感じる」を合わせた“いきいきと生活ができていると感じている”の割合は71.5%となっています。

一方、“感じている”の割合が最も低いのは51歳～64歳の56.2%となっています。

【地域】

地域別で見ると、「とても感じる」「やや感じる」を合わせた“いきいきと生活ができていると感じている”の割合の高い順に、北部62.4%、中央60.4%、南部55.8%、東部55.7%となっています。

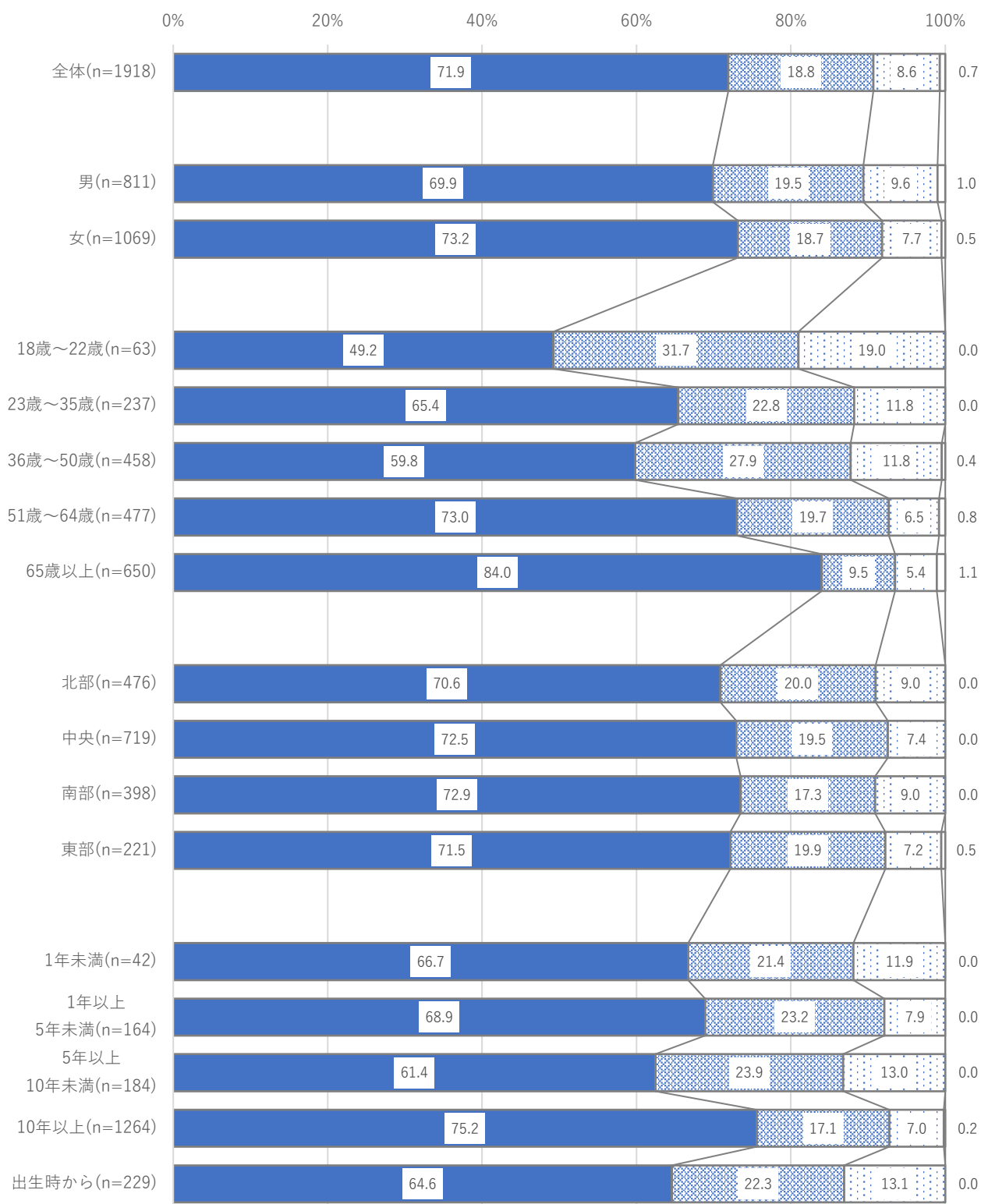
【居住年数】

居住年数別で見ると、「とても感じる」「やや感じる」を合わせた“いきいきと生活ができていると感じている”の割合が最も高いのは1年未満で61.9%となっています。

一方、“感じている”の割合が最も低いのは出生時からの55.5%となっています。

Q12. あなたは、普段から健康に気を付けていますか。

■気を付けている ■気を付けていないが、今後何かを始めるつもり □気を付けていない □未回答・不明



【全体】

「気を付けている」の割合は71.9%、「気を付けていないが、今後何かを始めるつもり」「気を付けていない」を合わせた“気を付けていない”の割合は27.4%となっています。

【性別】

性別で見ると、「気を付けている」の割合は、男性では69.9%であり、女性では73.2%となっています。

また、「気を付けていないが、今後何かを始めるつもり」「気を付けていない」を合わせた“気を付けていない”の割合は、男性では29.1%であり、女性では26.4%となっています。

【年齢】

年齢別で見ると、「気を付けている」と回答した割合が最も高いのは65歳以上の84%であり、最も低いのは18歳～22歳の49.2%となっています。

【地域】

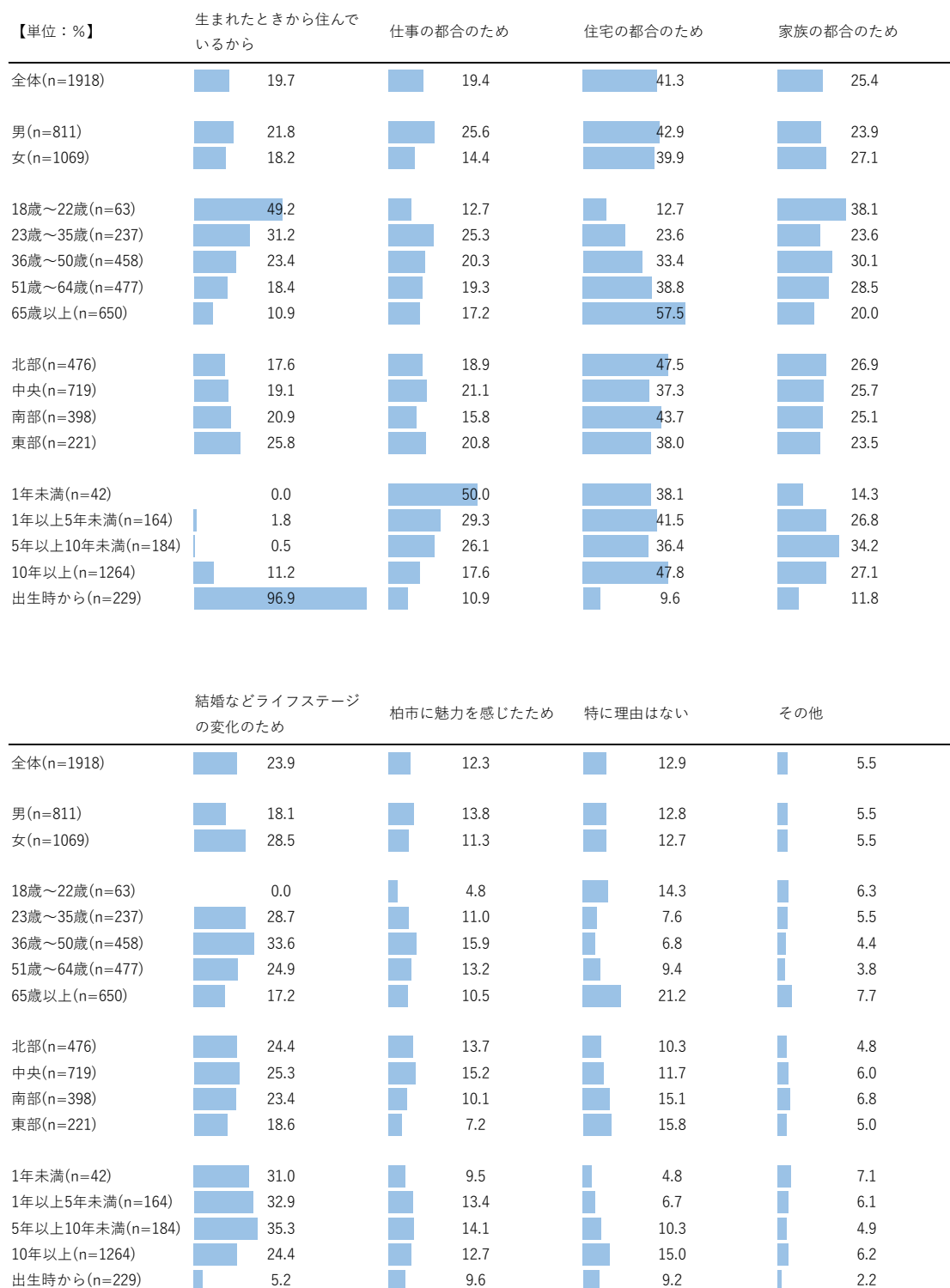
地域別で見ると、「気を付けている」の割合の高い順に、南部72.9%、中央72.5%、東部71.5%、北部70.6%となっています。

【居住年数】

居住年数別で見ると、「気を付けている」の割合が最も高いのは10年以上で75.2%となっています。

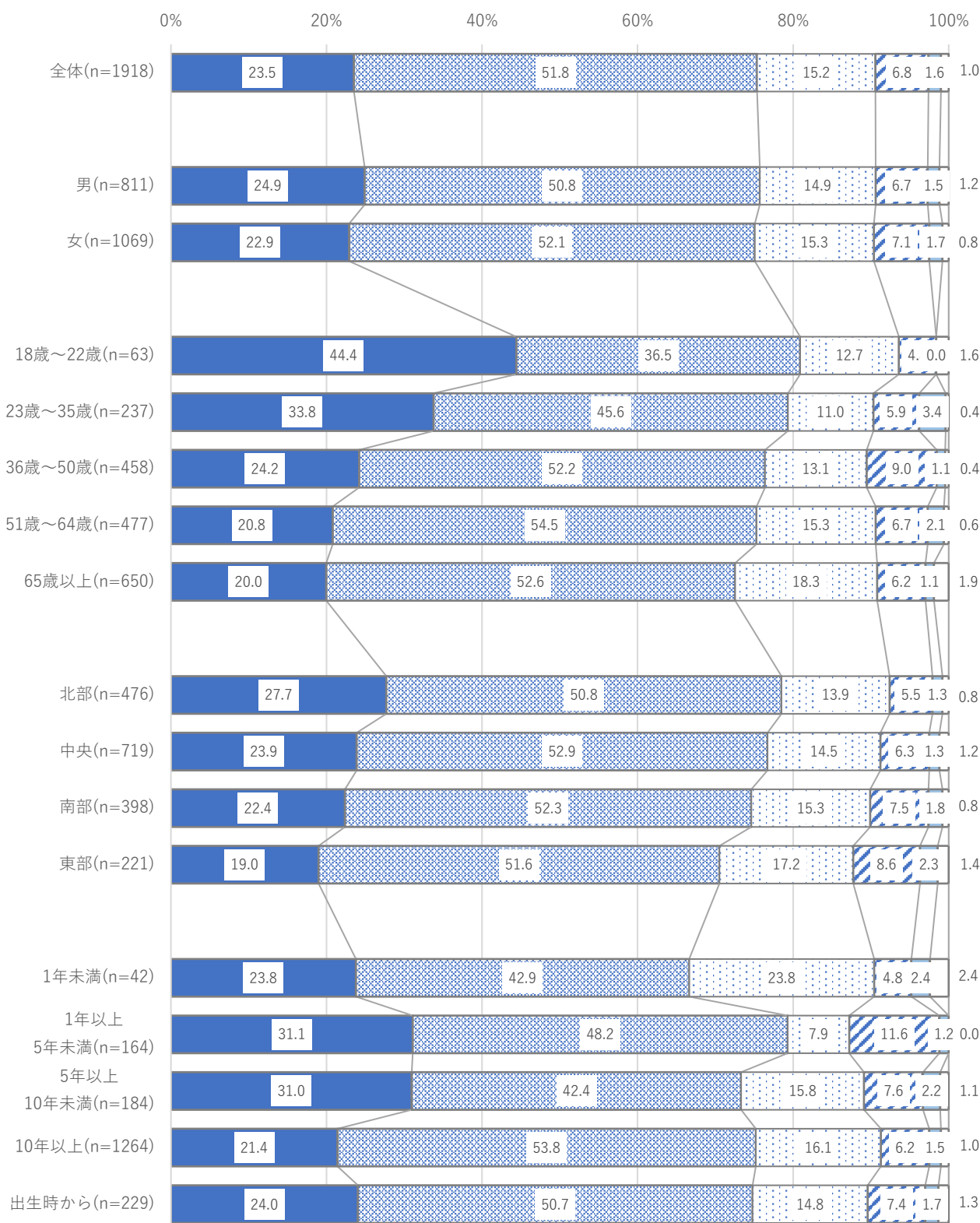
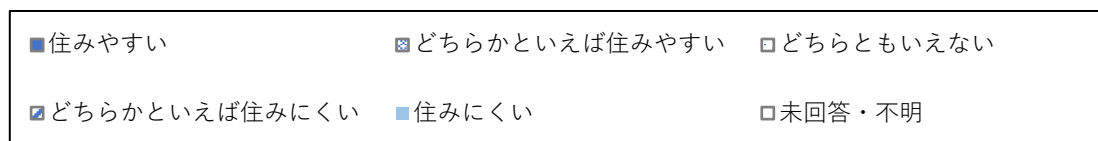
一方、「気を付けている」の割合が最も低いのは5年以上10年未満の61.4%となっています。

Q13. あなたが柏市に住んでいる理由に近いものを以下の選択肢から2つまで選んでください。



年齢が若い人ほど「生まれたときから住んでいるため」や「家族の都合のため」と回答する割合が高く、年齢が上がるにつれて「住宅の都合のため」と回答する割合が高くなっています。

Q14. あなたが「お住いの地域」の住み心地を教えてください。



【全体】

「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい”の割合は75.3%、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を合わせた“住みにくい”の割合は8.4%となっています。

【性別】

性別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい”の割合は、男性では75.7%であり、女性では75%となっています。

また、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を合わせた“住みにくい”の割合は、男性では8.2%であり、女性では8.8%となっています。

【年齢】

年齢別で見ると、「住みやすい」と回答した割合が最も高いのは18歳～22歳の44.4%であり、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい”の割合は80.9%となっています。

一方、“住みやすい”の割合が最も低いのは65歳以上の72.6%となっています。

【地域】

地域別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい”の割合の高い順に、北部78.5%、中央76.8%、南部74.7%、東部70.6%となっています。

【居住年数】

居住年数別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい”の割合が最も高いのは1年以上5年未満で79.3%となっています。

一方、“住みやすい”の割合が最も低いのは1年未満の66.7%となっています。

Q15. 上記のように思う理由に近いものを、以下の選択肢からを3つまで選んでください。

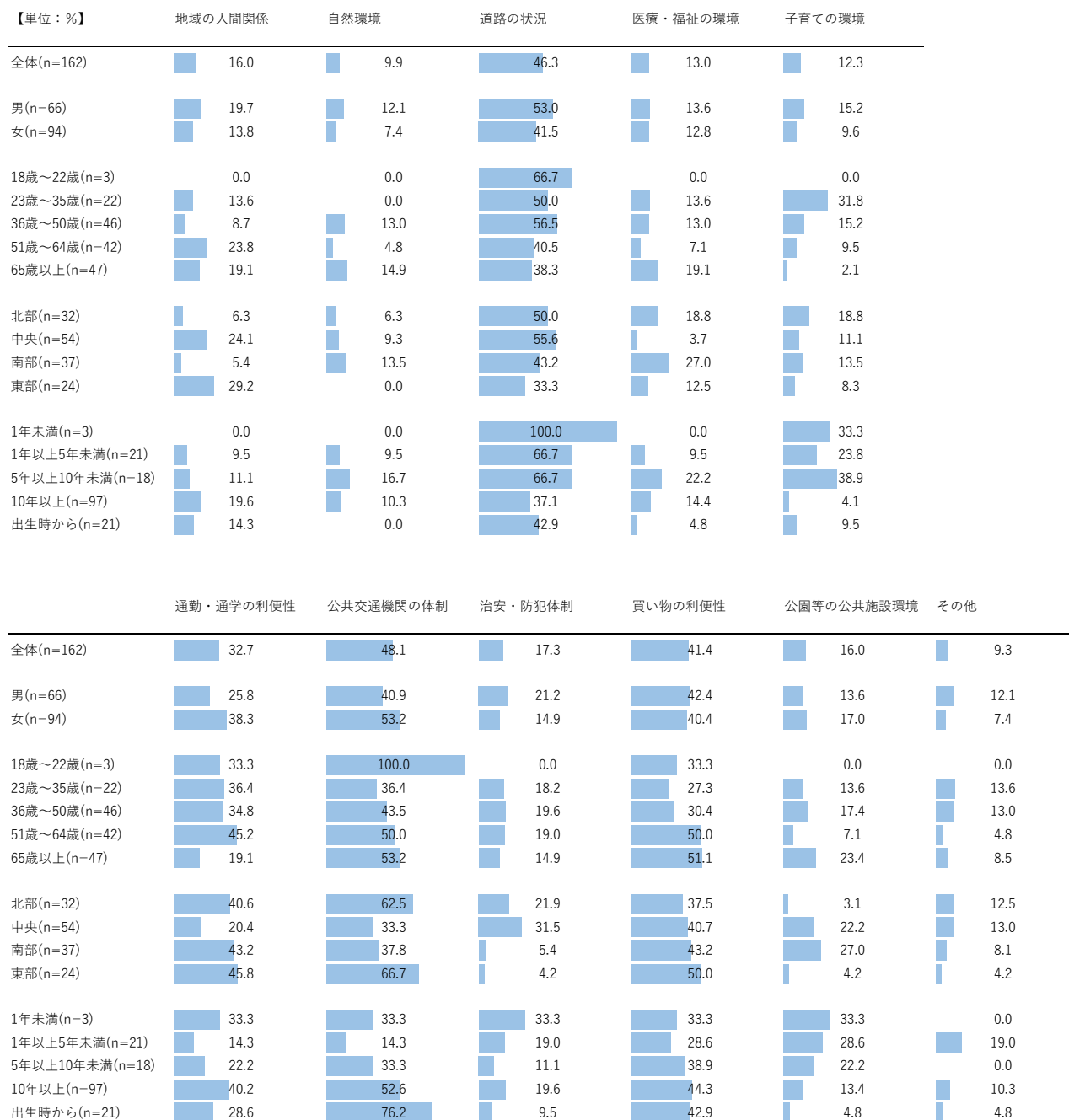
【住みやすい・どちらかといえば住みやすい】を選んだ人の回答

【単位：％】	地域の人間関係	自然環境	道路の状況	医療・福祉の環境	子育ての環境	
全体(n=1444)	24.2	33.0	17.2	19.3	8.3	
男(n=614)	21.5	35.3	18.9	18.4	9.0	
女(n=802)	25.9	30.8	16.1	19.7	8.0	
18歳～22歳(n=51)	5.9	19.6	31.4	3.9	0.0	
23歳～35歳(n=188)	13.3	21.3	16.5	10.6	12.8	
36歳～50歳(n=350)	19.4	28.6	16.9	14.9	16.0	
51歳～64歳(n=359)	20.9	31.5	20.1	17.0	5.8	
65歳以上(n=472)	35.6	43.0	14.6	29.2	3.8	
北部(n=374)	21.4	40.4	20.3	20.3	13.1	
中央(n=552)	21.7	24.5	15.9	19.2	6.0	
南部(n=297)	27.6	27.3	16.2	23.2	6.4	
東部(n=156)	34.0	55.1	15.4	12.8	10.3	
1年未満(n=28)	3.6	32.1	17.9	3.6	14.3	
1年以上5年未満(n=130)	16.9	31.5	16.2	9.2	15.4	
5年以上10年未満(n=135)	17.0	31.9	19.3	16.3	11.9	
10年以上(n=951)	26.1	33.6	17.2	22.3	7.5	
出生時から(n=171)	25.1	29.8	17.0	14.0	4.7	
	通勤・通学の利便性	公共交通機関の体制	治安・防犯体制	買い物の利便性	公園等の公共施設環境	その他
全体(n=1444)	38.6	27.4	11.7	65.7	14.3	2.7
男(n=614)	40.6	26.9	9.8	64.3	16.4	3.1
女(n=802)	37.0	27.7	13.2	67.1	12.7	2.4
18歳～22歳(n=51)	74.5	43.1	11.8	78.4	9.8	2.0
23歳～35歳(n=188)	49.5	33.0	13.3	70.2	18.1	3.2
36歳～50歳(n=350)	48.0	24.0	8.6	64.9	14.3	3.1
51歳～64歳(n=359)	42.1	26.7	12.8	66.0	10.0	1.9
65歳以上(n=472)	20.6	26.3	12.5	63.6	16.5	2.8
北部(n=374)	32.4	21.7	14.7	59.1	21.1	3.5
中央(n=552)	48.0	33.0	8.5	74.1	11.2	2.0
南部(n=297)	33.7	27.3	13.5	67.7	13.1	3.7
東部(n=156)	25.6	19.2	13.5	48.7	12.8	1.9
1年未満(n=28)	46.4	17.9	21.4	71.4	28.6	7.1
1年以上5年未満(n=130)	40.8	32.3	15.4	63.8	17.7	3.8
5年以上10年未満(n=135)	43.7	29.6	5.2	62.2	18.5	3.0
10年以上(n=951)	36.8	26.6	11.7	66.6	13.4	2.4
出生時から(n=171)	41.5	28.7	12.3	66.1	11.1	2.3

最も多かった意見は「買い物の利便性」であり、特に年齢が若い人ほど回答している割合が高い傾向にあります。

また、年齢が上がるにつれて「自然環境」や「地域の人間関係」と回答する人が多くなっています。

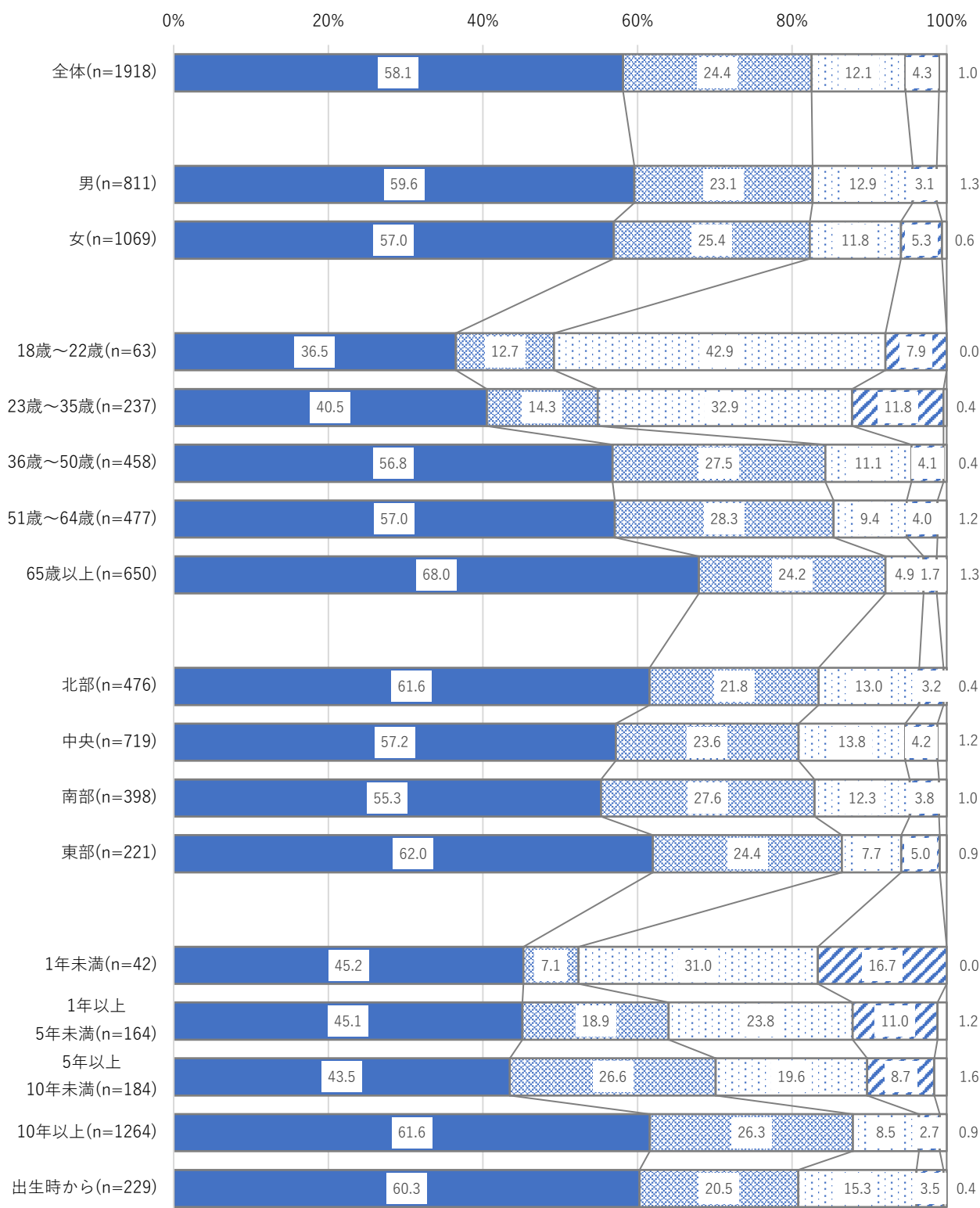
【住みにくい・どちらかといえば住みにくい】を選んだ人の回答



最も多かった意見は「道路の状況」や「買い物の利便性」であり、これらは地域によって回答割合に差が出ています。

また、「公共交通機関の体制」では、中央と南部に比べて北部と東部での回答が多い結果となっています。

Q16. あなたは、現在お住まいのところにこれからも住み続けたいと思いますか。



【全体】

「住み続けたいし、住み続ける」「転居したいが、住み続ける」を合わせた“住み続ける”の割合は82.5%、「転居したいし、転居する」「住み続けたいが、転居する」を合わせた“転居する”の割合は16.4%となっています。

【性別】

性別で見ると、「住み続けたいし、住み続ける」「転居したいが、住み続ける」を合わせた“住み続ける”の割合は、男性では82.7%であり、女性では82.4%となっています。

また、「転居したいし、転居する」「住み続けたいが、転居する」を合わせた“転居する”の割合は、男性では16%であり、女性では17.1%となっています。

【年齢】

年齢別で見ると、「住み続けたいし、住み続ける」と回答した割合が最も高いのは65歳以上の68.0%であり、「住み続けたいし、住み続ける」「転居したいが、住み続ける」を合わせた“住み続ける”の割合は92.2%となっています。

一方、“住み続ける”の割合が最も低いのは18歳～22歳の49.2%となっています。

【地域】

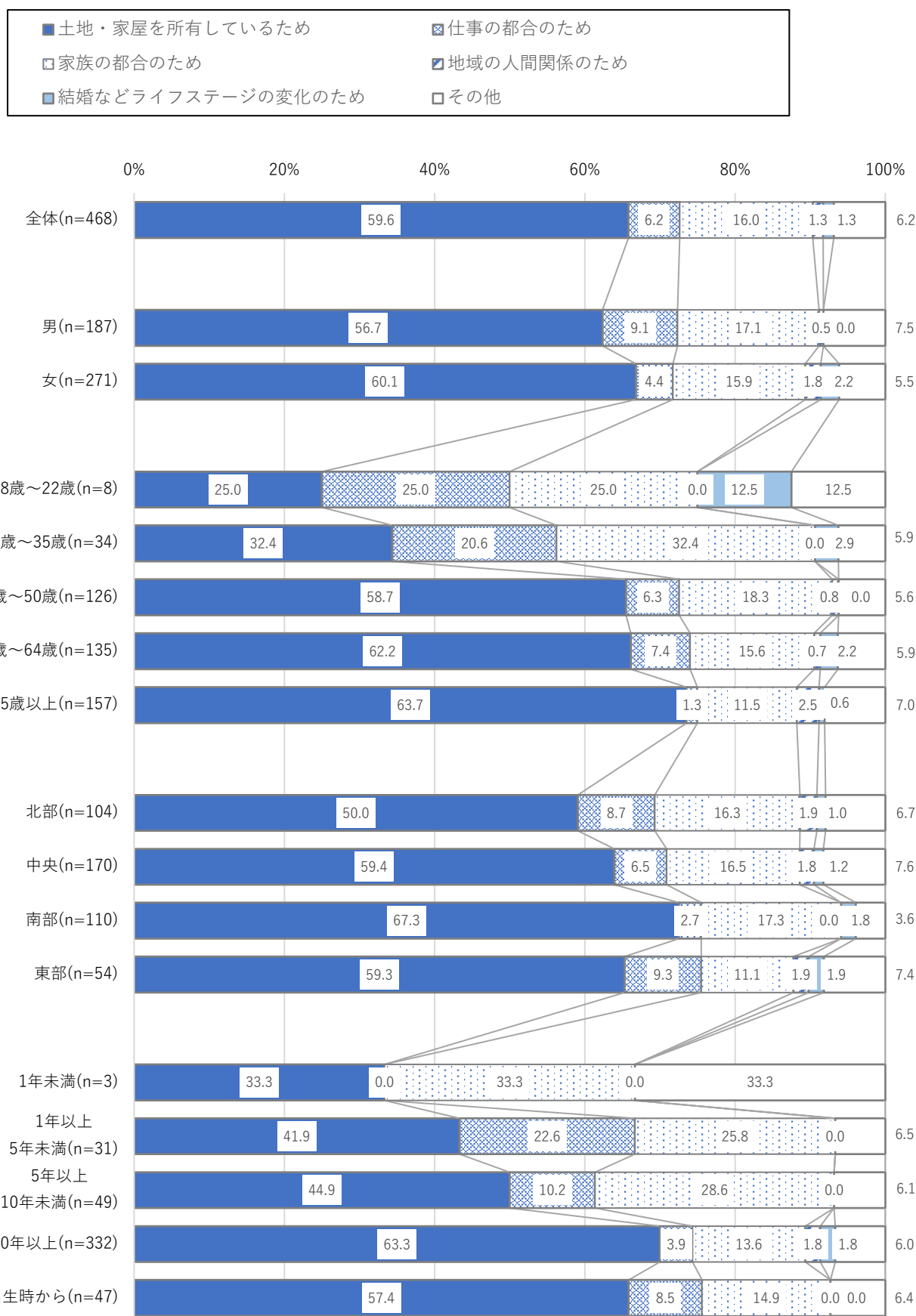
地域別で見ると、「住み続けたいし、住み続ける」「転居したいが、住み続ける」を合わせた“住み続ける”の割合の高い順に、東部86.4%、北部83.4%、南部82.9%、中央80.8%となっています。

【居住年数】

居住年数別で見ると、「住み続けたいし、住み続ける」「転居したいが、住み続ける」を合わせた“住み続ける”の割合が最も高いのは10年以上で87.9%となっています。

一方、“住み続ける”の割合が最も低いのは1年未満の52.3%となっています。

Q17. 理由について、以下の選択肢のうち最も近いものを選んでください。
【転居したいが、住み続けると思う】を選んだ人の回答



【全体】

「土地・家屋を所有しているため」が最も高く59.6%で、次に高いものが「家族の都合のため」で16.0%となっています。

【性別】

性別で見ると、「土地・家屋を所有しているため」の割合は、男性では56.7%であり、女性では60.1%となっています。

また、「仕事の都合のため」の割合は男性では9.1%、女性では4.4%となっています。

【年齢】

年齢別で見ると、「土地・家屋を所有しているため」の割合は、65歳以上で63.7%と最も高い結果となっています。

また、「家族の都合のため」の割合は23歳～35歳で32.4%と最も高い結果となっています。

【地域】

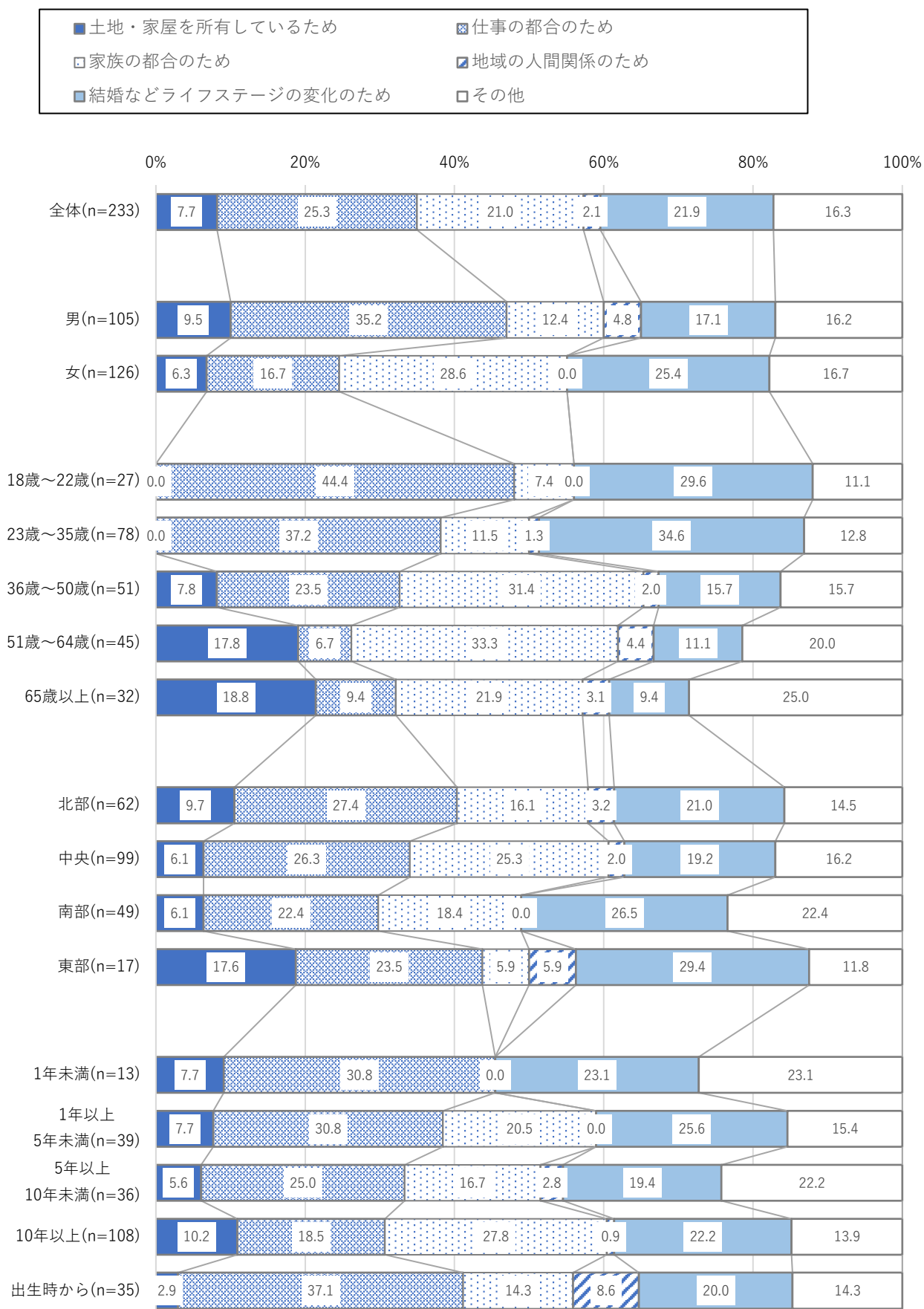
地域別で見ると、全ての地域で「土地・家屋を所有しているため」と回答した割合が最も高く、高い順に南部67.3%、中央59.4%、東部59.3%、北部50%となっています。

【居住年数】

居住年数別で見ると、10年以上では「土地・家屋を所有しているため」の割合は63.3%と最も高い結果となっています。

また、5年以上10年未満では、「仕事の都合のため」が28.6%と他の区分よりも高い結果となっています。

【住み続けたいが、転居すると思う】を選んだ人の回答



【全体】

回答した割合の高い順に「仕事の都合のため」が25.3%、「ライフステージの変化のため」が21.9%、「家族の都合のため」が21.0%となっています。

【性別】

性別で見ると、男性では「仕事の都合のため」が35.2%で最も高く、女性では「家族の都合のため」が28.6%と最も高い結果となっています。

【年齢】

年齢別で見ると、35歳以下では「仕事の都合のため」と「ライフステージの変化のため」と回答した割合が高く、36歳以上では「家族の都合のため」と回答した割合が高い結果となっています。

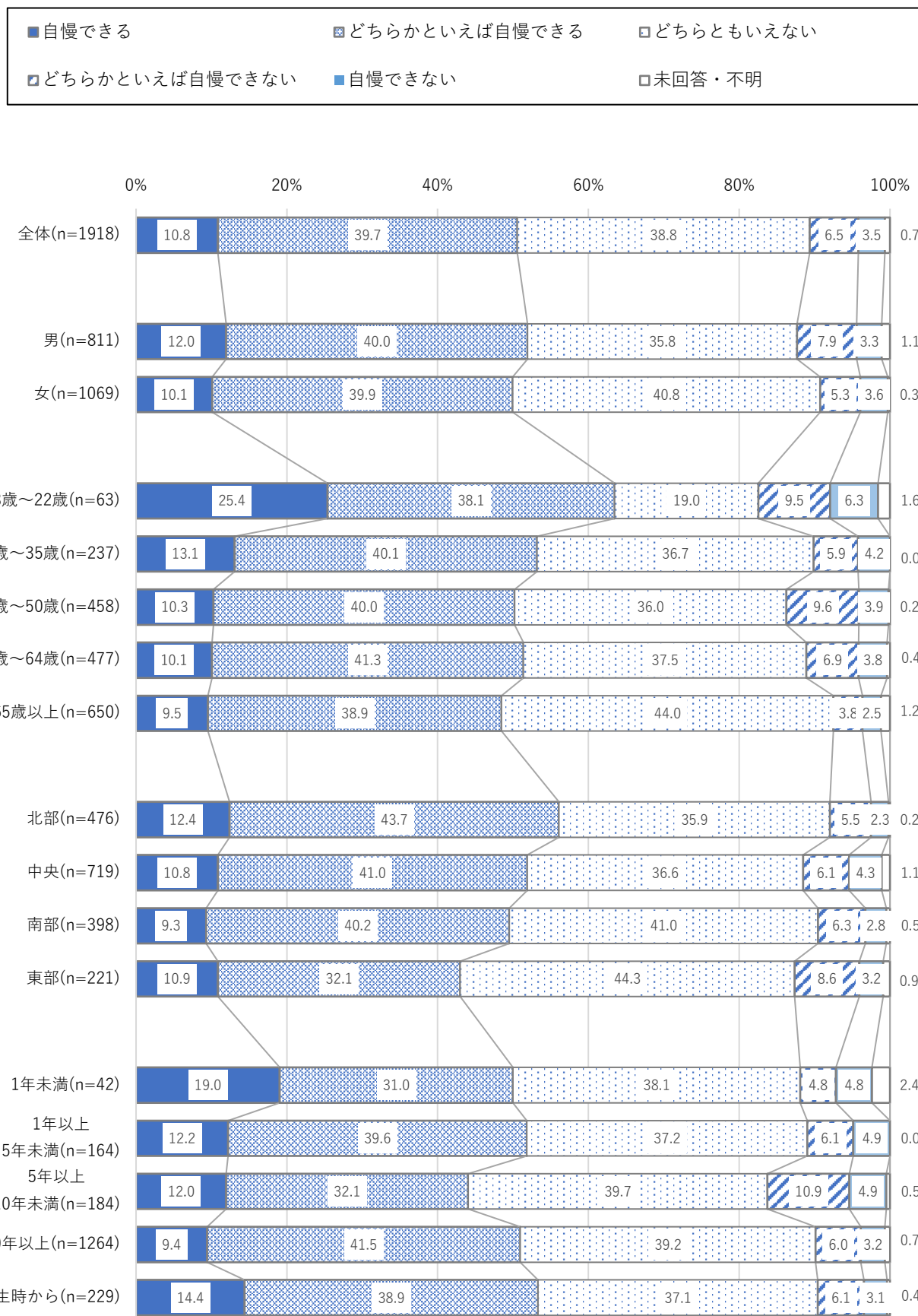
【地域】

地域別で見ると、北部と中央では「仕事の都合のため」と回答した割合が最も高く、南部と東部では「ライフステージの変化のため」と回答した割合が最も高い結果となっています。

【居住年数】

居住年数別で見ると、すべての区分において「仕事の都合のため」「家族の都合のため」「ライフステージの変化のため」と回答した割合が高い結果となっています。

Q18. あなたは、市外にお住まいの方に「柏市」を自慢できますか。



【全体】

「自慢できる」「どちらかといえば自慢できる」を合わせた“自慢できる”の割合は50.5%、「自慢できない」「どちらかといえば自慢できない」を合わせた“自慢できない”の割合は10.0%となっています。

【性別】

性別で見ると、「自慢できる」「どちらかといえば自慢できる」を合わせた“自慢できる”の割合は、男性では52.0%であり、女性では50.0%となっています。

また、「自慢できない」「どちらかといえば自慢できない」を合わせた“自慢できない”の割合は、男性では11.2%であり、女性では8.9%となっています。

【年齢】

年齢別で見ると、「自慢できる」と回答した割合が最も高いのは18歳～22歳の25.4%であり、「自慢できる」「どちらかといえば自慢できる」を合わせた“自慢できる”の割合は63.5%となっています。

一方、“自慢できる”の割合が最も低いのは65歳以上の48.4%となっています。

【地域】

地域別で見ると、「自慢できる」「どちらかといえば自慢できる」を合わせた“自慢できる”の割合の高い順に、北部56.1%、中央51.8%、南部49.5%、東部43.0%となっています。

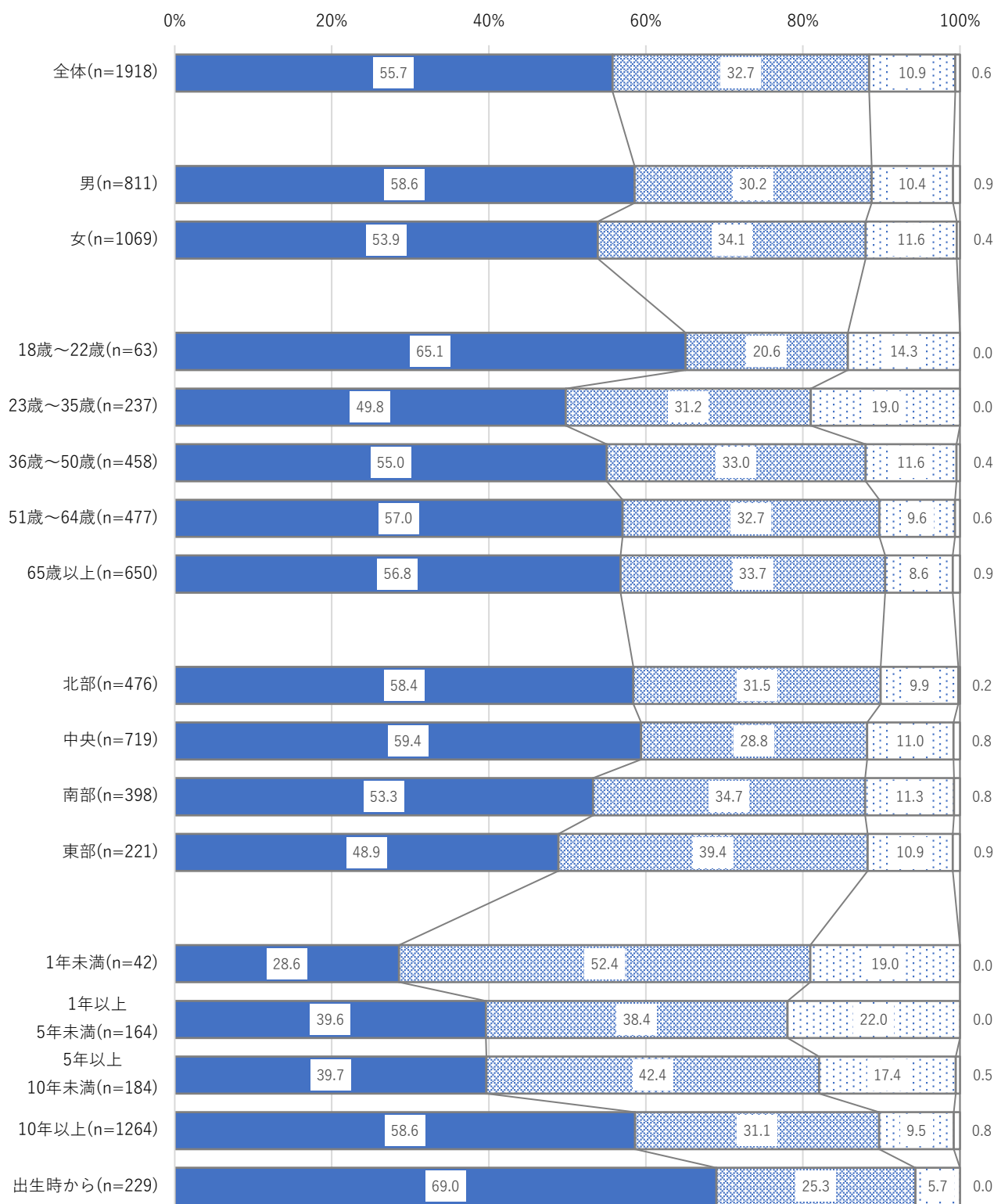
【居住年数】

居住年数別で見ると、「自慢できる」「どちらかといえば自慢できる」を合わせた“自慢できる”の割合が最も高いのは出生時からで53.3%となっています。

一方、“自慢できる”の割合が最も低いのは5年以上10年未満の44.1%となっています。

Q19. あなたは、「柏市」に愛着を持っていますか。

■ 愛着をもっている ▨ どちらともいえない ▩ 特に愛着はない □ 未回答・不明



【全体】

「愛着をもっている」と回答した割合は55.7%、「特に愛着はない」と回答した割合は10.9%となっています。

【性別】

性別で見ると、「愛着をもっている」と回答した割合は、男性では58.6%であり、女性では53.9%となっています。

また、「特に愛着はない」と回答した割合は、男性では10.4%であり、女性では11.6%となっています。

【年齢】

年齢別で見ると、「愛着をもっている」と回答した割合が最も高いのは18歳～22歳の65.1%となっています。

一方、「愛着をもっている」と回答した割合が最も低いのは23歳～35歳の49.8%となっています。

【地域】

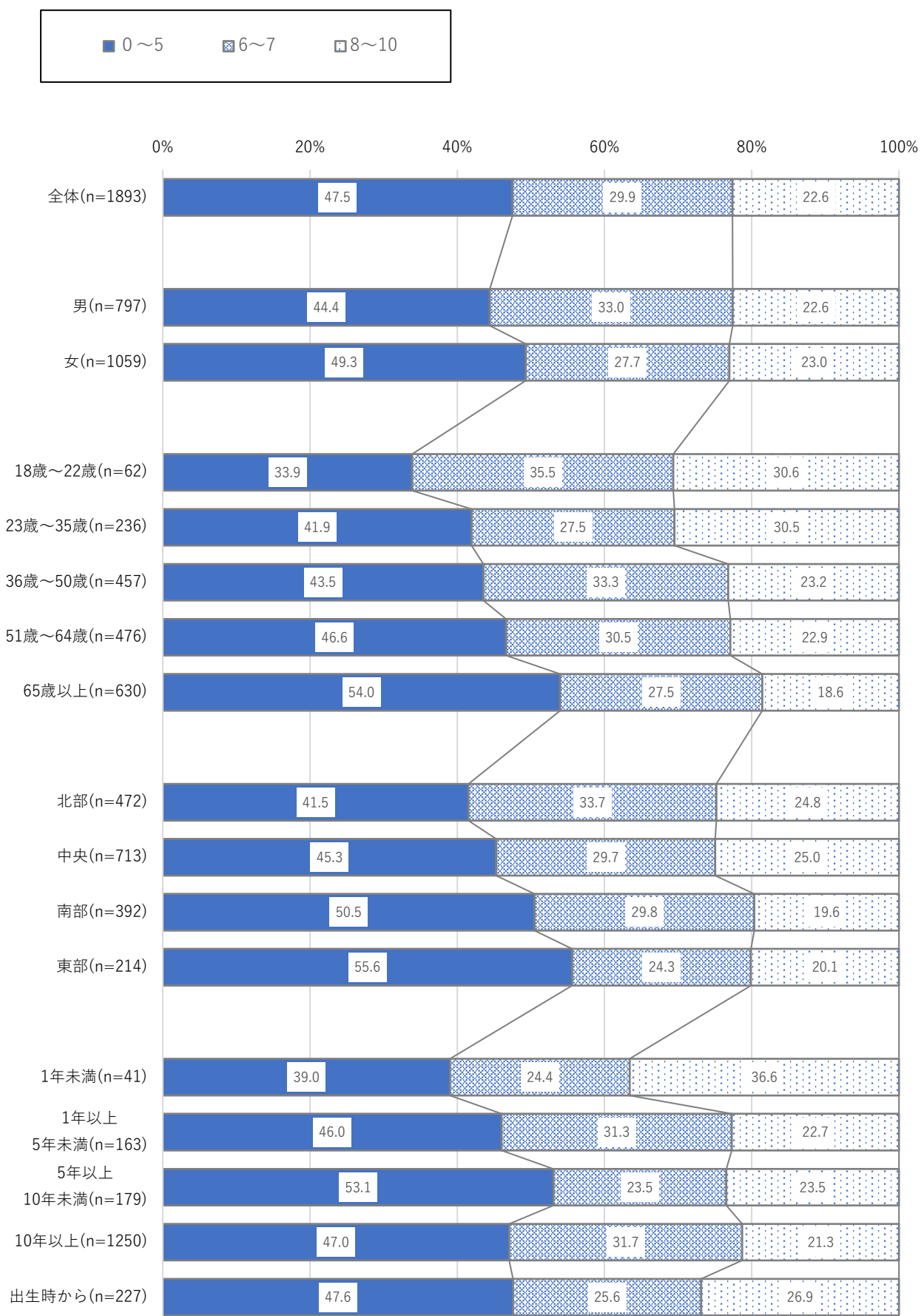
地域別で見ると、「愛着をもっている」と回答した割合の高い順に、中央59.4%、北部58.4%、南部53.3%、東部48.9%となっています。

【居住年数】

居住年数別で見ると、「愛着をもっている」と回答した割合が最も高いのは出生時からで69.0%となっています。

一方、「愛着をもっている」と回答した割合が最も低いのは1年未満の28.6%となっています。

Q20. 知人や友人に柏市での居住をどれくらい勧めたいですか。



【全体】

8～10点の割合は22.6%、6～7点の割合は29.9%、0～5点の割合は47.5%となっています。

【性別】

性別で見ると、8～10点の割合は、男性では22.6%であり、女性では23.0%となっています。

また、6～7点の割合は、男性では33.0%、女性では27.7%であり、0～5点の割合は、男性では44.4%、女性では49.3%となっています。

【年齢】

年齢別で見ると、8～10点と回答した割合が最も高いのは18歳～22歳の30.6%となっています。

一方、8～10点と回答した割合が最も低いのは65歳以上の18.6%となっています。

【地域】

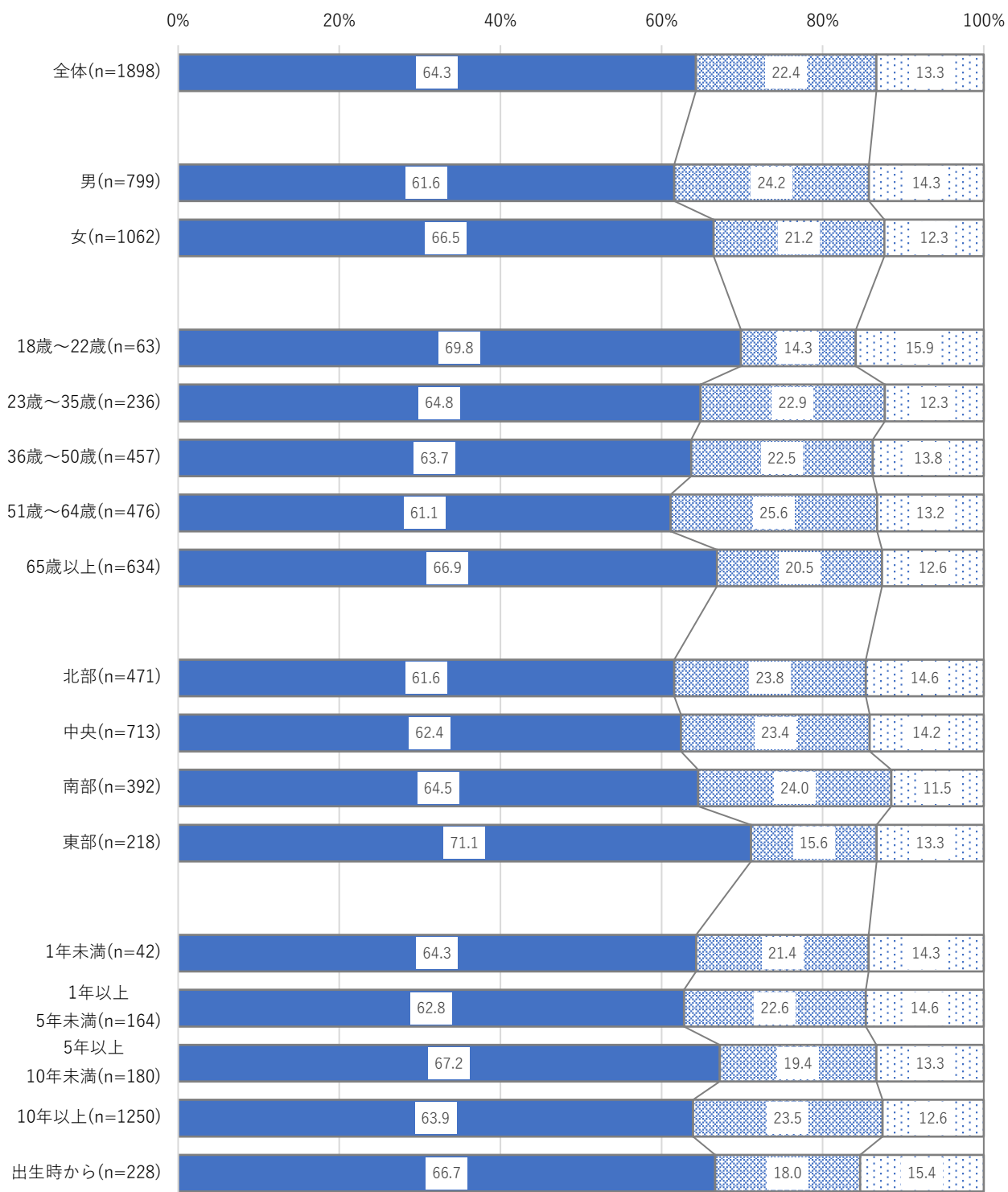
地域別で見ると、8～10点と回答した割合の高い順に、中央25.0%、北部24.8%、東部20.1%、南部19.6%となっています。

【居住年数】

居住年数別で見ると、8～10点と回答した割合が最も高いのは1年未満の36.6%となっています。

一方、8～10点と回答した割合が最も低いのは10年以上の21.3%となっています。

Q21. 柏市をより良くするための活動への参加や行動しようとする気持ちは、どの程度ですか。



【全体】

8～10点の割合は13.3%、6～7点の割合は22.4%、0～5点の割合は64.3%となっています。

【性別】

性別で見ると、8～10点の割合は、男性では14.3%であり、女性では12.3%となっています。

また、6～7点の割合は、男性では24.2%、女性では21.2%であり、0～5点の割合は男性では61.6%、女性では66.5%となっています。

【年齢】

年齢別で見ると、8～10点と回答した割合が最も高いのは18歳～22歳の15.9%となっています。

一方、8～10点と回答した割合が最も低いのは23歳～35歳の12.3%となっています。

【地域】

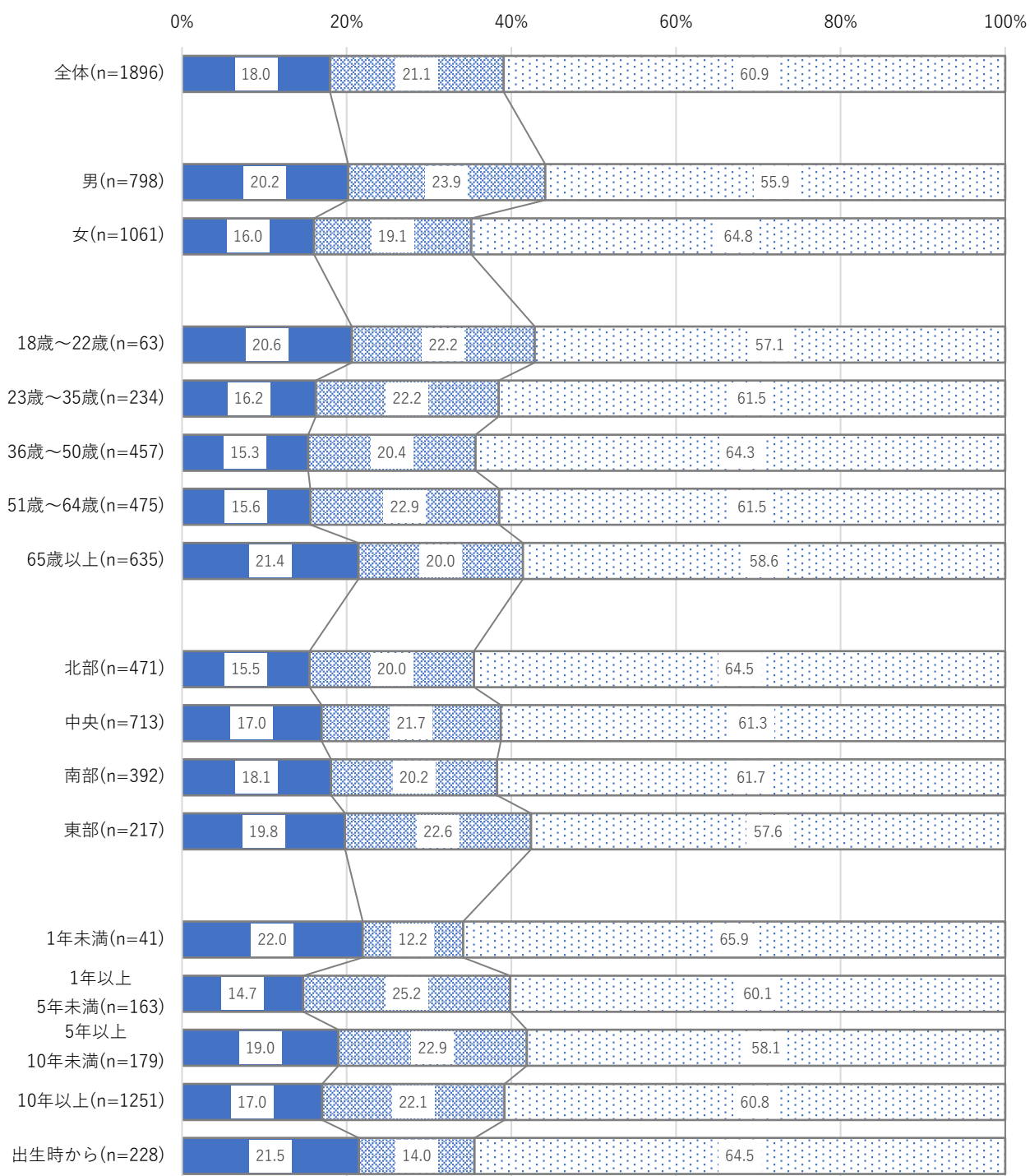
地域別で見ると、8～10点と回答した割合の高い順に、北部14.6%、中央14.2%、東部13.3%、南部11.5%となっています。

【居住年数】

居住年数別で見ると、8～10点と回答した割合が最も高いのは出生時からの15.4%となっています。

一方、8～10点と回答した割合が最も低いのは10年以上の12.6%となっています。

Q22. 柏市をより良くしようと活動している人に感謝の気持ちを表すと、どの程度ですか。



【全体】

8～10点の割合は60.9%、6～7点の割合は21.1%、0～5点の割合は18.0%となっています。

【性別】

性別で見ると、8～10点の割合は男性では55.9%であり、女性では64.8%となっています。

また、6～7点の割合は、男性では23.9%、女性では19.1%であり、0～5点の割合は男性では20.2%、女性では16.0%となっています。

【年齢】

年齢別で見ると、8～10点と回答した割合が最も高いのは36歳～50歳の64.3%となっています。

一方、8～10点と回答した割合が最も低いのは18歳～22歳の57.1%となっています。

【地域】

地域別で見ると、8～10点と回答した割合の高い順に、北部64.5%、南部61.7%、中央61.3%、東部57.6%となっています。

【居住年数】

居住年数別で見ると、8～10点と回答した割合が最も高いのは1年未満の65.9%となっています。

一方、8～10点と回答した割合が最も低いのは5年以上10年未満の58.1%となっています。

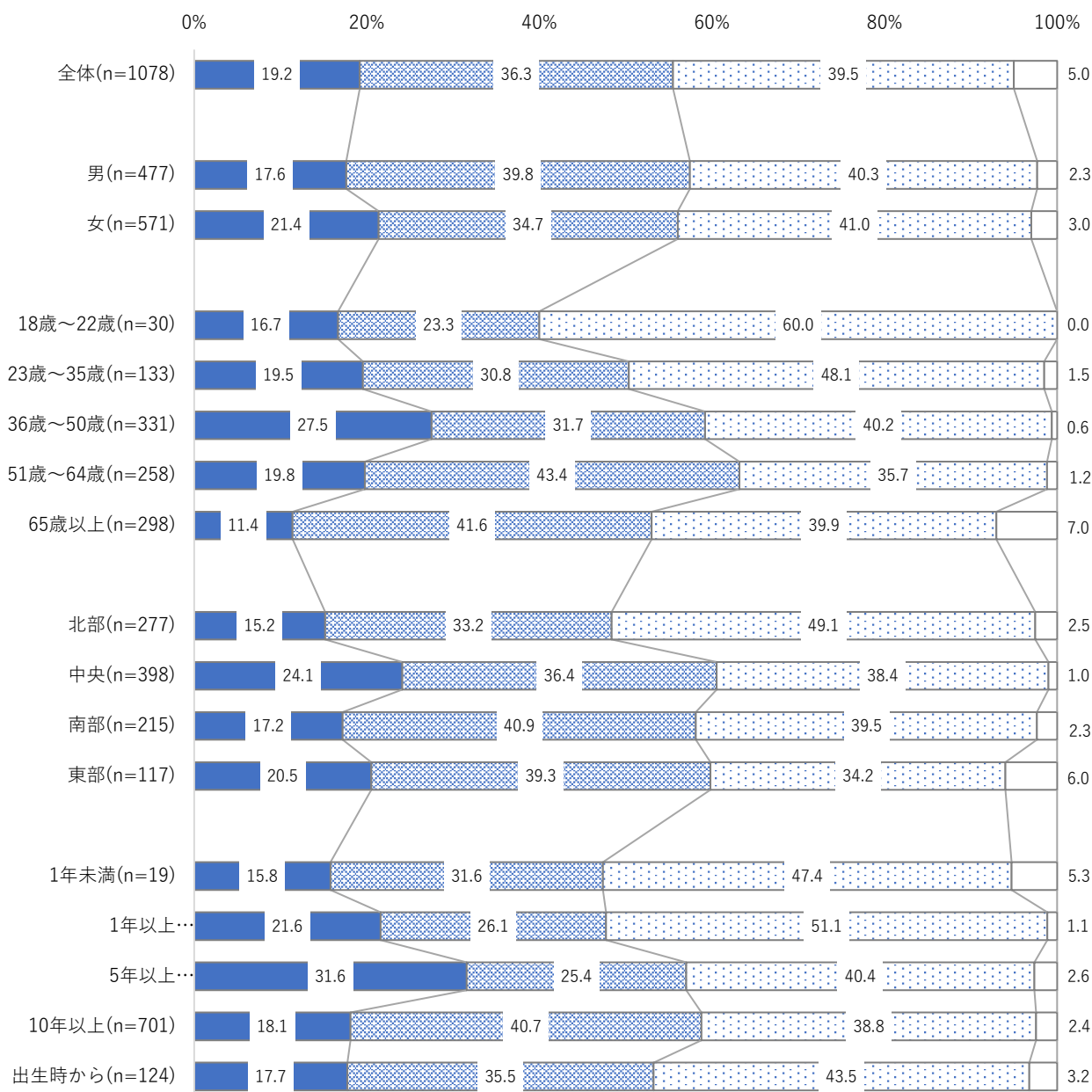
Q23. 次の各項目について、あなたが感じている「現在の満足度」を教えてください。

■不満・どちらかといえば不満 ▨どちらともいえない □どちらかといえば満足・満足 □未回答・不明

※調査票では5区分で回答しているが、グラフでは3区分に加工集計しています。

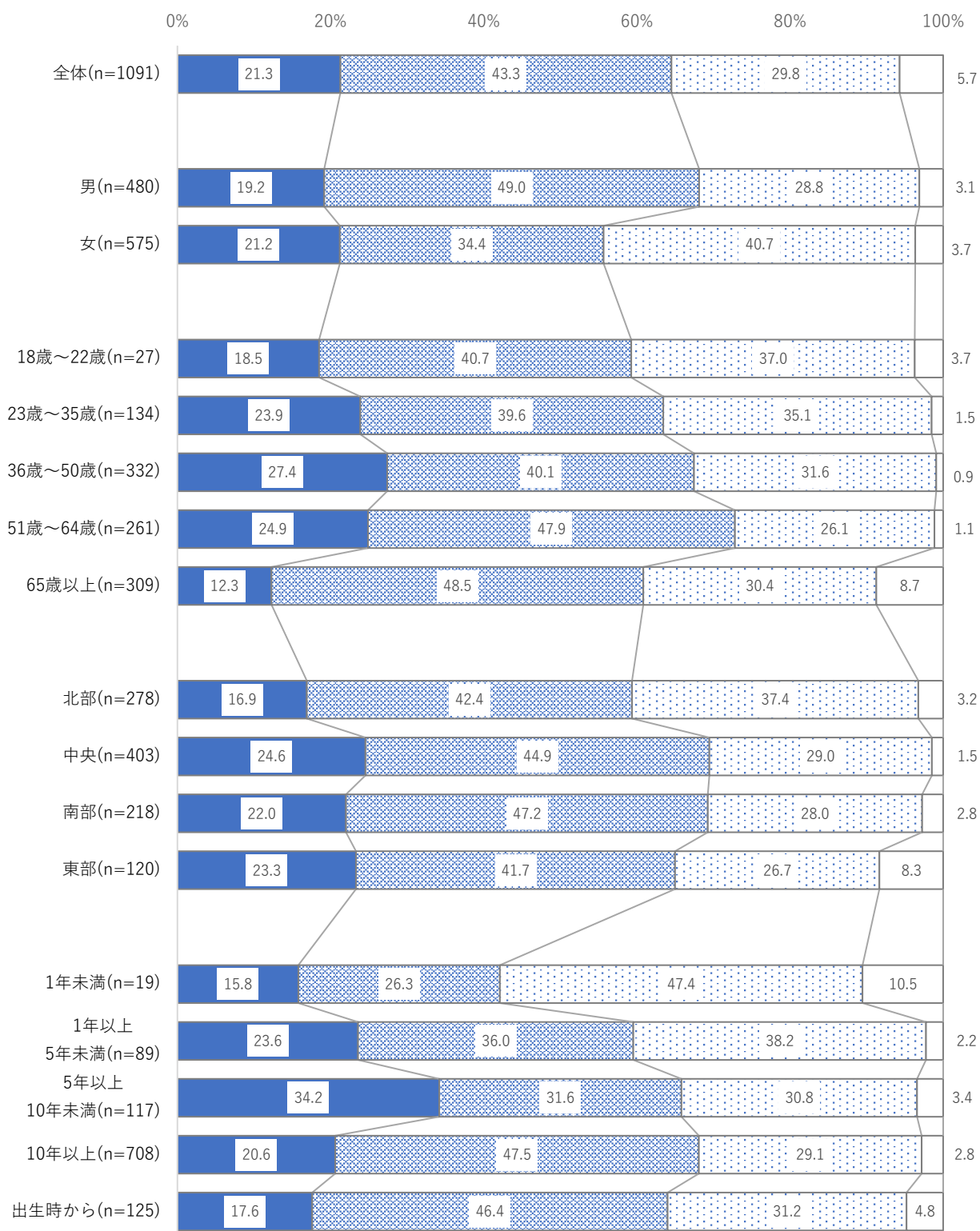
【こども】

➤ **こどもたちが心身ともに健やかに育つ環境の整備**



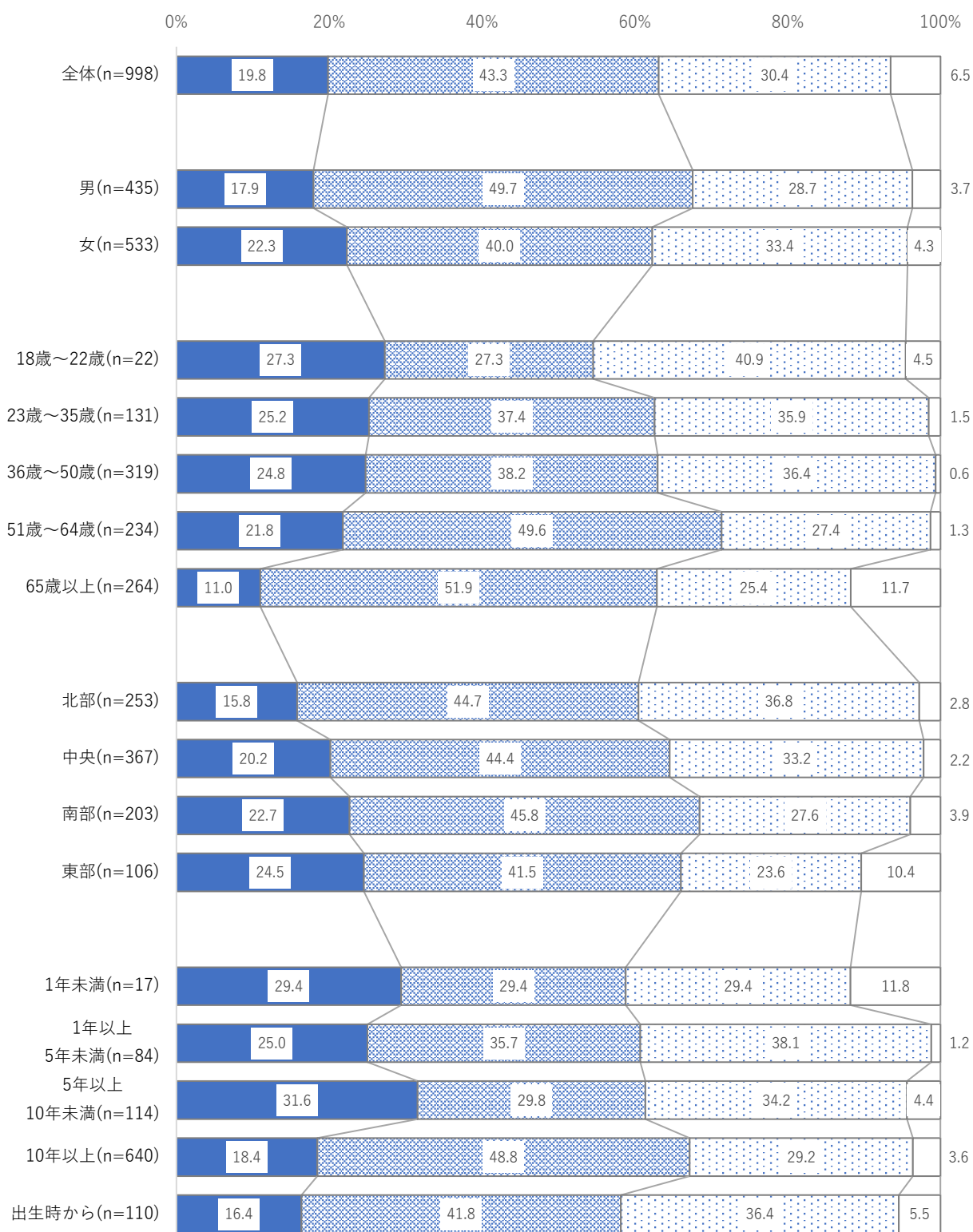
「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は39.5%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は19.2%となっています。

➤ 社会全体でこどもを育む環境の整備



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は29.8%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は21.3%となっています。

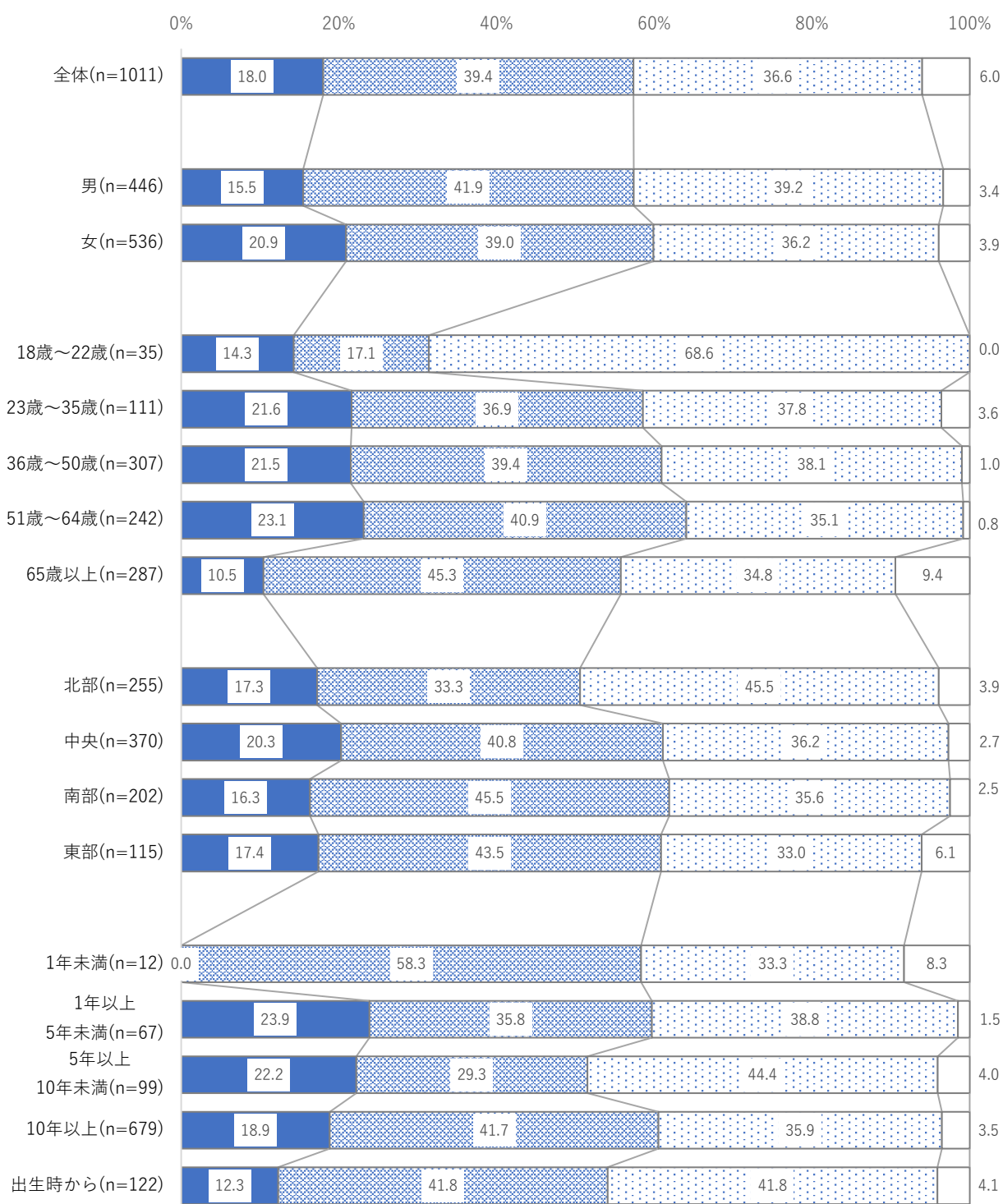
➤ 妊 娠 から 子 育 て ま で の 相 談 ・ 支 援 体 制 の 充 実



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は30.4%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は19.8%となっています。

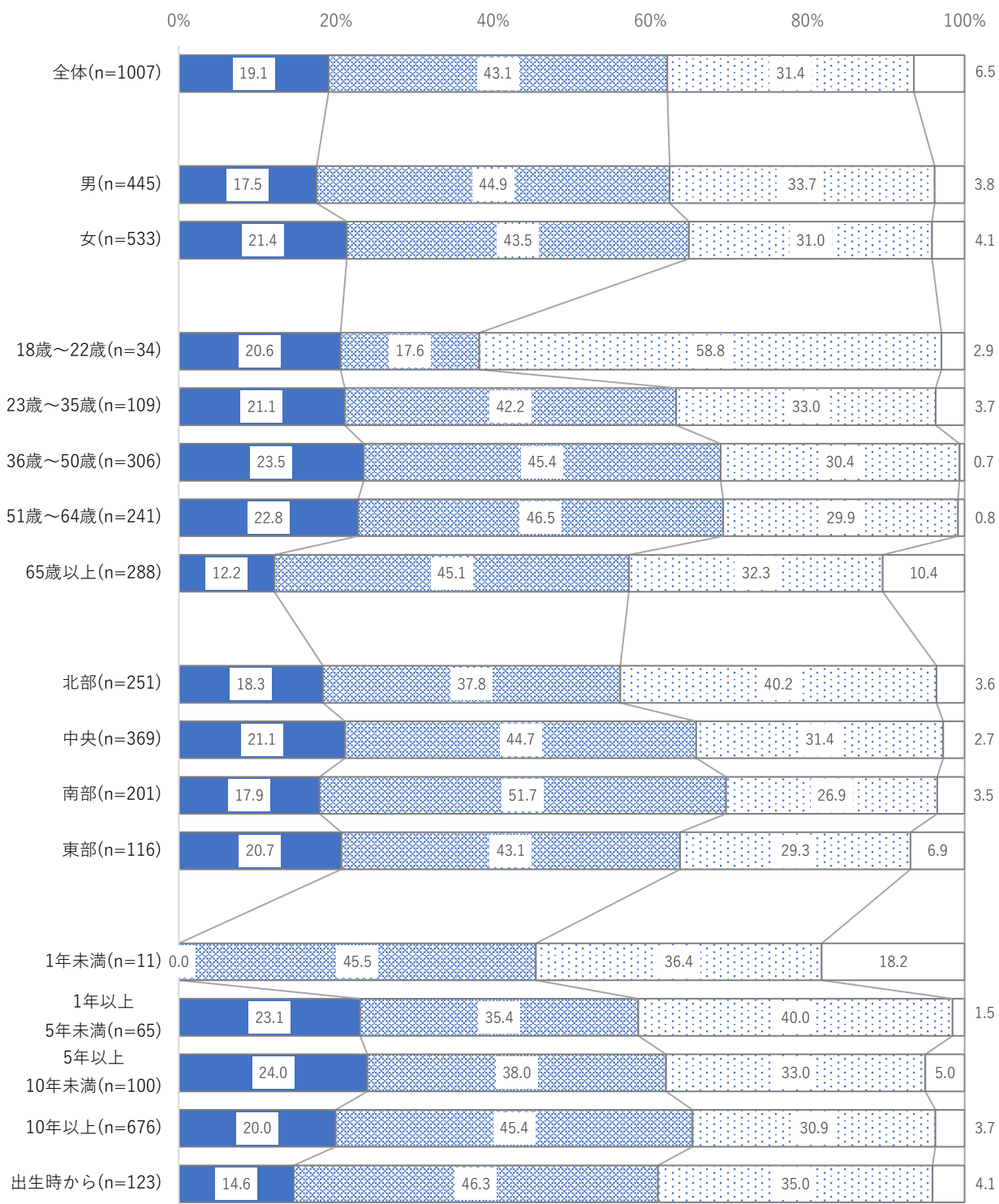
【教育】

➤ 児童生徒にとって、安心して学習できる環境の整備



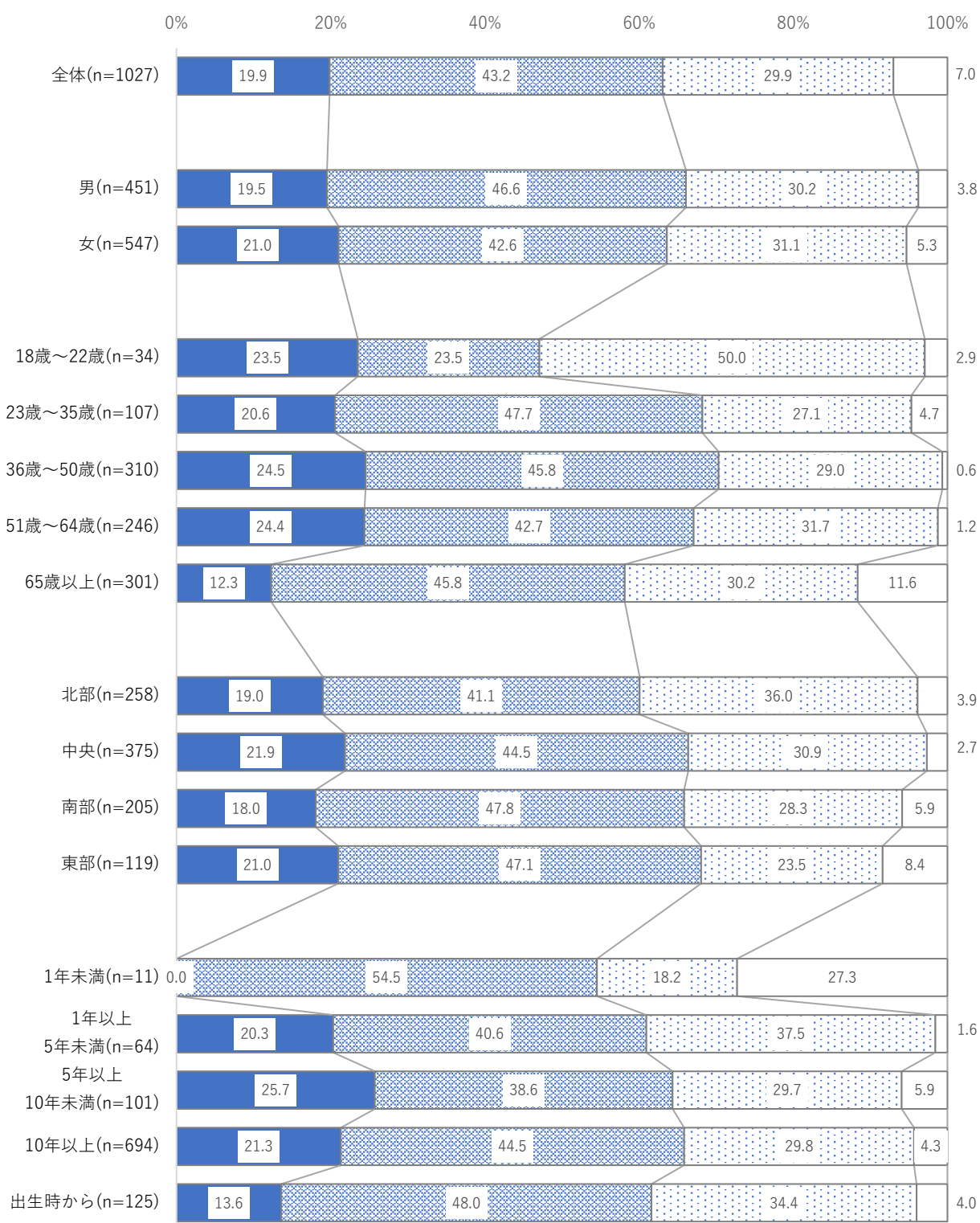
「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は36.6%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は18.0%となっています。

➤ 児童生徒が自ら学び続けることのできる教育の実施



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は31.4%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は19.1%となっています。

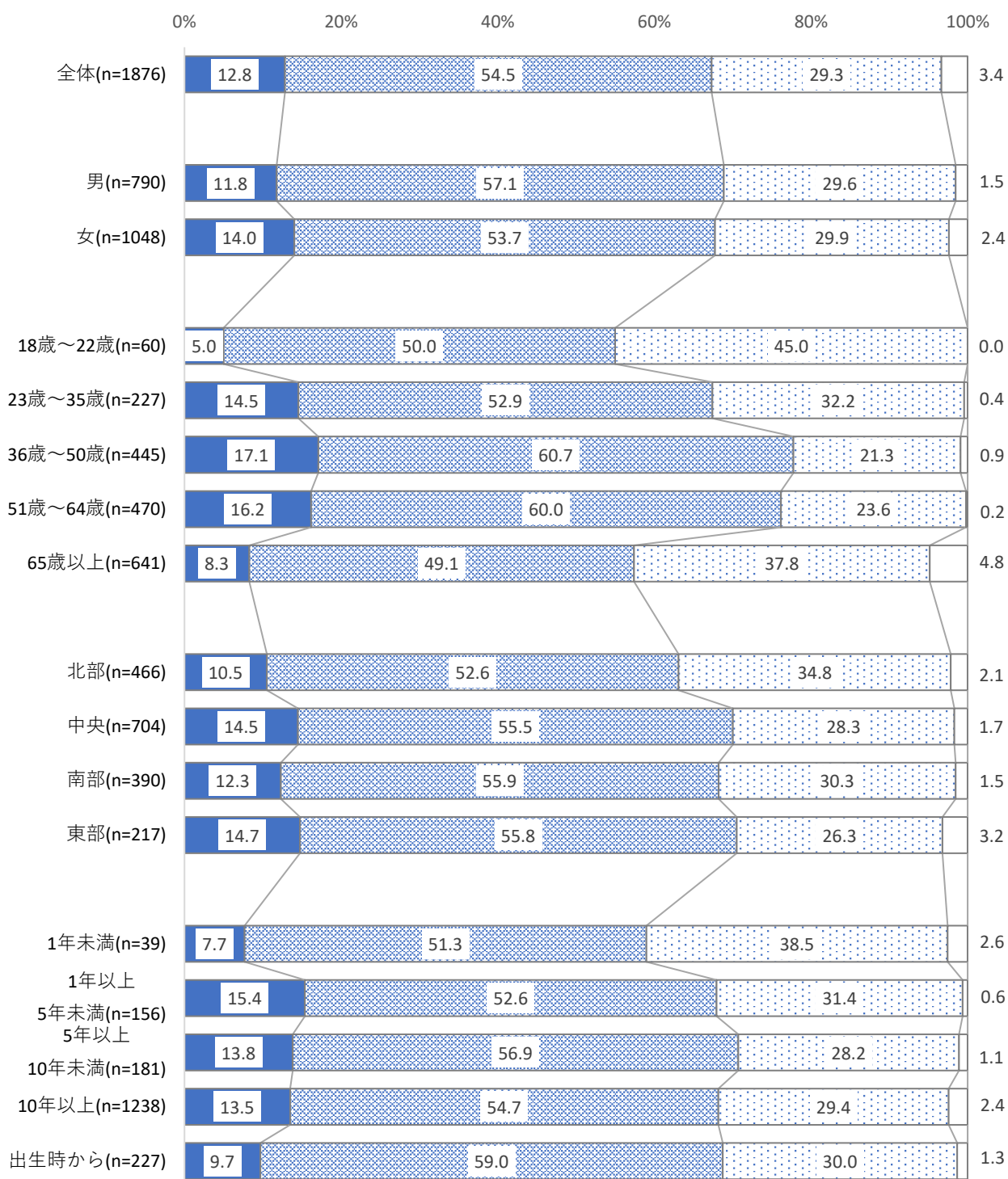
➤ 地域をはじめとする、こどもたちの学びを支える環境の整備



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は29.9%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は19.9%となっています。

【健康】

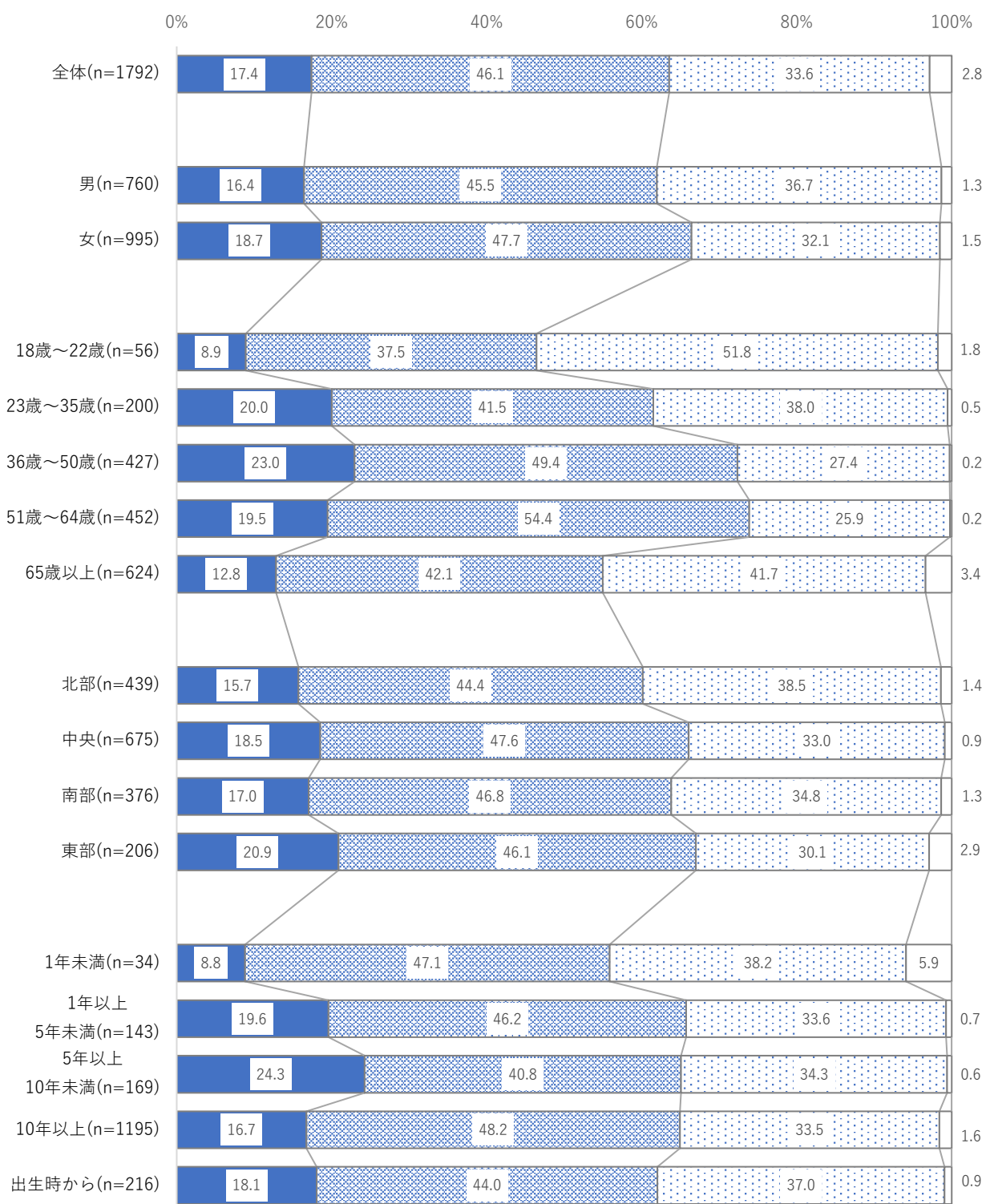
➤ 誰に対しても健康づくりのきっかけとなる取り組みの実施



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は29.3%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は12.8%となっています。

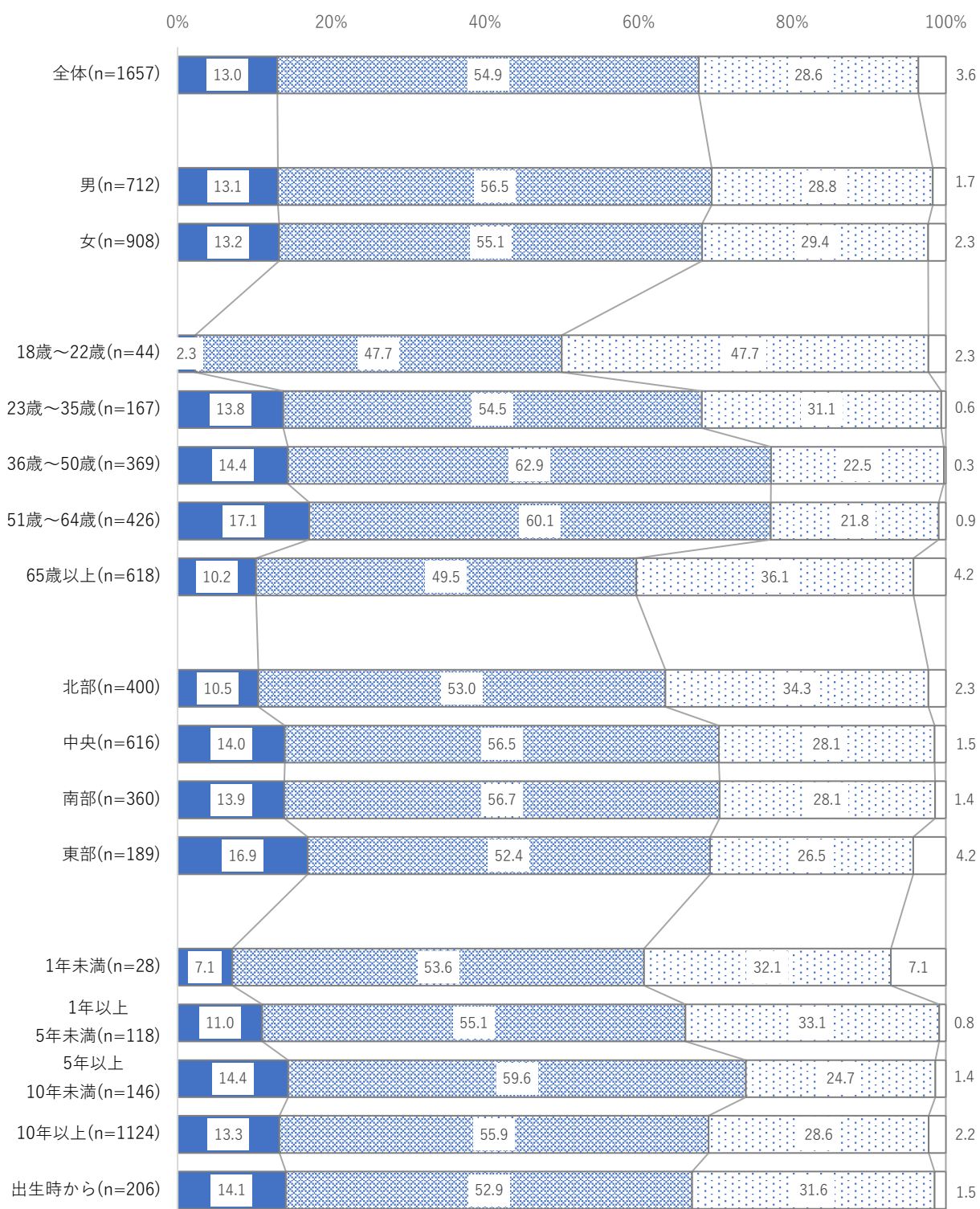
また、「どちらともいえない」が54.5%と過半数を超える結果となっています。

➤ 医療・介護サービスがいつでも利用しやすい環境の整備



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は33.6%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は17.4%となっています。

➤ フレイル予防・介護予防の取り組みの実施

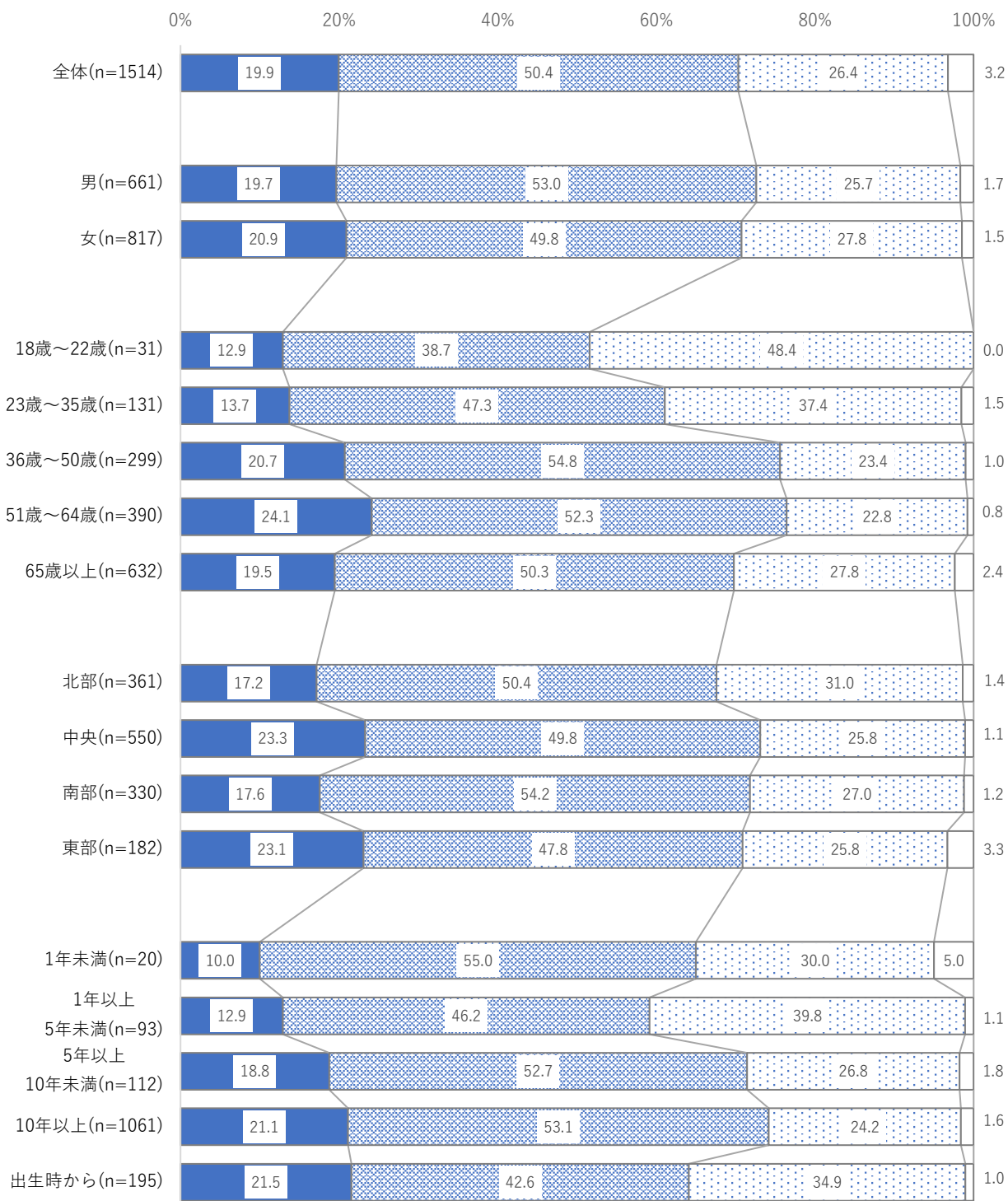


「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は28.6%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は13.0%となっています。

また、「どちらともいえない」が54.9%と過半数を超える結果となっています。

【高齢者・福祉】

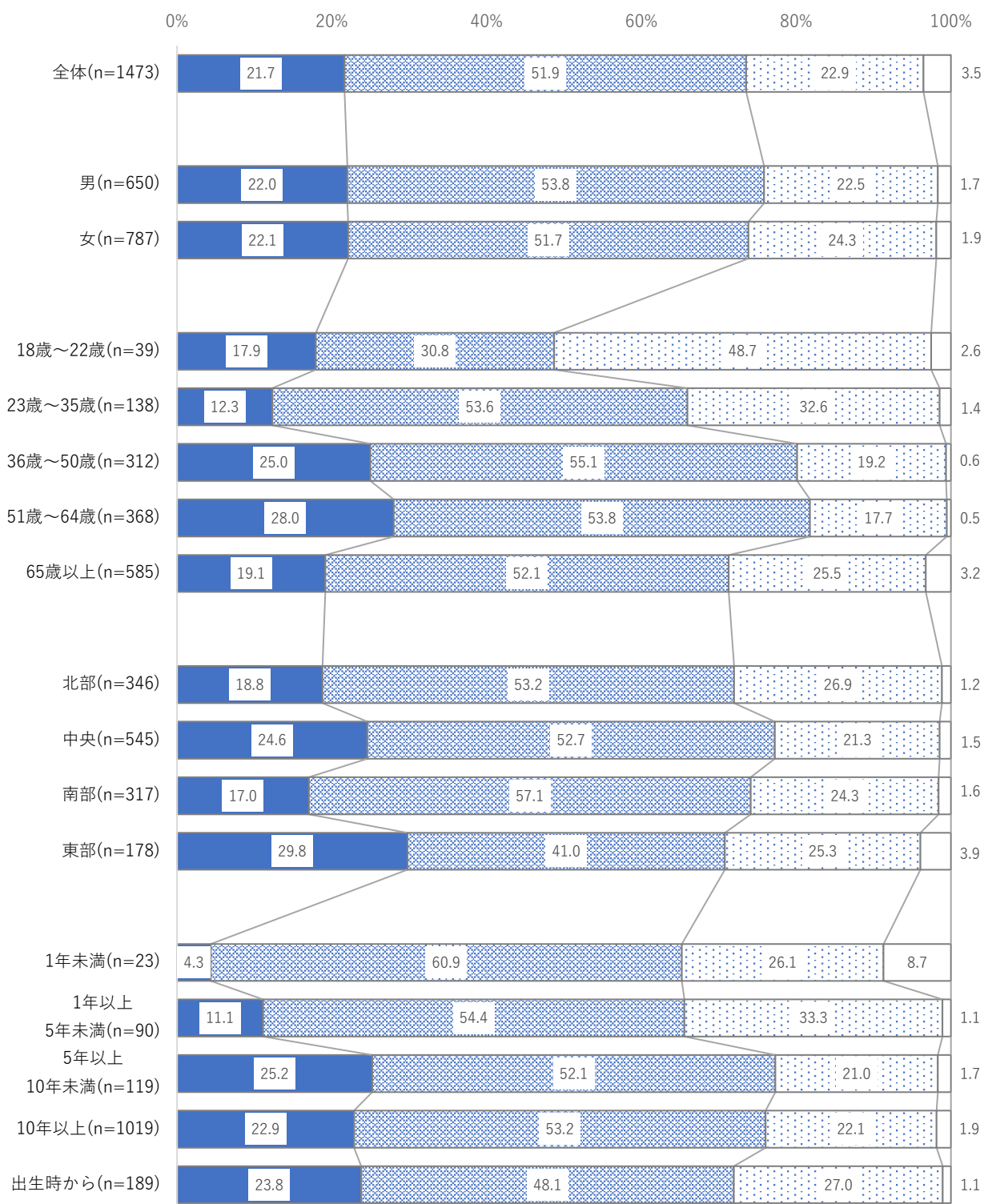
➤ 高齢者がいきいきと過ごすための環境の整備



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は26.4%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は19.9%となっています。

また、「どちらともいえない」が50.4%と過半数を超える結果となっています。

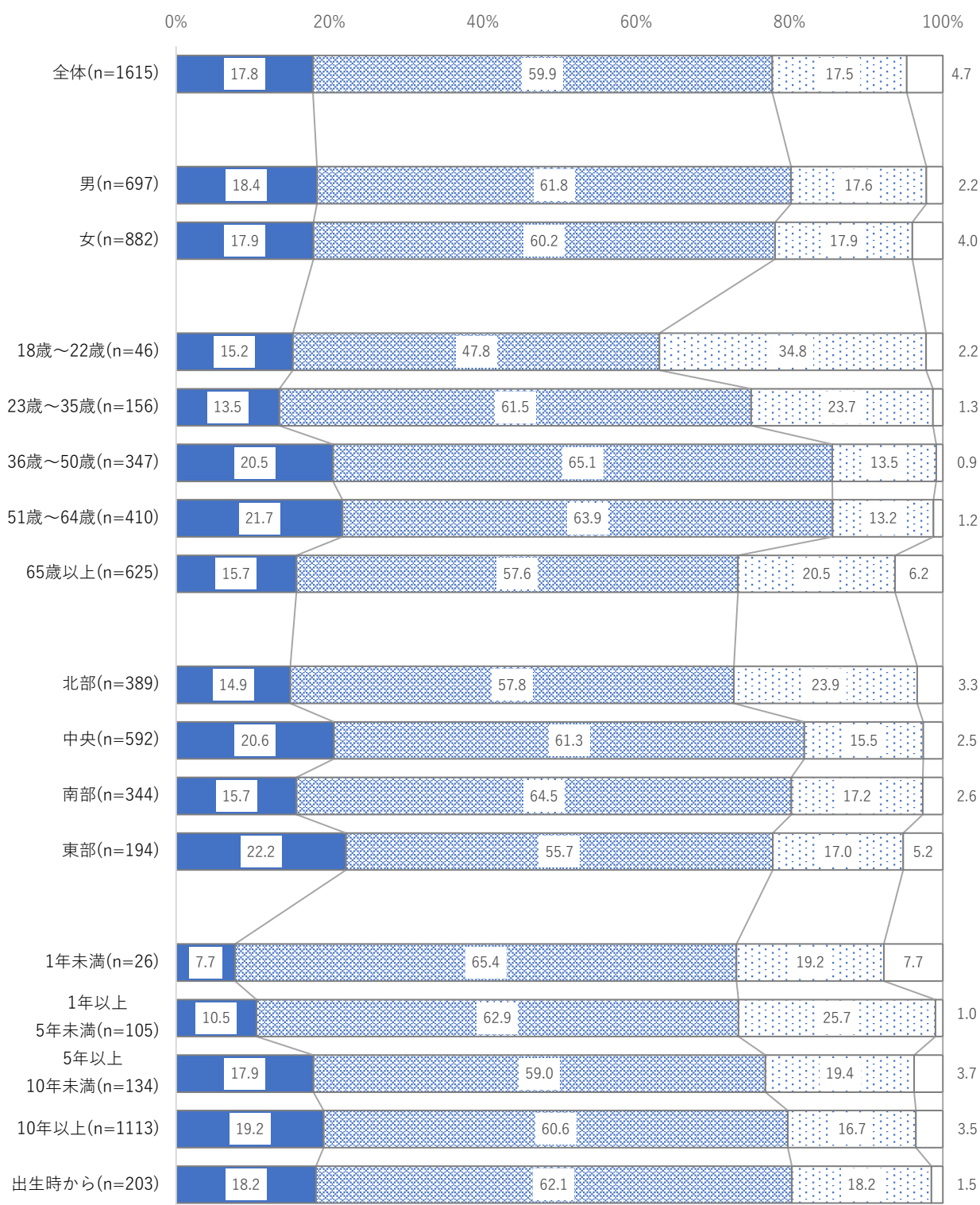
➤ 病気や障がいを抱える人への支援体制の充実



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は22.9%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は21.7%となっています。

また、「どちらともいえない」が51.9%と過半数を超える結果となっています。

➤ 地域共生社会の実現

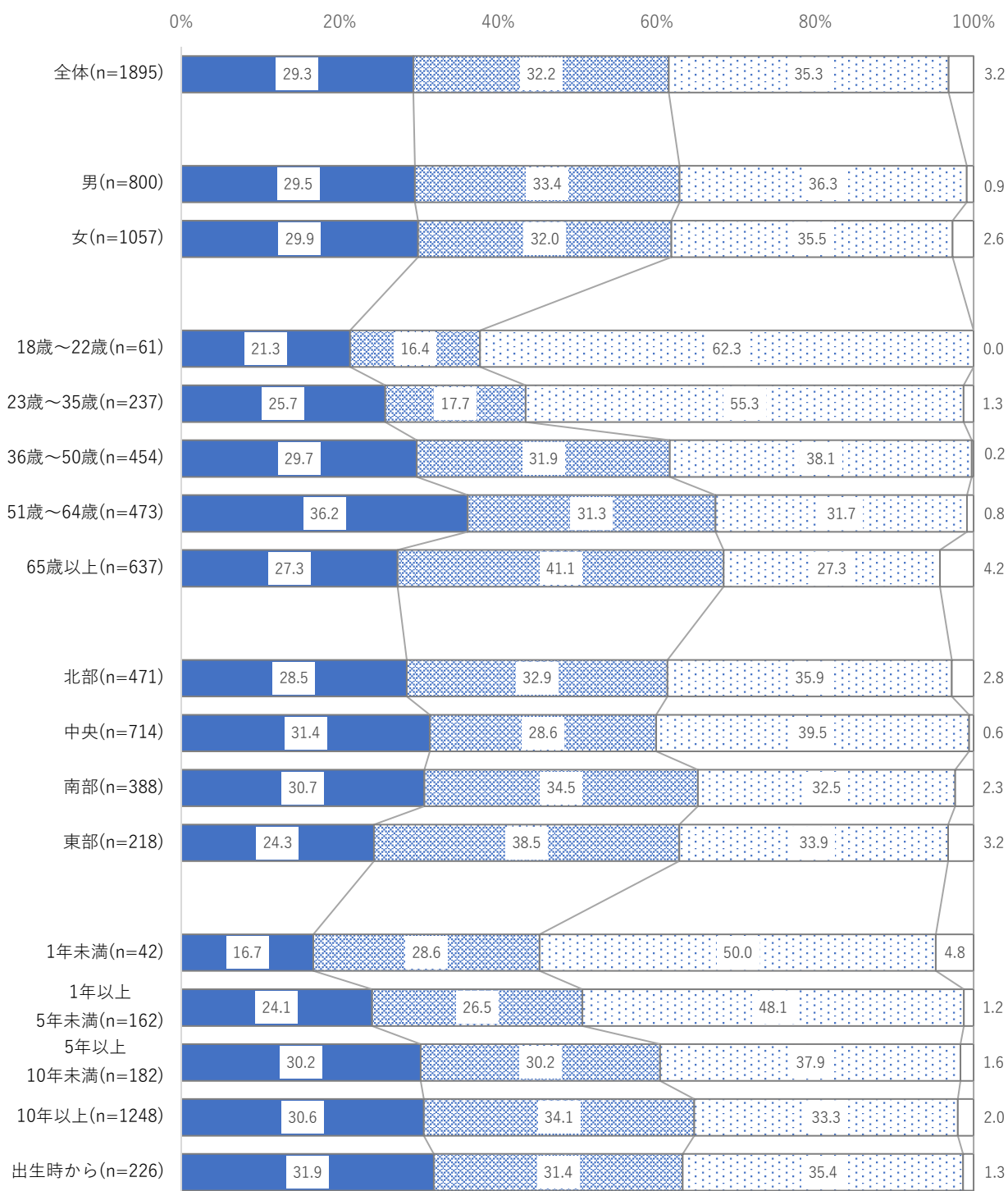


「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は17.5%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は17.8%となっています。

また、「どちらともいえない」が59.9%と過半数を超える結果となっています。

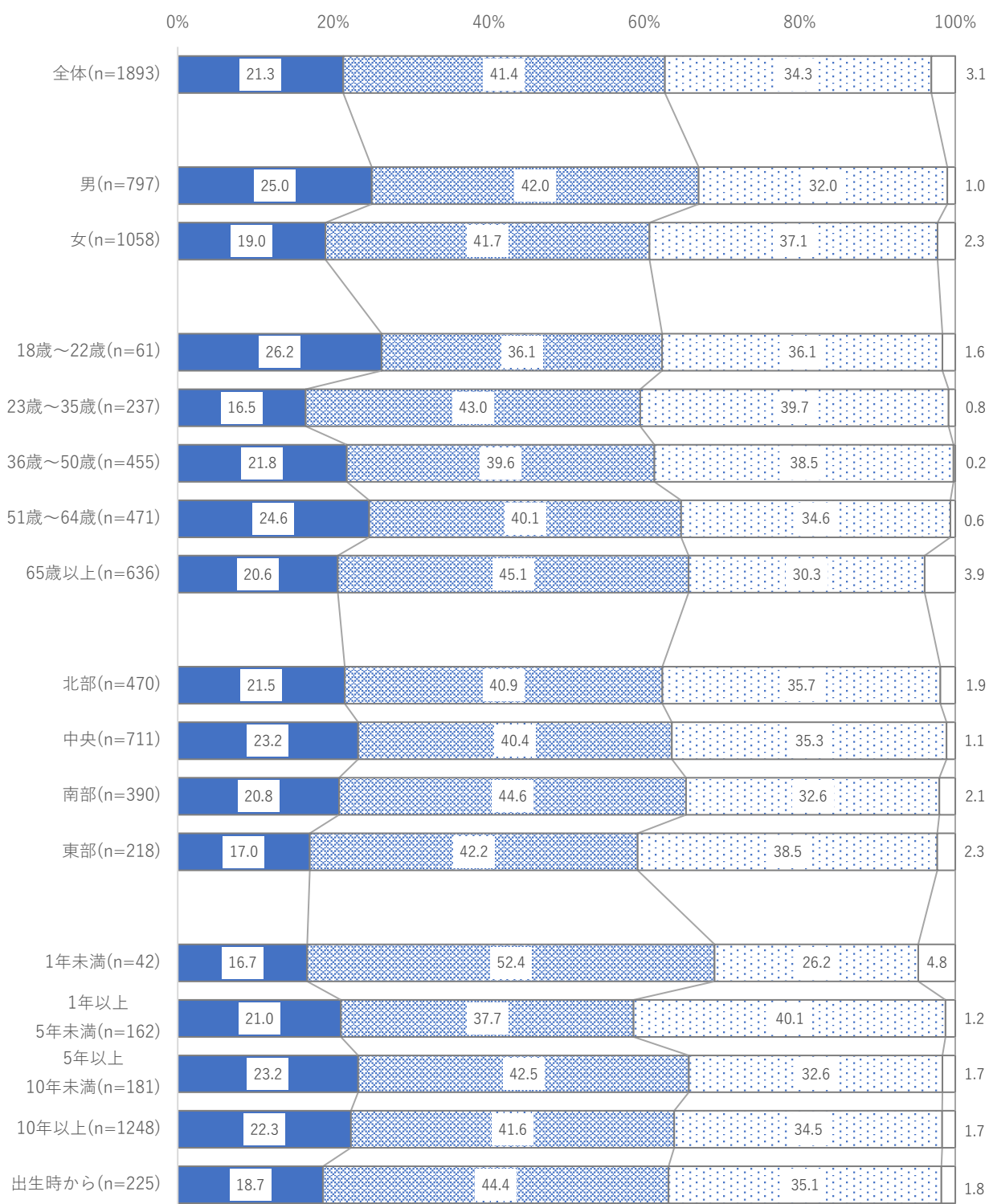
【経済・活力】

➤ 柏駅周辺における賑わいや新たな魅力の創出



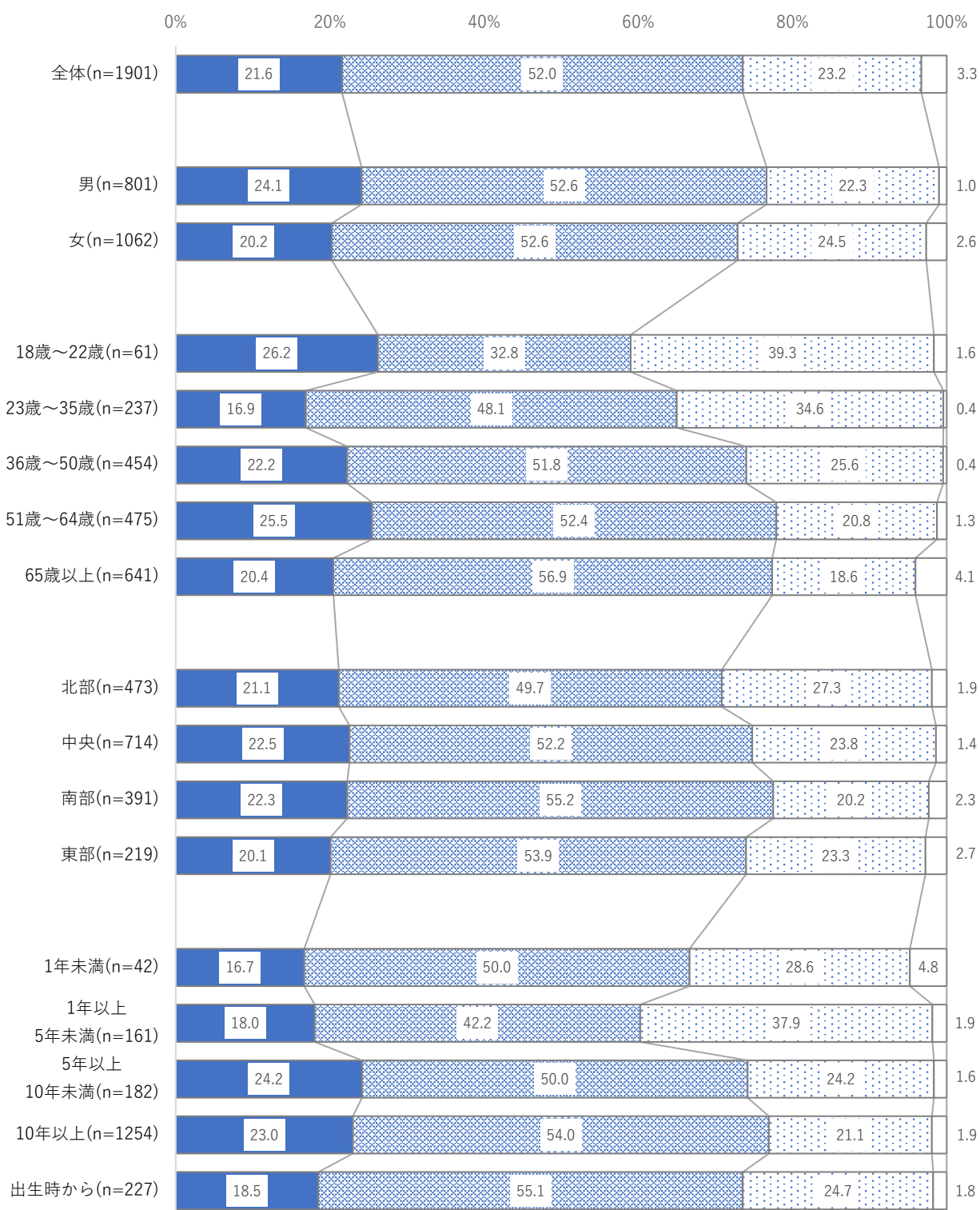
「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は35.3%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は29.3%となっています。

➤ 市内農産物の魅力の発信



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は34.3%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は21.3%となっています。

➤ 地域ごとの個性や魅力を活かした取り組みの実施

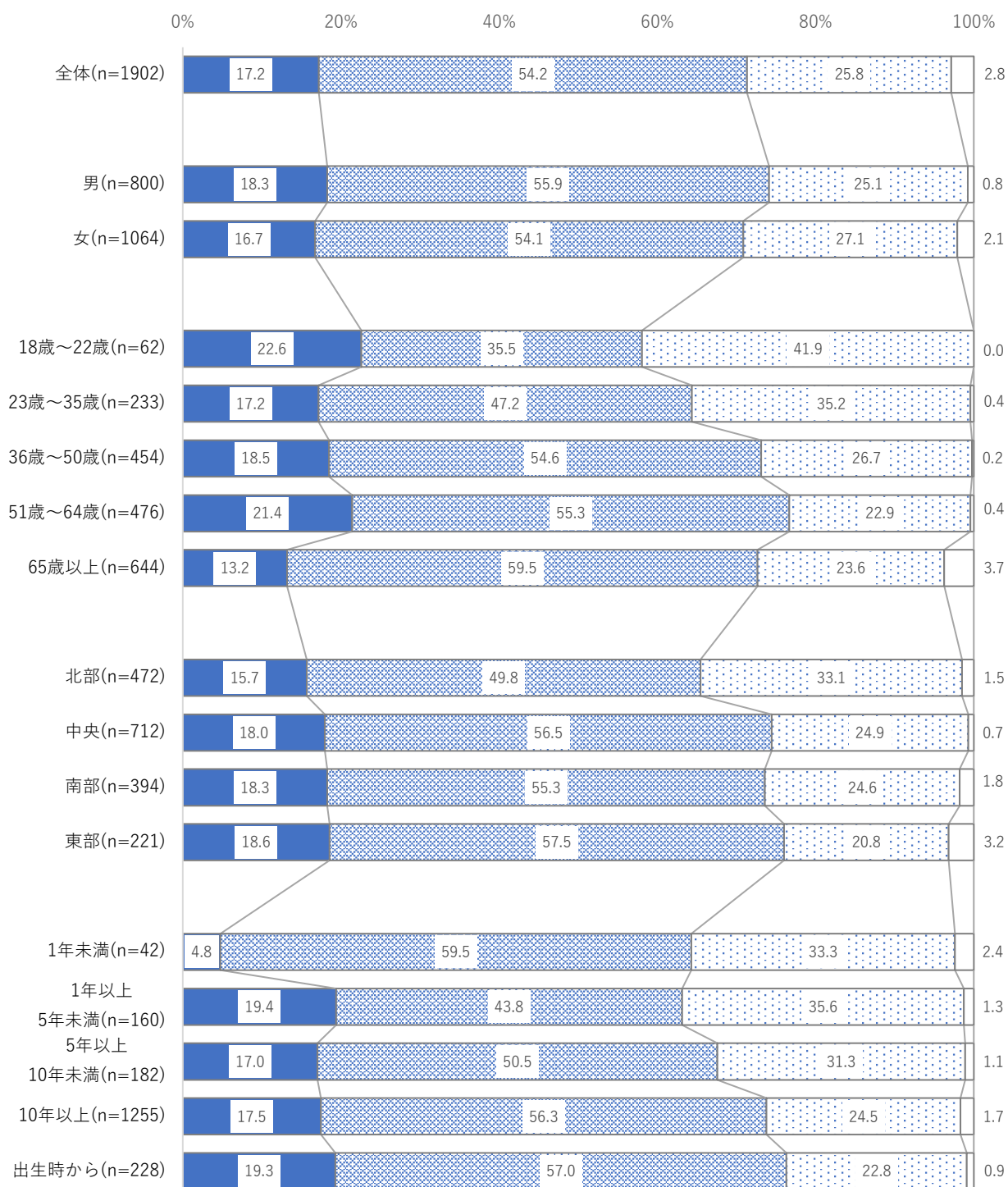


「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は23.2%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は21.6%となっています。

また、「どちらともいえない」が52.0%と過半数を超える結果となっています。

【地域活動】

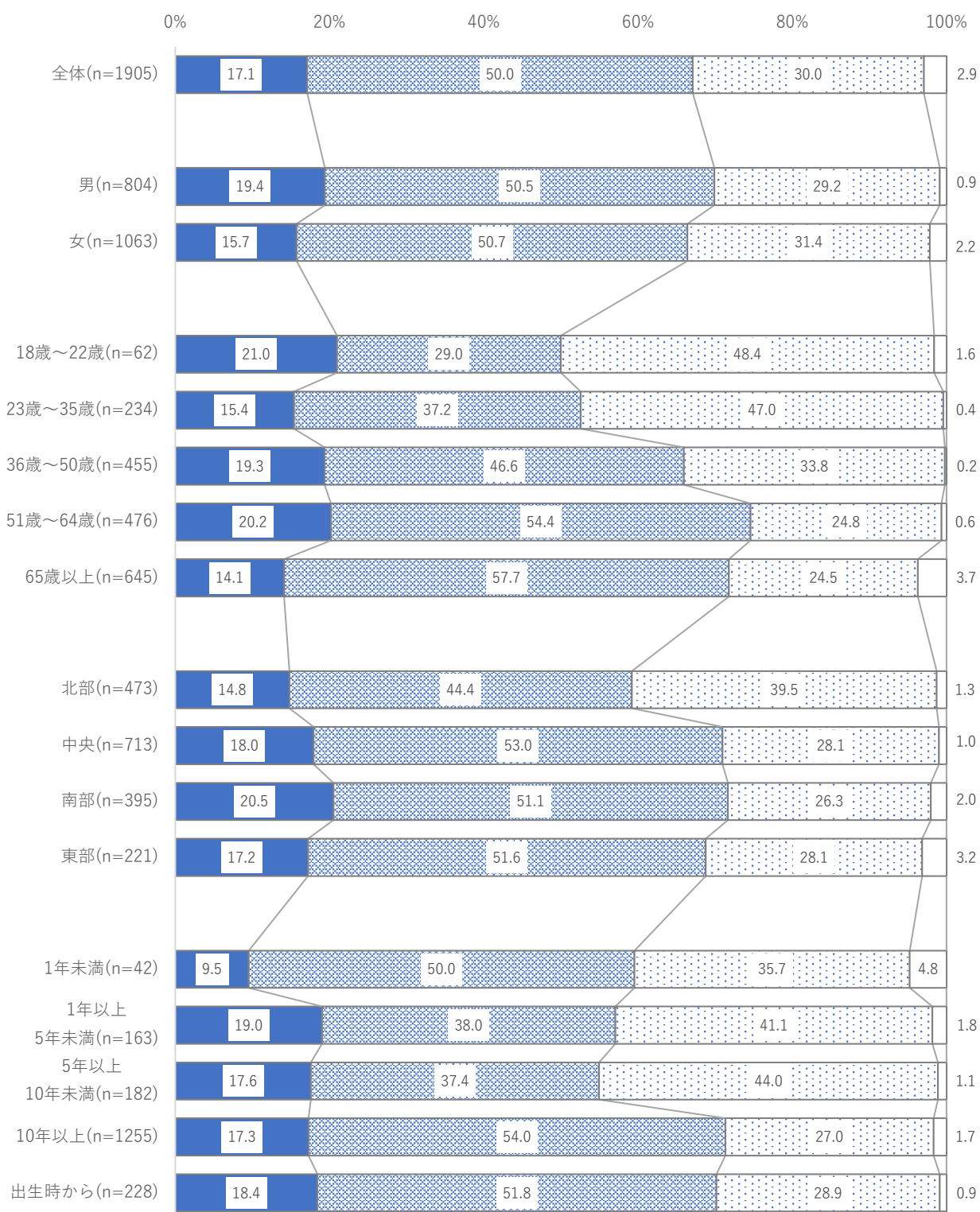
➤ 地域コミュニティの活発さ・自主性



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は25.8%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は17.2%となっています。

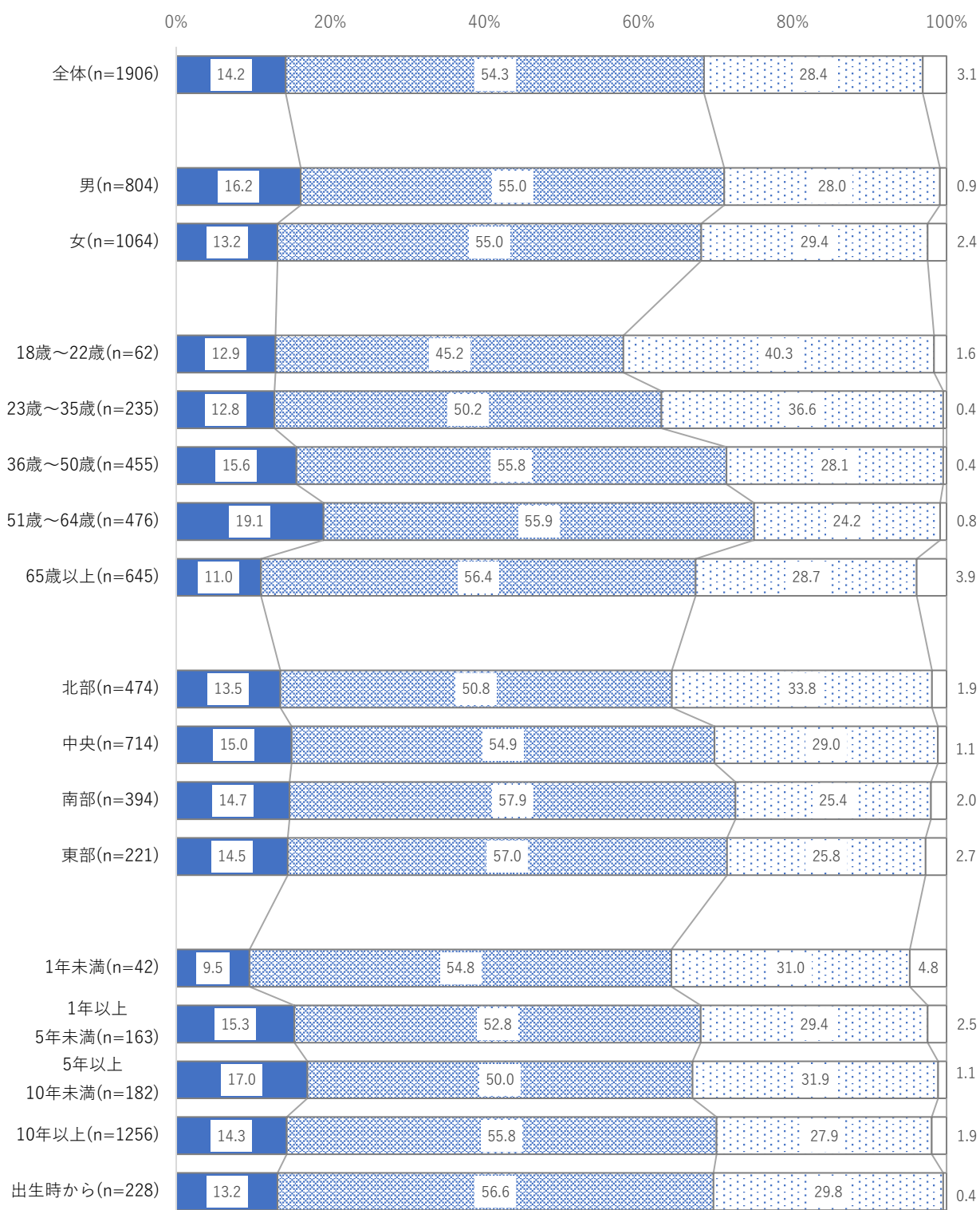
また、「どちらともいえない」が54.2%と過半数を超える結果となっています。

➤ 地域イベントの実施



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は30.0%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は17.1%となっています。

➤ 地域や柏市に対する愛着の促進

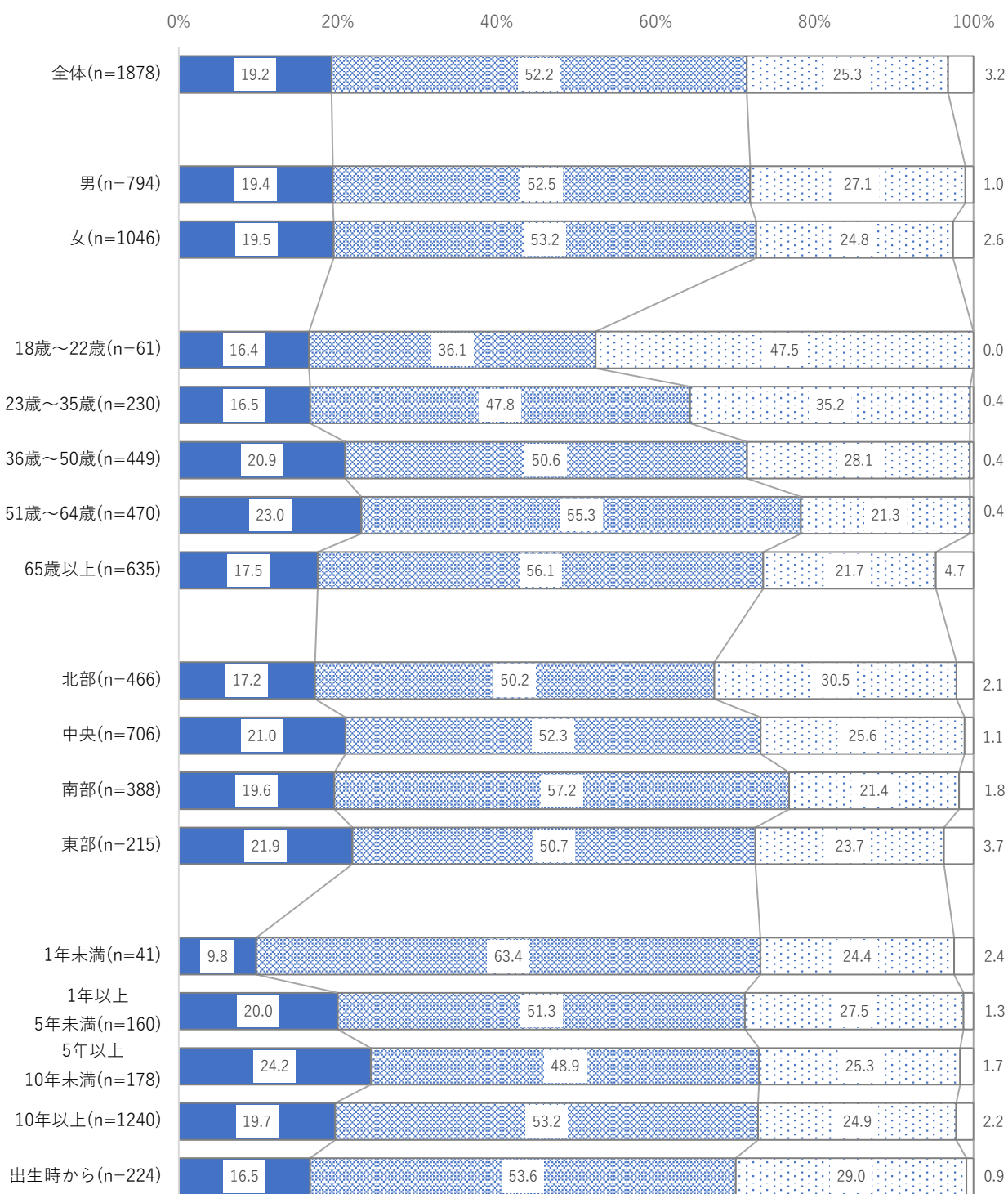


「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は28.4%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は14.2%となっています。

また、「どちらともいえない」が54.3%と過半数を超える結果となっています。

【生涯学習】

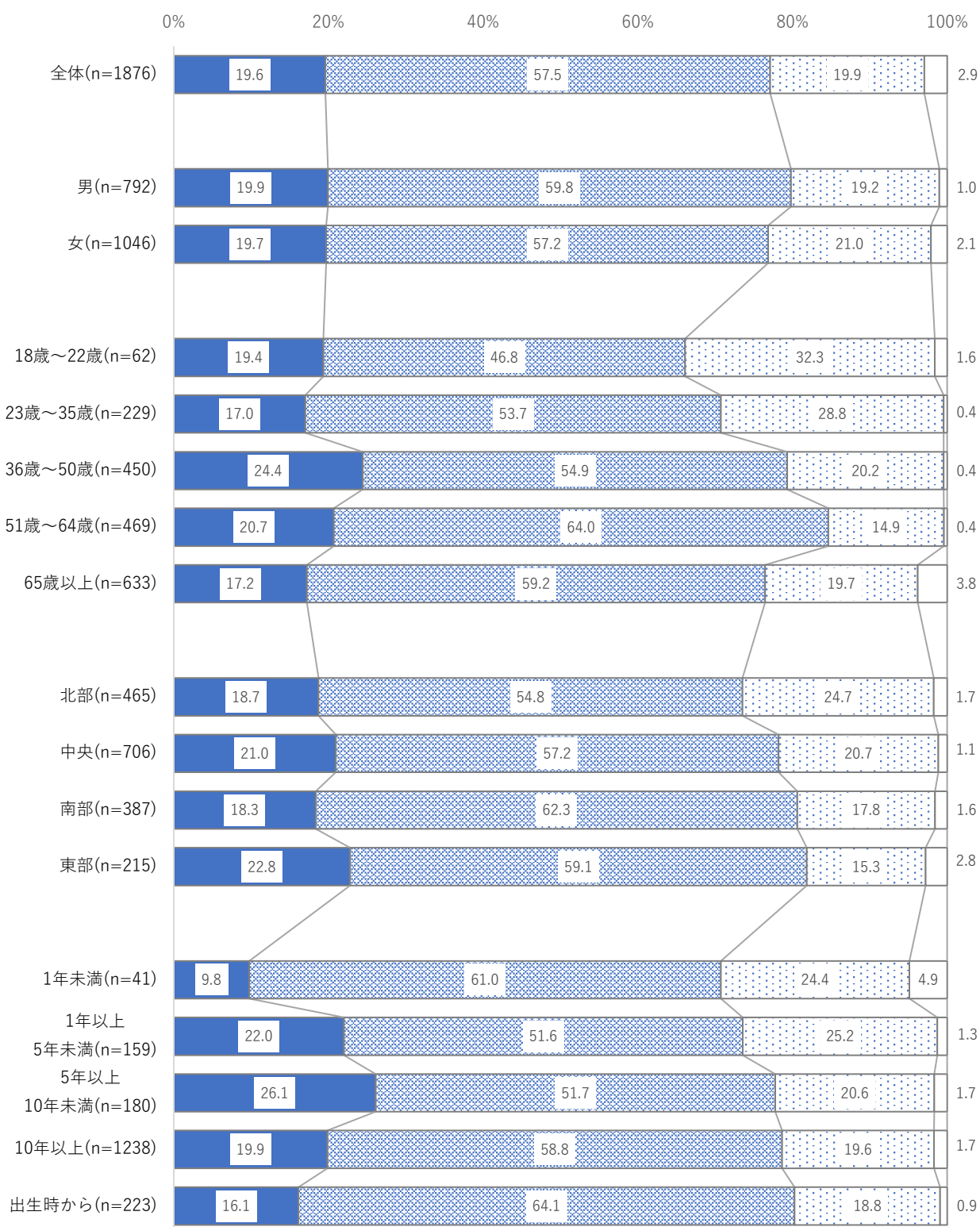
➤ 文化芸術・スポーツに参加しやすい環境の整備



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は25.3%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は19.2%となっています。

また、「どちらともいえない」が52.2%と過半数を超える結果となっています。

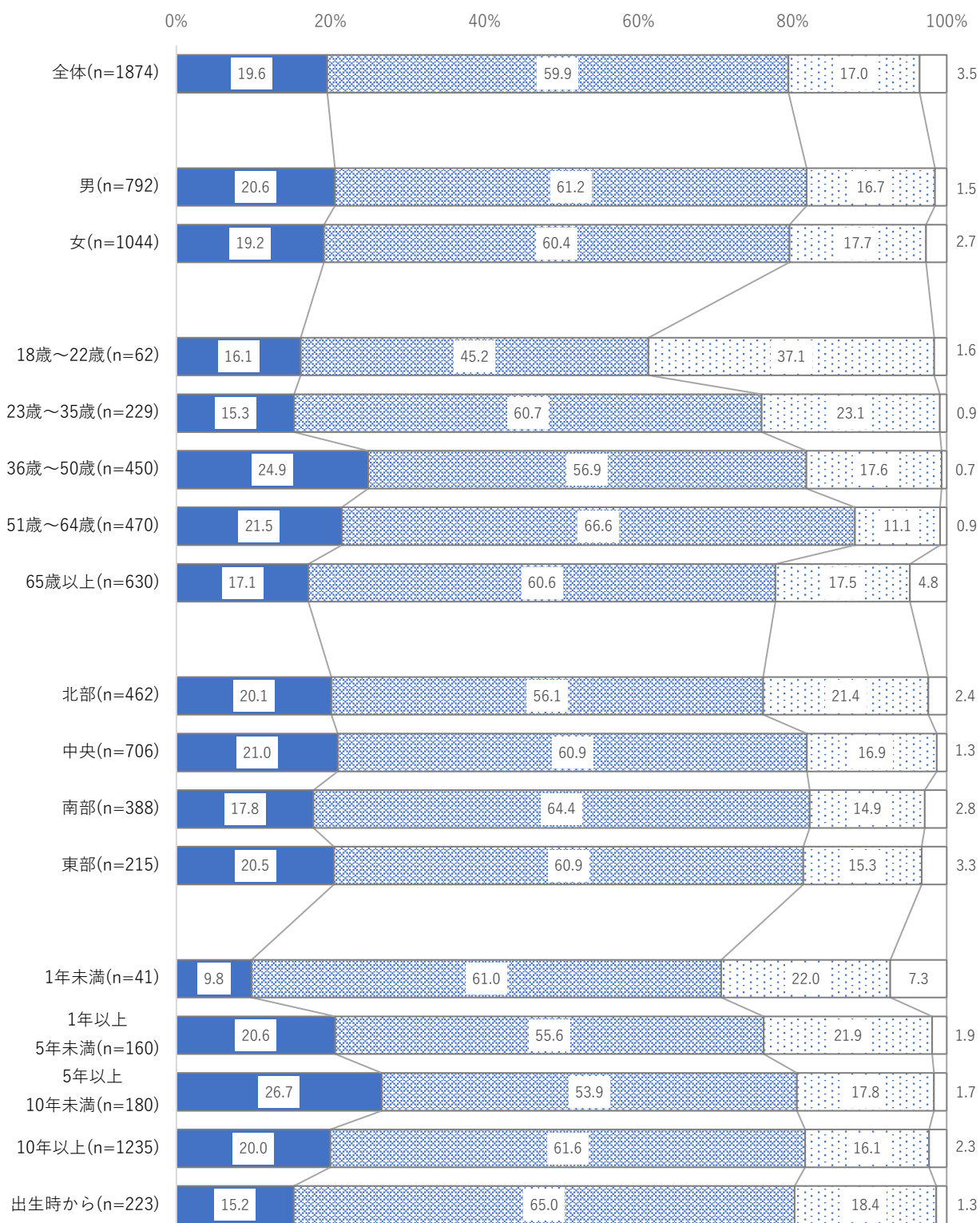
➤ 自ら学ぶことのできる環境の整備



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は19.9%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は19.6%となっています。

また、「どちらともいえない」が57.5%と過半数を超える結果となっています。

➤ 自らの学びを活かす場の創出

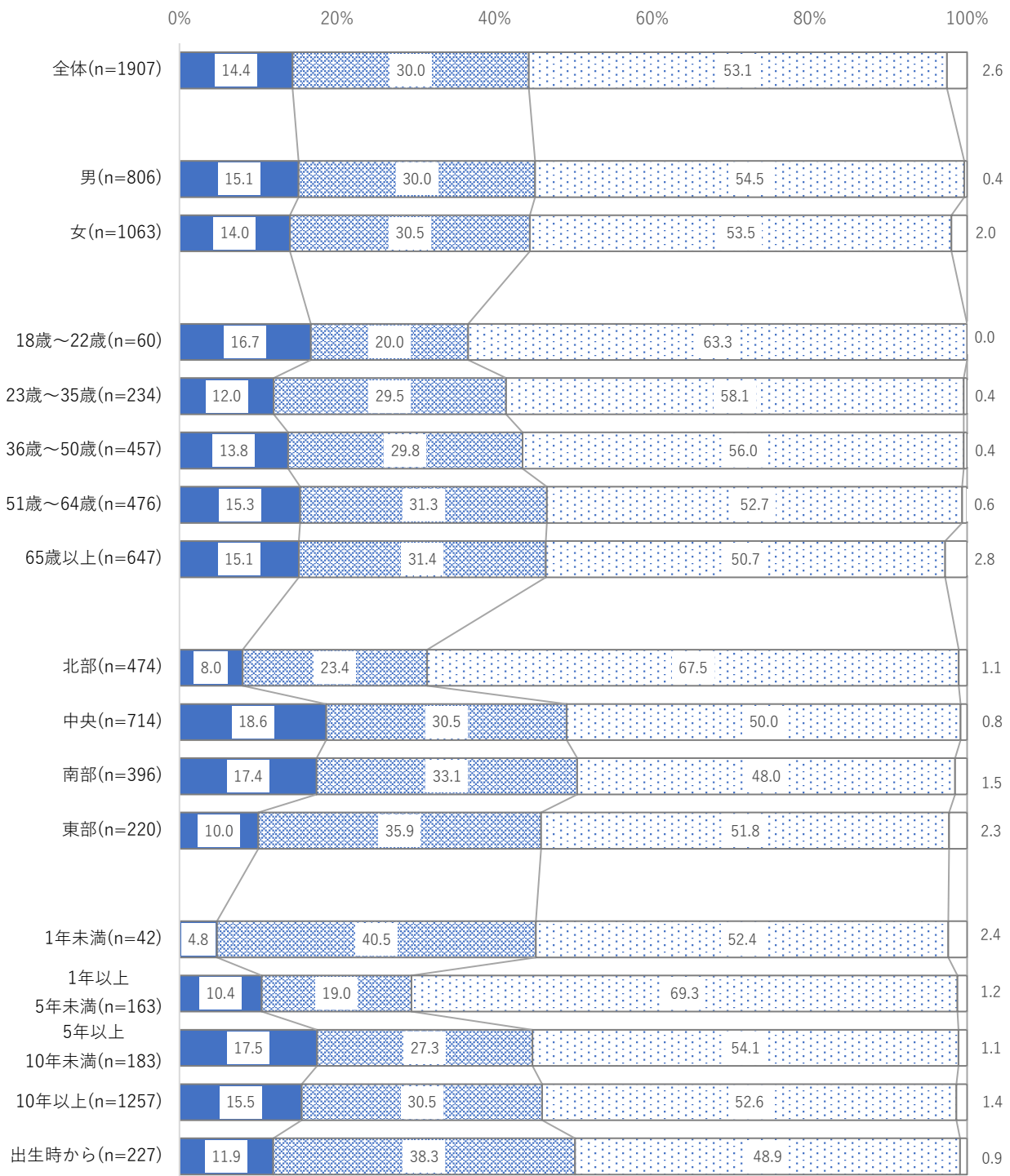


「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は17.0%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は19.6%となっています。

また、「どちらともいえない」が59.9%と過半数を超える結果となっています。

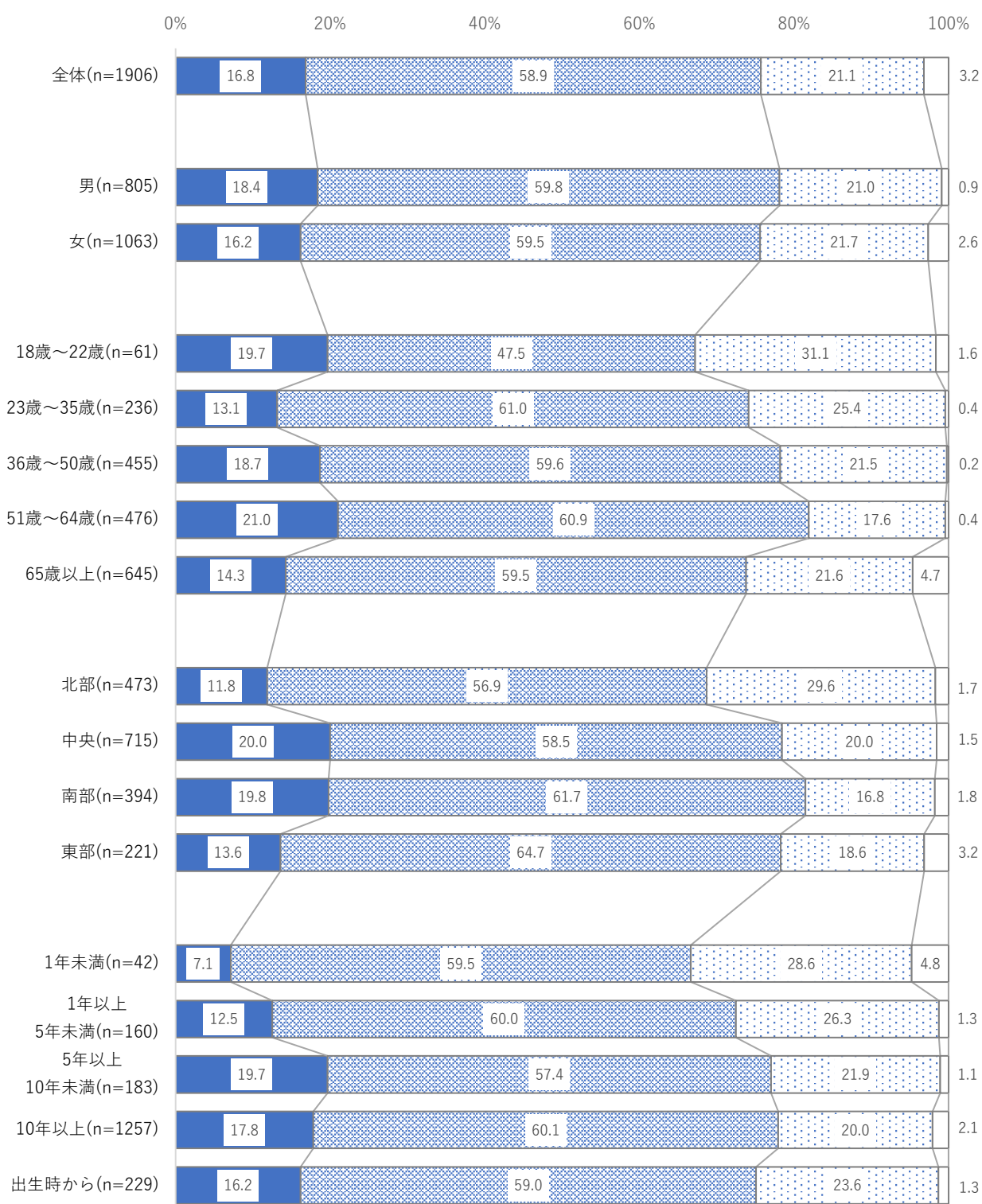
【環境】

➤ 緑や自然を身近に感じられる環境の充実



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は53.1%で過半数を超えており、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は14.4%となっています。

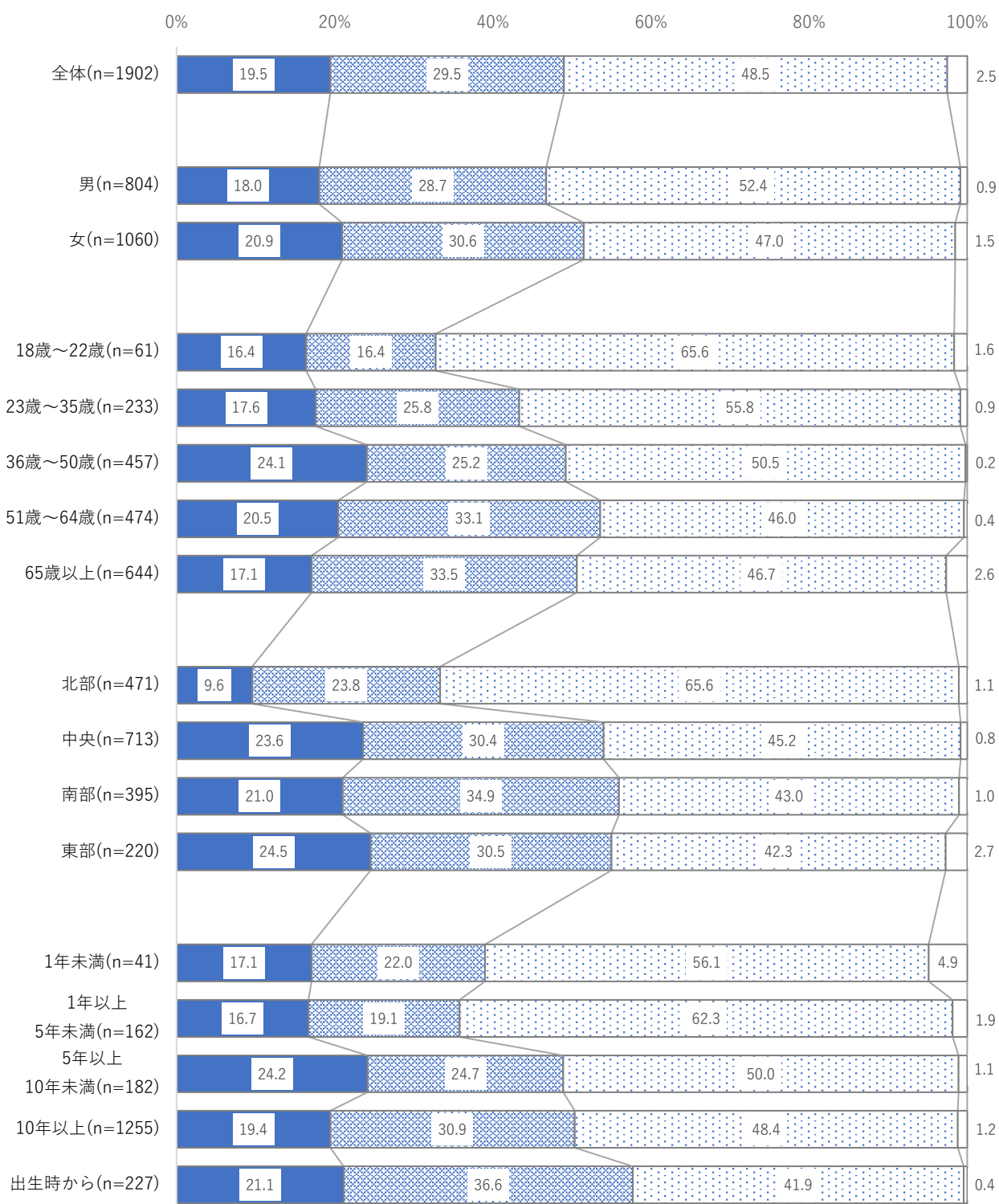
➤ 省エネ・創エネ等への取り組み・啓発の実施



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は21.1%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は16.8%となっています。

また、「どちらともいえない」が58.9%と過半数を超える結果となっています。

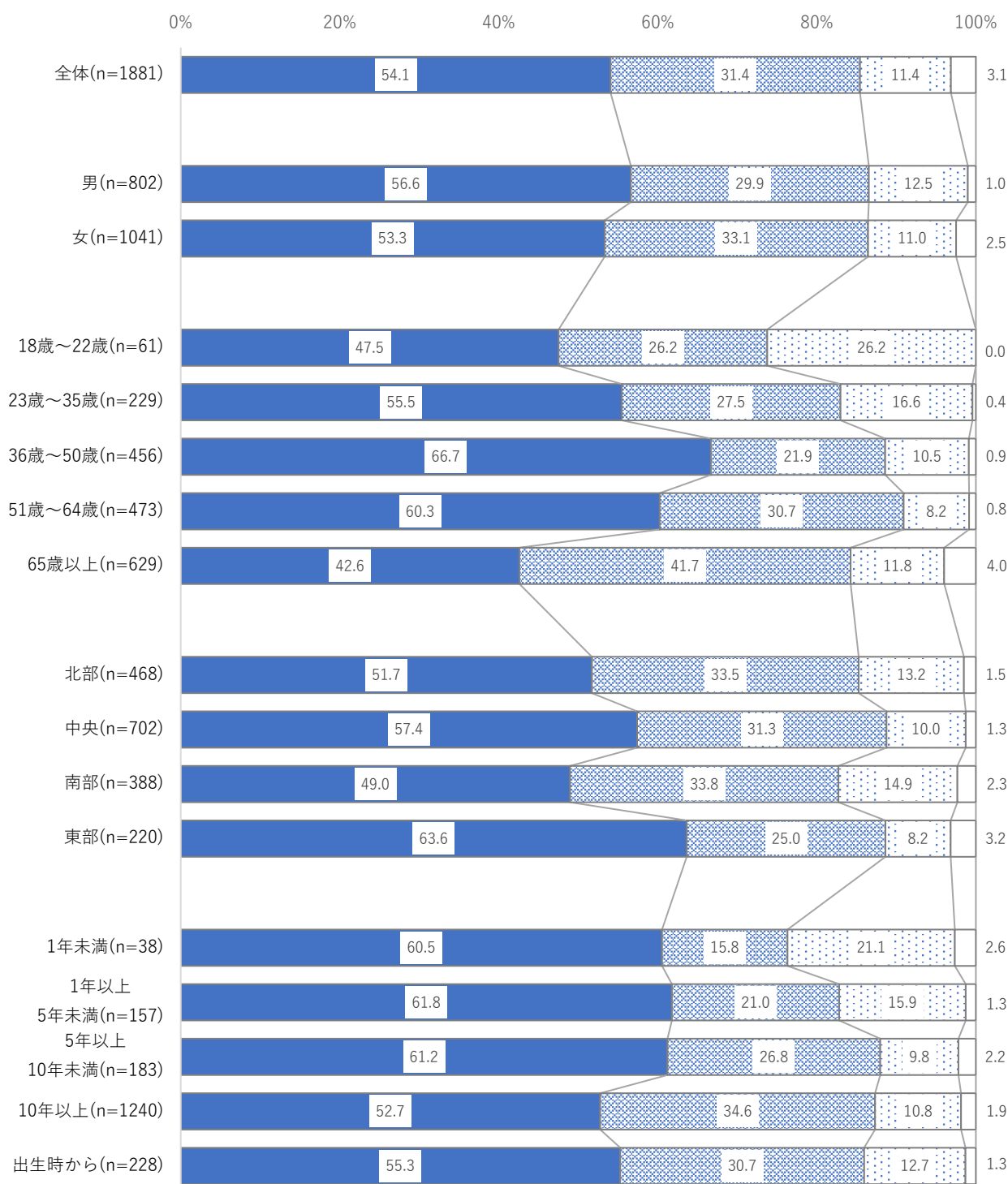
➤ 身近に利用できる公園の充実



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は48.5%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は19.5%となっています。

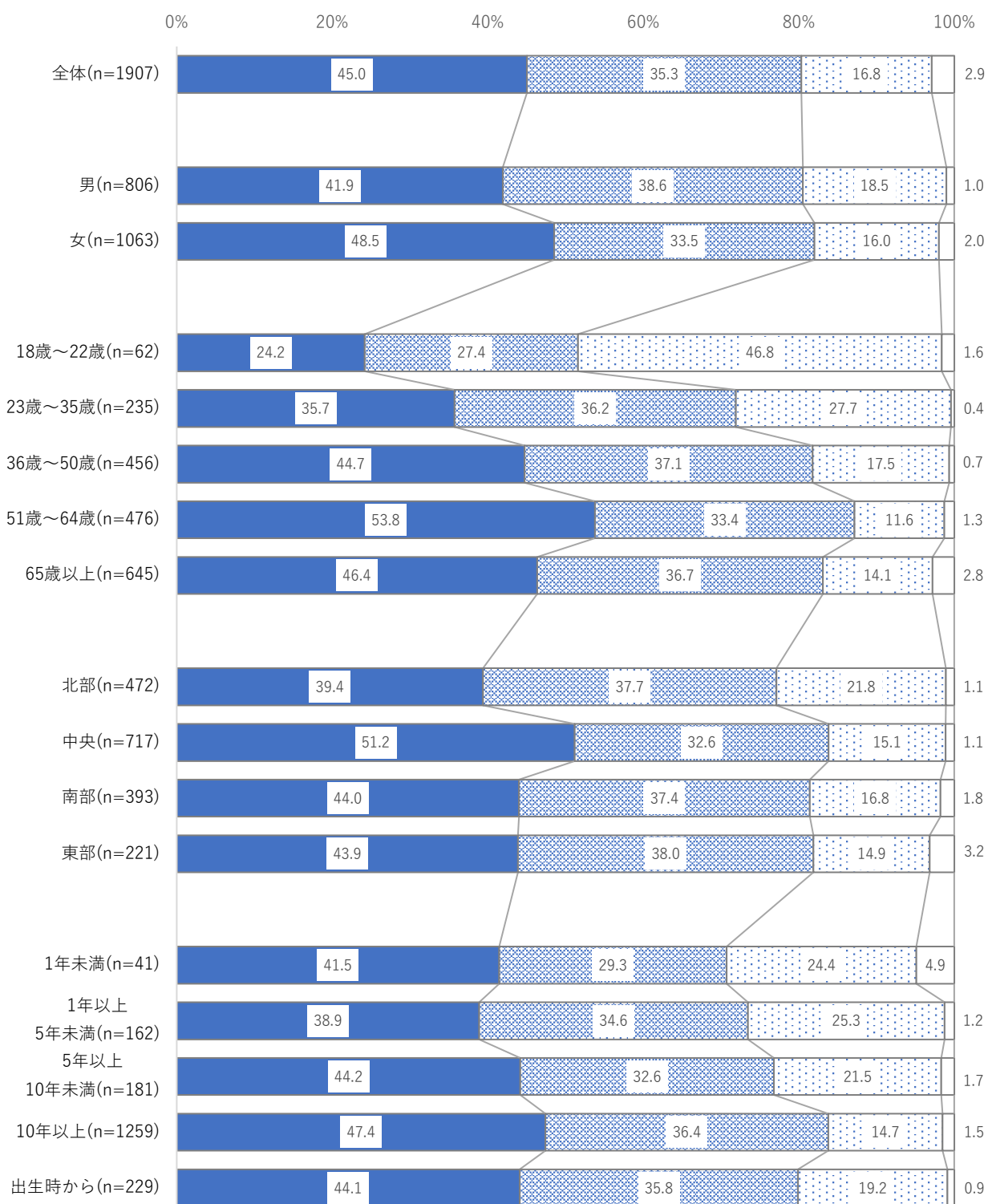
【交通】

➤ 交通渋滞の解消に向けた取り組み



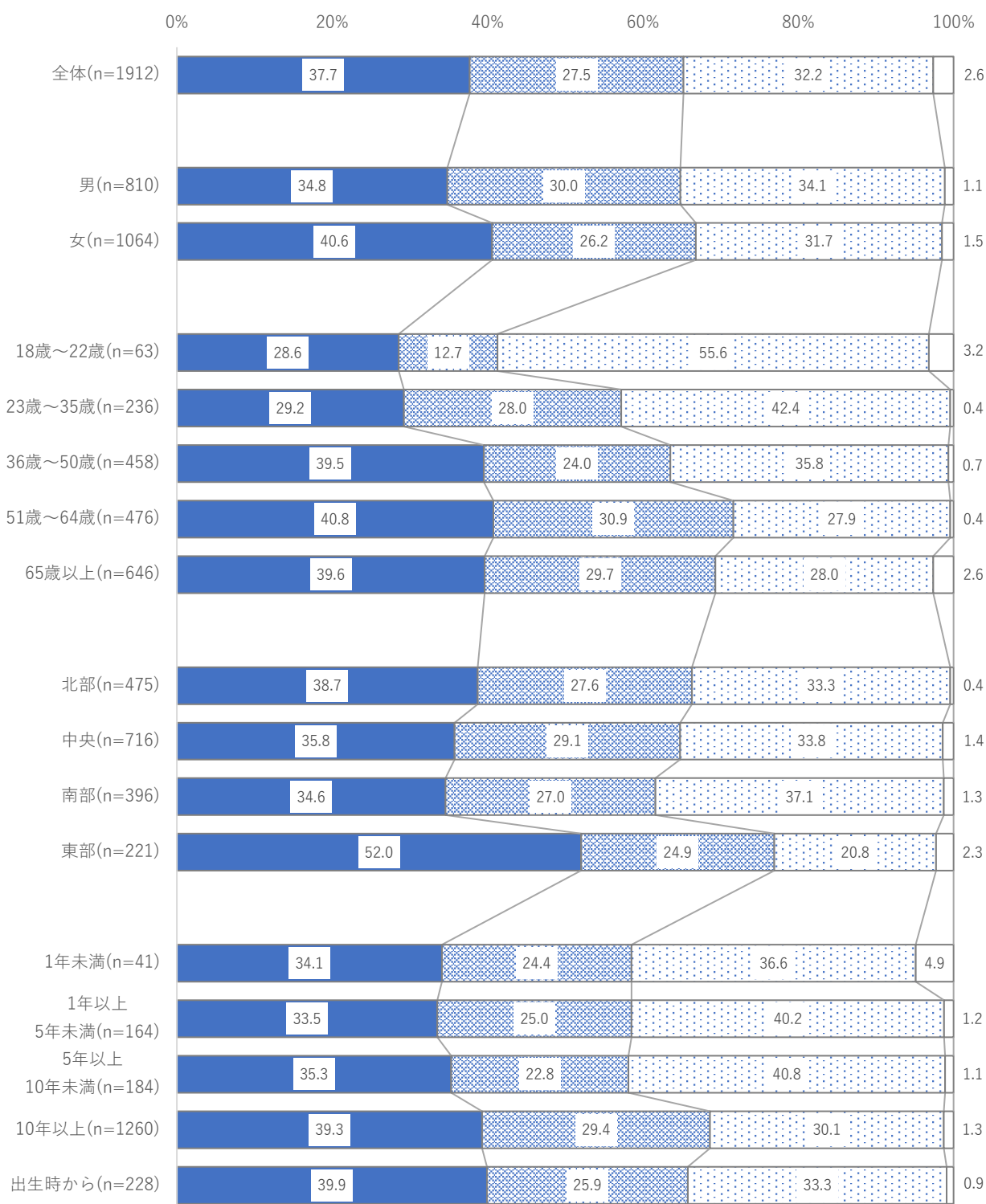
「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は11.4%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は54.1%と過半数を超える結果となっています。

➤ 段差の解消など歩きやすい環境の整備



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は16.8%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は45.0%となっています。

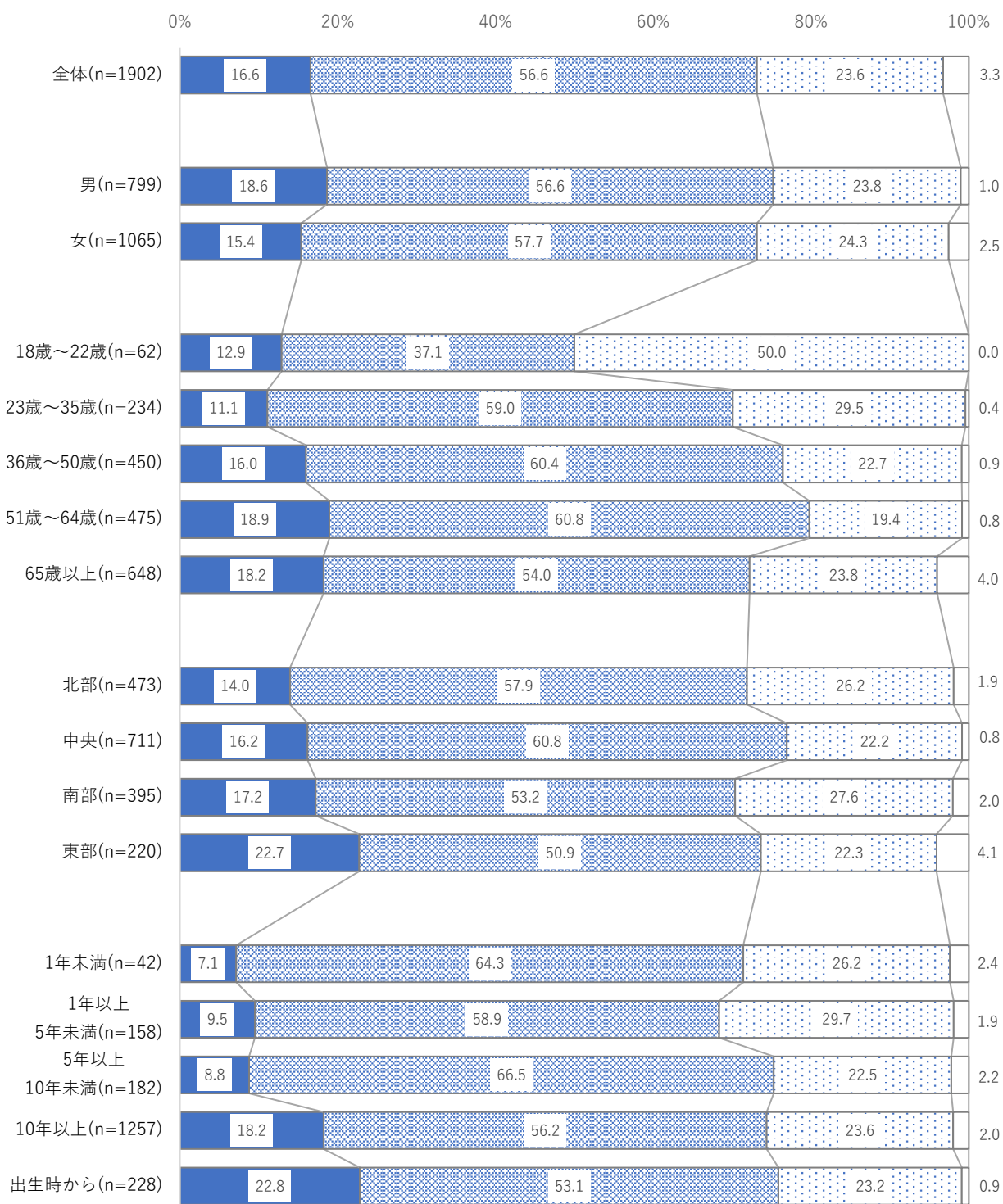
➤ 出かけやすい鉄道・バスなどの市内交通網の整備



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は32.2%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は37.7%となっています。

【防災・消防救急】

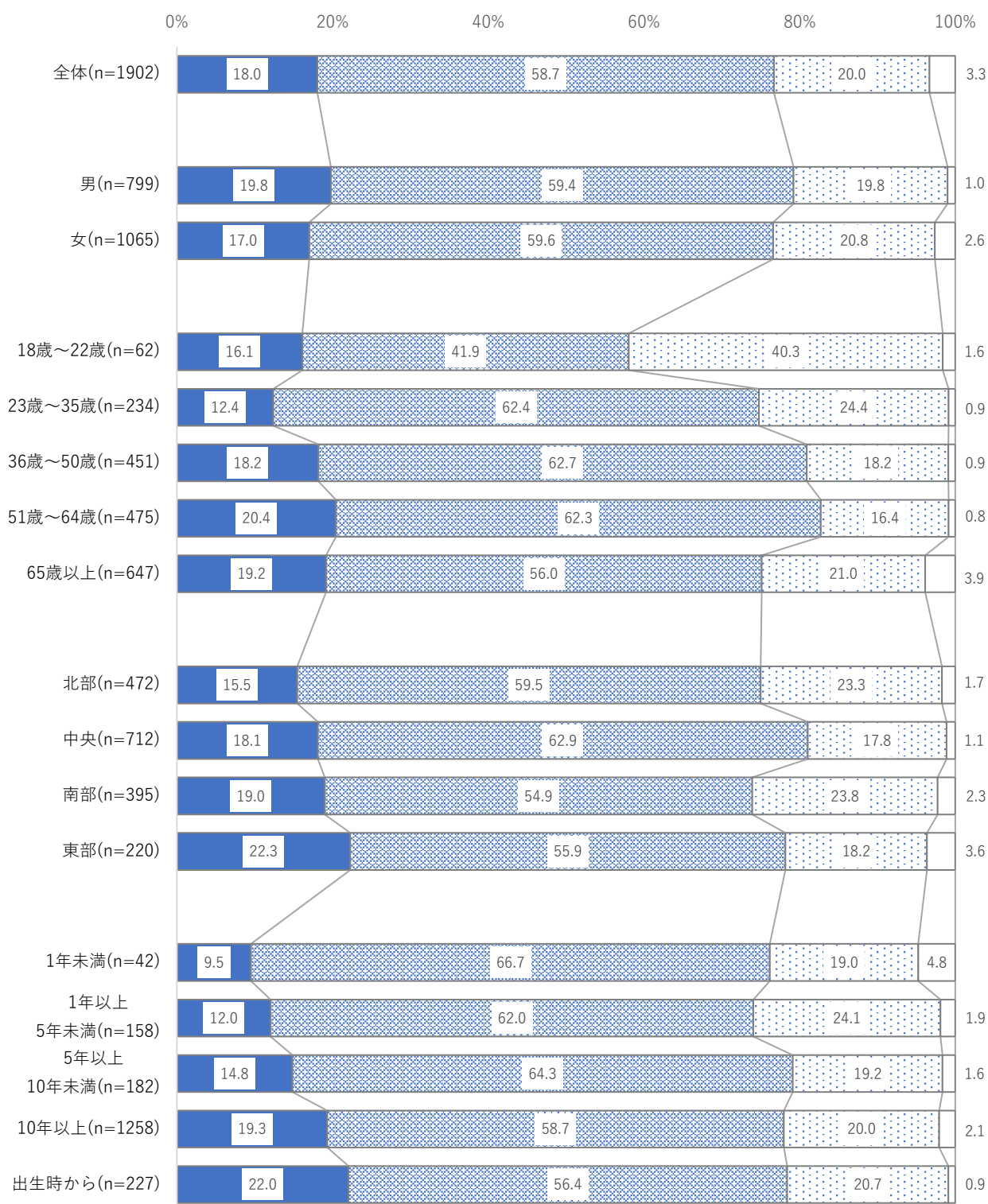
➤ 避難施設の充実や防災備蓄など自然災害への備え



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は23.6%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は16.6%となっています。

また、「どちらともいえない」が56.6%と過半数を超える結果となっています。

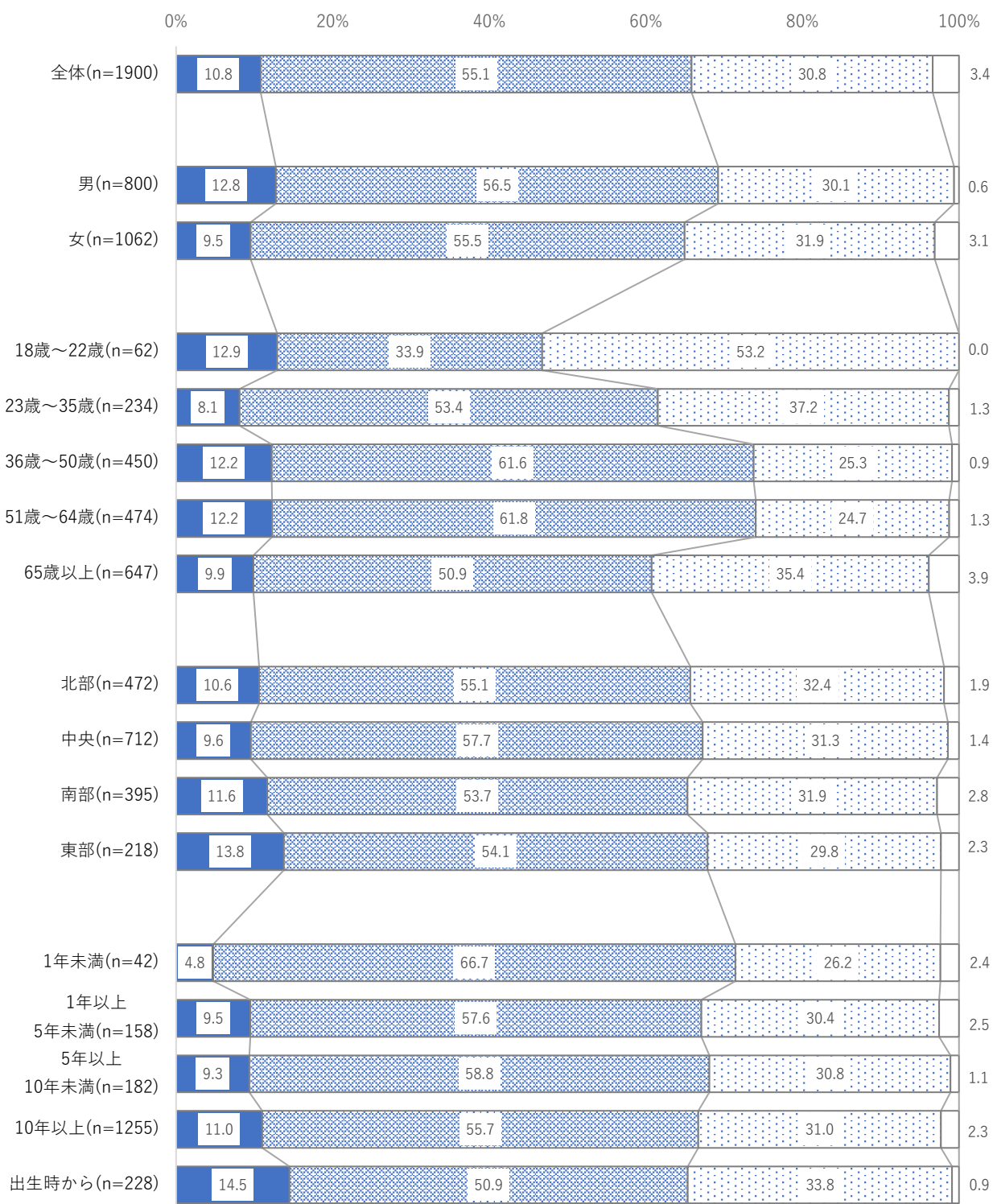
➤ 災害発生に備えた、自助・共助による防災力向上への支援



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は20%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は18.0%となっています。

また、「どちらともいえない」が58.7%と過半数を超える結果となっています。

➤ 迅速で的確な消防・救急体制の充実

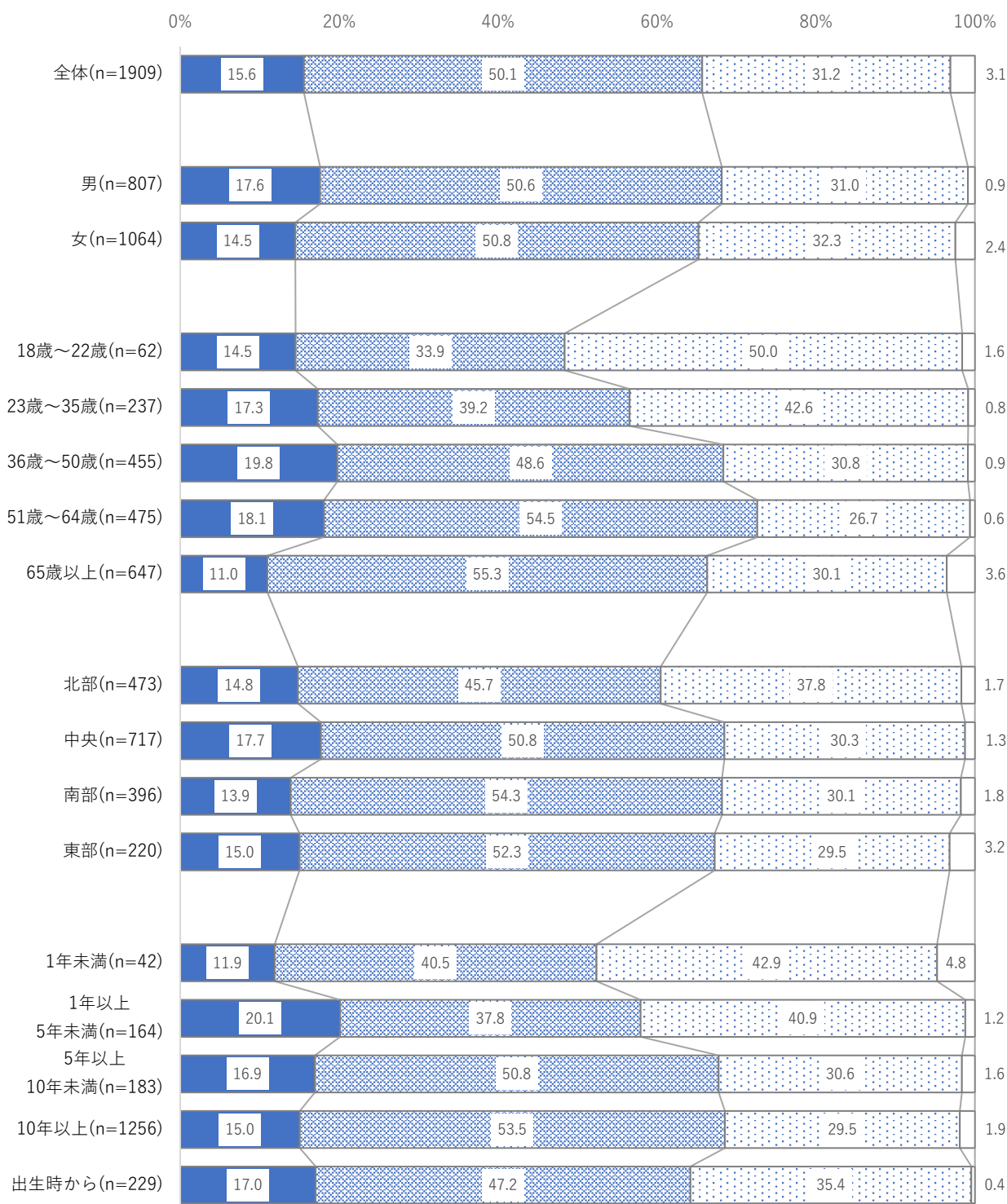


「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は30.8%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は10.8%となっています。

また、「どちらともいえない」が55.1%と過半数を超える結果となっています。

【安心】

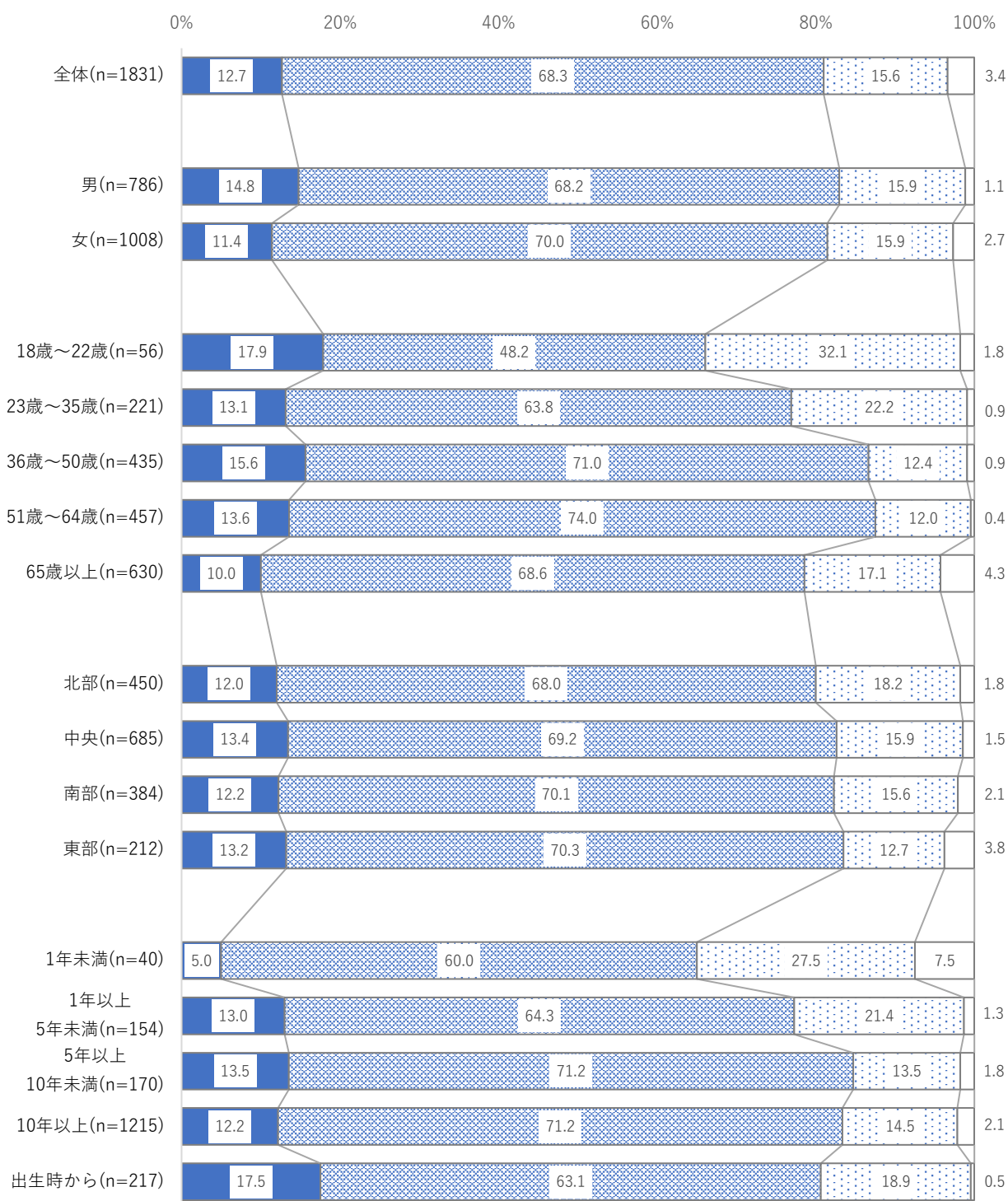
➤ 安心して暮らせるまちづくりの推進



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は31.2%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は15.6%となっています。

また、「どちらともいえない」が50.1%と過半数を超える結果となっています。

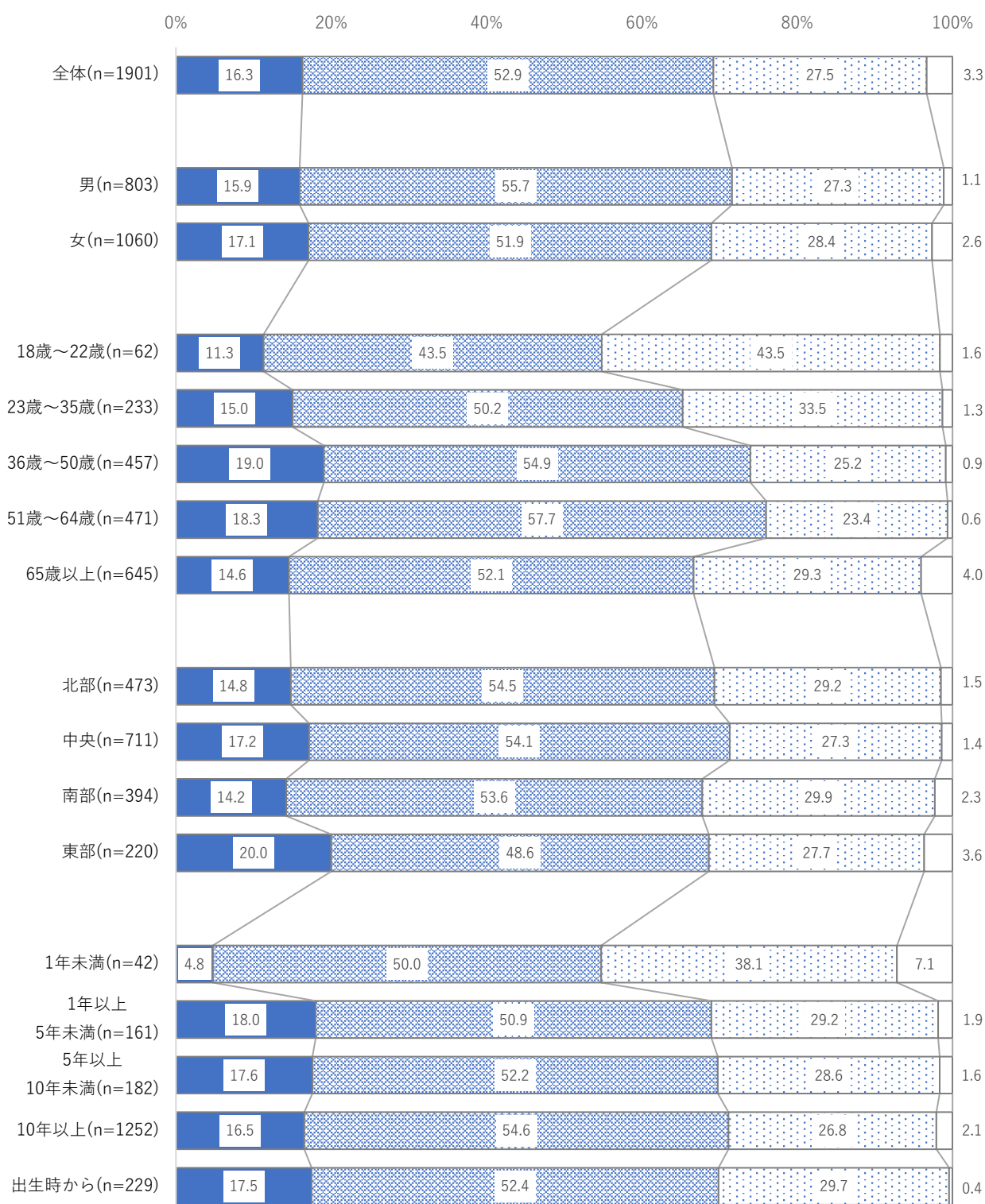
➤ 消費者トラブルに対する支援体制の充実



「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は15.6%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は12.7%となっています。

また、「どちらともいえない」が68.3%と過半数を大きく超える結果となっています。

➤ 健康危機へ対応する体制の充実



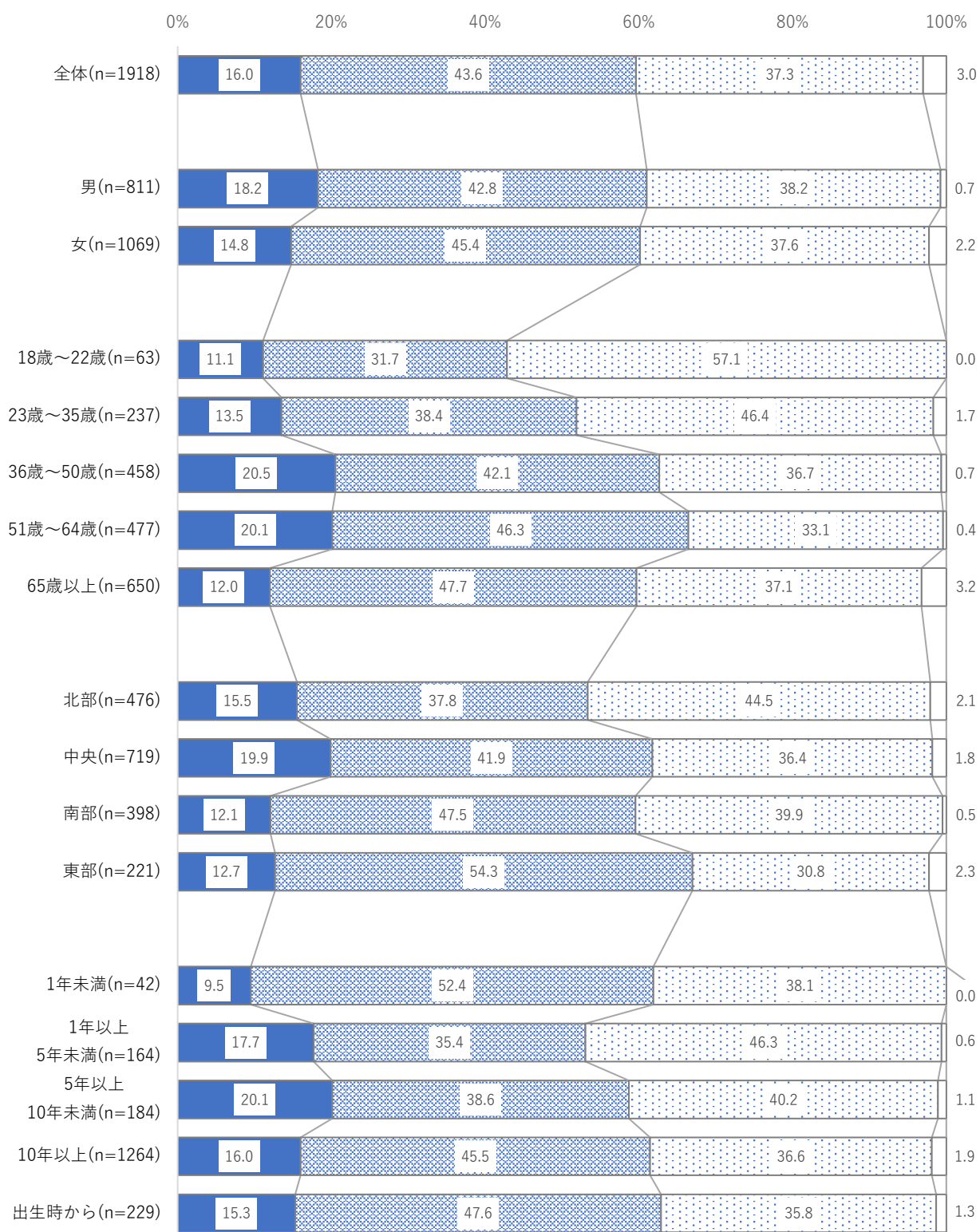
「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は27.5%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は16.3%となっています。

また、「どちらともいえない」が52.9%と過半数を超える結果となっています。

Q24. 柏市の取組全体の満足度を教えてください。

■ 不満・どちらかといえば不満 ▨ どちらともいえない □ どちらかといえば満足・満足 □ 未回答・不明

※調査票では5区分で回答しているが、グラフでは3区分に加工集計しています。



【全体】

「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は37.3%、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は16.0%となっています。

【性別】

性別で見ると、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は、男性では38.2%であり、女性では37.6%となっています。

また、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた“不満”の割合は、男性では18.2%であり、女性では14.8%となっています。

【年齢】

性別で見ると、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合が最も高いのは18歳～22歳の57.1%であり、最も低いのは51歳～64歳の33.1%でした。

【地域】

地域別で見ると、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合の高い順に、北部44.5%、南部39.9%、中央36.4%、東部30.8%となっています。

【居住年数】

居住年数別で見ると、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合が最も高いのは1年以上5年未満の46.3%であり、最も低いのは出生時からの35.8%でした。

3章 詳細分析

本章では、「CS 分析」、「カイニ乗検定」、「クラメールの連関係数」、「残差分析」、「mGAP 指標」の5手法を用いて、調査結果を詳細に分析します。

1. CS分析

CSとは、「Customer Satisfaction」の略で「顧客満足度」を意味します。
CS分析では、各項目の満足率から「満足度」を、各項目と取組全体の評価との相関係数から「重要度」を算定し、顧客満足を向上させるために、どの要素の改善に力を入れるべきかを探ることができます。

< 各指標と計算方法 >

満足率 Q23 の各設問に対して

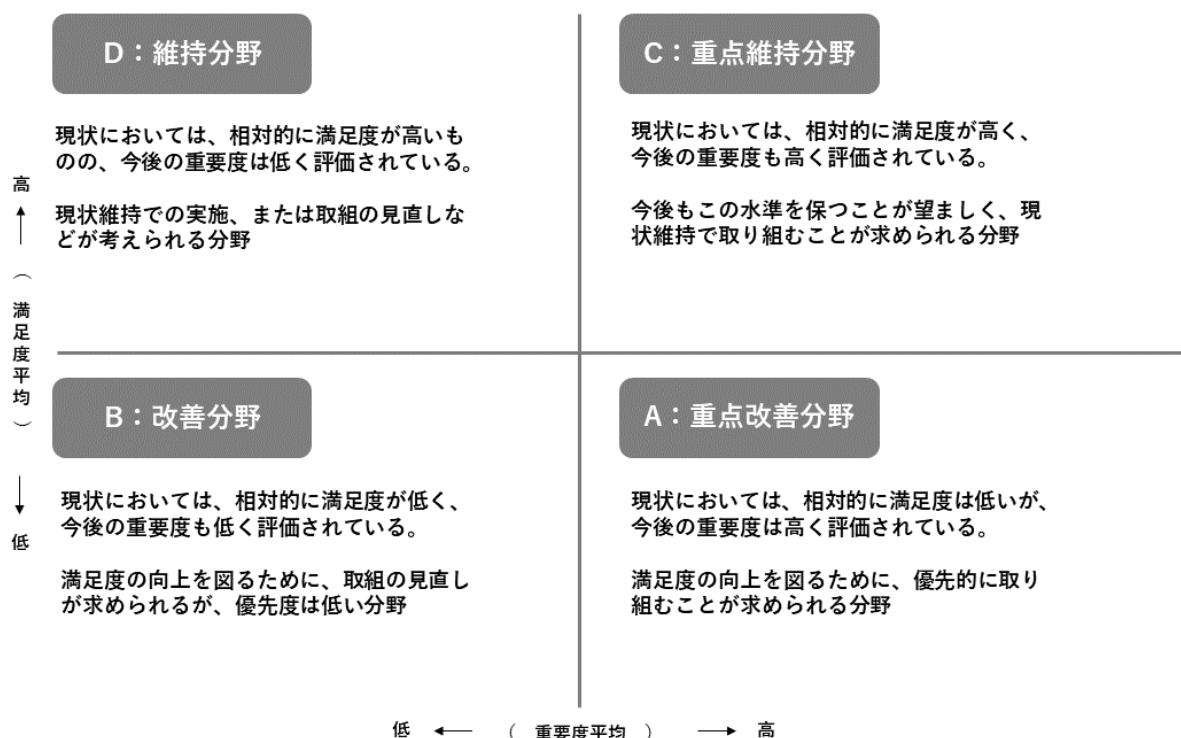
(満足の回答数 + どちらかといえば満足の回答数) ÷ 総回答数

重要率 Q23 の各設問と Q24 との相関係数

満足度 満足率を偏差値に変換したもの

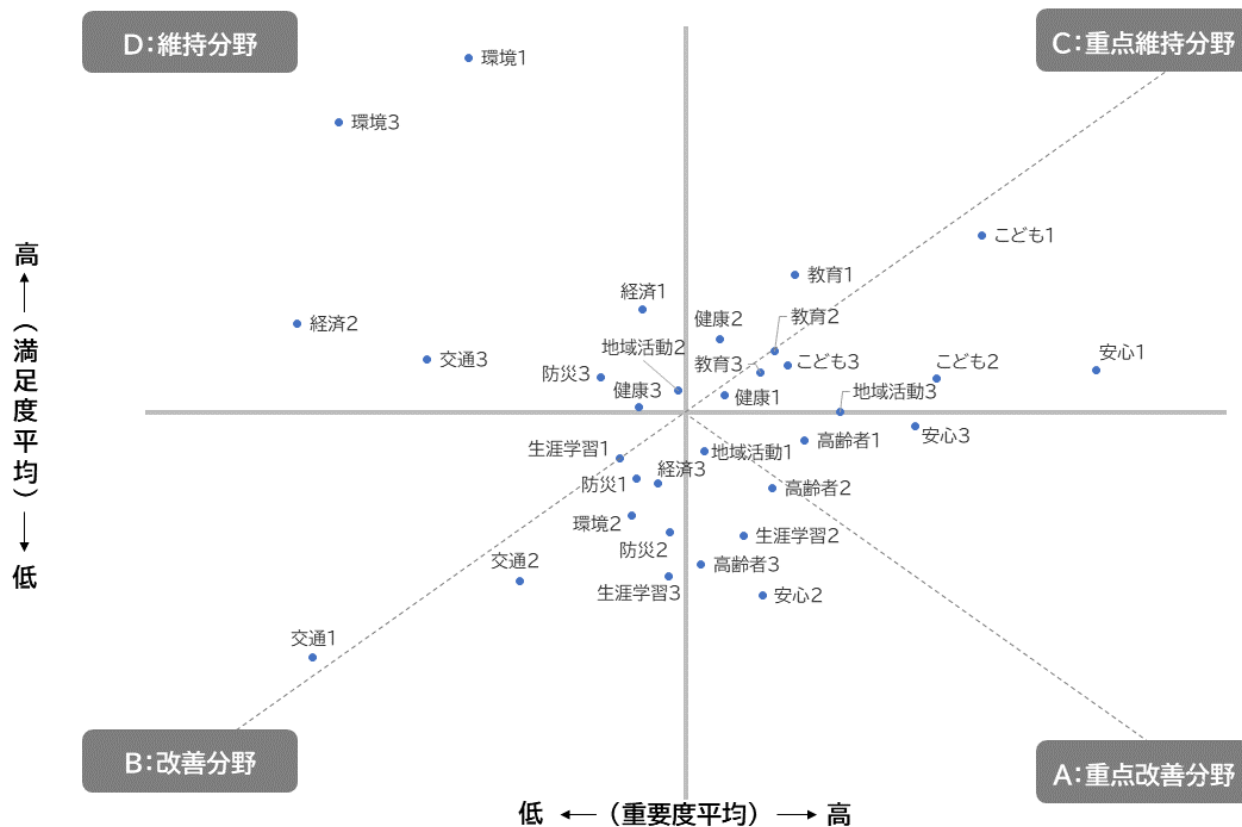
重要度 重要率を偏差値に変換したもの

< グラフの見方 >



CS分析の結果

CS分析では、重点改善分野は『高齢者』『安心』、改善分野は『交通』『防災』『生涯学習』、重点維持分野は『こども』『教育』『健康』、維持分野は『経済』『環境』となりました。



(各項目の設問詳細)

こども1	こどもたちが心身ともに健やかに育つ環境の整備	生涯学習1	文化芸術・スポーツに参加しやすい環境の整備
こども2	社会全体でこどもを育む環境の整備	生涯学習2	自ら学ぶことのできる環境の整備
こども3	妊娠から子育てまでの相談・支援体制の充実	生涯学習3	自らの学びを活かす場の創出
教育1	児童生徒にとって、安心して学習できる環境の整備	環境1	緑や自然を身近に感じられる環境の充実
教育2	児童生徒が自ら学び続けることのできる教育の実施	環境2	省エネ・創エネ等への取り組み・啓発の実施
教育3	地域をはじめとする、こどもたちの学びを支える環境の整備	環境3	身近に利用できる公園の充実
健康1	誰に対しても健康づくりのきっかけとなる取り組みの実施	交通1	交通渋滞の解消に向けた取り組み
健康2	医療・介護サービスがいつでも利用しやすい環境の整備	交通2	段差の解消など歩きやすい環境の整備
健康3	フレイル予防・介護予防の取り組みの実施	交通3	出かけやすい鉄道・バスなどの市内交通網の整備
高齢者1	高齢者がいきいきと過ごすための環境の整備	防災1	避難施設の充実や防災備蓄など自然災害への備え
高齢者2	病気や障がいを抱える人への支援体制の充実	防災2	災害発生に備えた、自助・共助による防災力向上への支援
高齢者3	地域共生社会の実現	防災3	迅速で的確な消防・救急体制の充実
経済1	柏駅周辺における賑わいや新たな魅力の創出	安心1	安心して暮らせるまちづくりの推進
経済2	市内農産物の魅力の発信	安心2	消費者トラブルに対する支援体制の充実
経済3	地域ごとの個性や魅力を活かした取り組みの実施	安心3	健康危機へ対応する体制の充実
地域活動1	地域コミュニティの活発さ・自主性		
地域活動2	地域イベントの実施		
地域活動3	地域や柏市に対する愛着の促進		

< 項目別の満足度及び重要度 >

各項目の満足度及び重要度の数値は以下の表のとおりです。

項目名	満足度	重要度	項目名	満足度	重要度
こども 1	63.8	66.4	生涯学習 1	46.5	46.3
こども 2	52.7	63.9	生涯学習 2	40.5	53.2
こども 3	53.7	55.6	生涯学習 3	37.3	49.1
教育 1	60.8	56.1	環境 1	77.6	37.9
教育 2	54.8	55.0	環境 2	42.0	47.0
教育 3	53.2	54.1	環境 3	72.5	30.8
健康 1	51.3	52.1	交通 1	31.0	29.3
健康 2	55.7	51.9	交通 2	36.9	40.8
健康 3	50.5	47.4	交通 3	54.1	35.6
高齢者 1	47.9	56.6	防災 1	44.9	47.3
高齢者 2	44.2	54.8	防災 2	40.7	49.1
高齢者 3	38.2	50.8	防災 3	52.7	45.3
経済 1	58.0	47.6	安心 1	53.3	72.8
経済 2	56.9	28.5	安心 2	35.8	54.2
経済 3	44.5	48.4	安心 3	49.0	62.8
地域活動 1	47.1	51.0			
地域活動 2	51.8	49.6			
地域活動 3	50.1	58.6			

※満足度及び重要度は偏差値に換算して表示している。

< 改善度 >

重点改善分野における各項目のうち、改善すべき項目をより明確に判定するために、各項目のプロット位置から、改善すべき優先順位に応じて得点化を行いました。

順位	項目名	項目内容	改善度
1	安心 2	消費者トラブルに対する支援体制の充実	10.14
2	生涯学習 2	自ら学ぶことのできる環境の整備	7.08
3	安心 3	健康危機へ対応する体制の充実	7.06
3	高齢者 2	病気や障がいを抱える人への支援体制の充実	7.06
5	高齢者 3	地域共生社会の実現	6.44
6	高齢者 1	高齢者がいきいきと過ごすための環境の整備	4.82
7	地域活動 1	地域コミュニティの活発さ・自主性	2.20

2. カイ二乗検定

カイ二乗検定 (Chi-Square Test) は、カテゴリーデータを分析する際に広く用いられる統計的手法です。この検定は、観測されたデータと理論的に期待されるデータとの間に有意な差があるかを評価するために使用されます。

本調査では、統計的な有意性を評価するために、得られた「カイ二乗値」を基に p 値 (有意確率) を算出し、同値が 0.05 未満の場合、有意差があると判断しています。

なお、カイ二乗検定は単数回答の設問にしか使用できないため、複数回答の設問においてはカイ二乗検定を行っていません。

< 期待度数の計算方法 >

例えば 2×2 のクロス表の場合、下記の網掛け部分のようになります。

(観測度数)				(期待度数)			
	選択肢 1	選択肢 2	合計		選択肢 1	選択肢 2	合計
選択肢 1	a	b	a+b		$(a+b) \times (a+c) \div n$	$(a+b) \times (b+d) \div n$	a+b
選択肢 2	c	d	c+d		$(c+d) \times (a+c) \div n$	$(c+d) \times (b+d) \div n$	c+d
合計	a+c	b+d	a+b+c+d=n		a+c	b+d	a+b+c+d=n

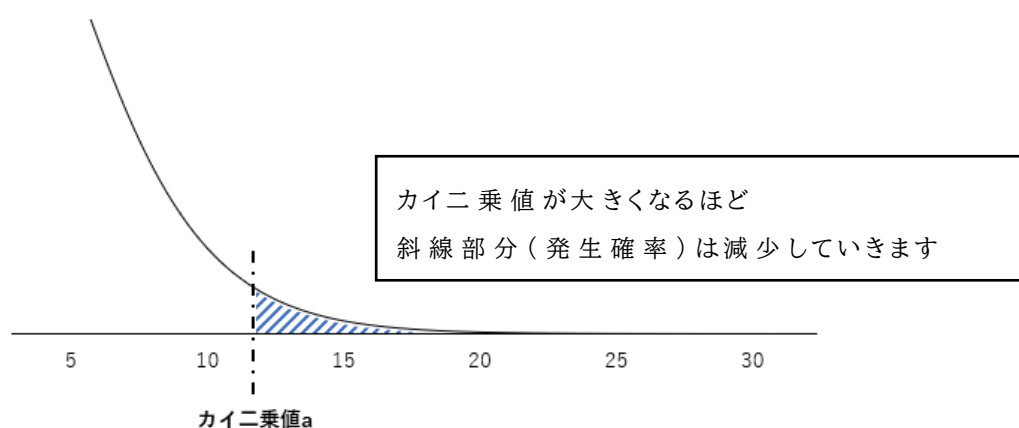
< カイ二乗値の計算方法 >

$$\chi^2 = \sum (\text{観測度数} - \text{期待度数})^2 \div \text{期待度数}$$

< カイ二乗分布による有意確率の計算方法 >

算出されたカイ二乗値を基に対応するカイ二乗分布に当てはめることで、当該事象の有意確率 (p 値) を計算することができます。

(例：自由度 5 のカイ二乗分布)



カイ二乗検定の結果

本調査では、標本抽出過程において地域別の層化抽出を行っています。そのため、各設問と地域カテゴリーの間の有意差について調べることを目的として、カイ二乗検定を行いました。

< 各設問と検定結果 >

設問番号	自由度	p 値	有意差
1	9	0.2328	なし
2	9	0.4056	なし
3	12	2.07×10^{-10}	あり
4	12	0.0011	あり
8	3	0.0534	なし
11	12	0.5301	なし
12	4	0.8405	なし
14	12	0.4913	なし
16	9	0.2211	なし
17	—	—	—
18	12	0.1322	なし
19	6	0.0654	なし

設問番号	自由度	p 値	有意差
子ども 1	12	0.0088	あり
子ども 2	12	0.1213	なし
子ども 3	12	0.0333	あり
教育 1	12	0.2383	なし
教育 2	12	0.2961	なし
教育 3	12	0.3410	なし
健康 1	12	0.1498	なし
健康 2	12	0.2868	なし
健康 3	12	0.2381	なし
高齢者 1	12	0.3804	なし
高齢者 2	12	0.0276	あり
高齢者 3	12	0.0130	あり
経済 1	12	0.1089	なし
経済 2	12	0.1194	なし
経済 3	12	0.5172	なし
地域活動 1	12	0.0895	なし
地域活動 2	12	0.0112	あり
地域活動 3	12	0.3643	なし

設問番号	自由度	p 値	有意差
生涯学習 1	12	0.2172	なし
生涯学習 2	12	0.1130	なし
生涯学習 3	12	0.1138	なし
環境 1	12	5.87×10^{-10}	あり
環境 2	12	2.46×10^{-5}	あり
環境 3	12	6.74×10^{-14}	あり
交通 1	12	0.0127	あり
交通 2	12	0.0122	あり
交通 3	12	2.99×10^{-5}	あり
防災 1	12	0.1081	なし
防災 2	12	0.0858	なし
防災 3	12	0.5391	なし
安心 1	12	0.2188	なし
安心 2	12	0.9188	なし
安心 3	12	0.6210	なし
24	12	0.0002	あり

※自由度 … r 行 × c 列クロス表において $(r-1) \times (c-1)$ で計算され、使用するカイ二乗分布が決定されます。

※設問番号 17 については、期待度数 5 以下が多数存在し、カイ二乗検定の実施に適さないことから、検定は実施していません。

3. クラメールの連関係数

カイ二乗検定などの有意差検定では、サンプルサイズ（抽出した標本データの個数）が大きいほど、わずかな差や関連がある程度でも「統計的に有意である」と示されやすい特徴があります。

そのため、差や関連の大きさについて「効果量」と呼ばれる、サンプルサイズによらない指標を用いた確認を行います。

クラメールの連関係数とは、2つのカテゴリーの関連の強さはどの程度かを調べるための指標です。係数は0から1の間の値をとり、0に近いほど2つのカテゴリーの関連が低く、1に近いほど2つのカテゴリーの関連が高いことを示します。

本分析では、以下の表を基準として分析結果を解釈します。

< 関連性の強さの目安 >

連関係数	関連の強さ
0.5 以上 ~ 1.0 以下	強い関連がある
0.25 以上 ~ 0.5 未満	関連がある
0.1 以上 ~ 0.25 未満	弱い関連がある
0.1 未満	非常に弱い関連がある
0	関連がない

< 連関係数の計算方法 >

r 行 × c 列のクロス集計におけるクラメールの連関係数は以下の計算によって求めることができます。

$$V = \sqrt{\frac{\chi^2}{n \times \min\{(r-1), (c-1)\}}}$$

V: クラメールの連関係数

n: サンプルサイズ

クラメールの連関係数の結果

カイ二乗検定により地域と各設問の間に有意な関連があったとされる設問に対して、クラメールの連関係数を算出し、関連性の強さを検証しました。

設問番号	内容	連関係数	関係の強さ
3	あなたの「お住まいの地域」は、人が集まるイベントや活動が盛んだと思いますか	0.11	弱い
4	「柏市」は、人が集まるイベントや活動が盛んだと思いますか	0.08	非常に弱い
こども1	こどもたちが心身ともに健やかに育つ環境の整備	0.09	非常に弱い
こども3	妊娠から子育てまでの相談・支援体制の充実	0.09	非常に弱い
高齢者2	病気や障がいを抱える人への支援体制の充実	0.08	非常に弱い
高齢者3	地域共生社会の実現	0.08	非常に弱い
地域活動2	地域イベントの実施	0.07	非常に弱い
環境1	緑や自然を身近に感じられる環境の充実	0.11	弱い
環境2	省エネ・創エネ等への取り組み・啓発の実施	0.09	非常に弱い
環境3	身近に利用できる公園の充実	0.13	弱い
交通1	交通渋滞の解消に向けた取り組み	0.07	非常に弱い
交通2	段差の解消など歩きやすい環境の整備	0.07	非常に弱い
交通3	出かけやすい鉄道・バスなどの市内交通網の整備	0.09	非常に弱い
24	柏市の取組全体の満足度を教えてください	0.08	非常に弱い

	弱い	非常に弱い	合計
件数	3	11	14
割合(%)	21.4	78.6	100

カイ二乗検定において「有意差あり」とされた14個の設問のうち、非常に弱い関係がみられた設問が11個、弱い関係がみられた設問が3個となっています。

4. 残差分析

カイ二乗検定によって2つのカテゴリーに関連があるかどうかを調べることができますが、あくまで関連の「有無」を調べる手法であるため、クロス表のどのセルの値が高い・低いと言えるのかまでは分かりません。

そこで、各セルの残差※を確認し、残差が一定以上の値であれば、そのセルの観測度数は大きい(または小さい)と判定します。

なお、分析には、残差を変換した「調整済み標準化残差」を使用します。

※残差…実際に調査によって得られた観測値と観測結果から計算される期待値との差を指します。

< 残差の計算方法 >

(観測度数－期待度数)で算出されます。

< 調整済み標準化残差の計算方法 >

$$\text{調整済み標準化残差} = \frac{\text{観測度数} - \text{期待度数}}{\sqrt{\text{期待度数} \left(1 - \frac{\text{列計}}{n}\right) \left(1 - \frac{\text{行計}}{n}\right)}}$$

< 調整済み標準化残差の確認 >

調整済み標準化残差が、±1.96 以上なら統計的に有意と判断できます。そのため、+1.96 以上であれば観測度数が期待度数よりも有意に多く、-1.96 以下であれば観測度数が期待度数よりも有意に少ないことを意味します。

残差分析の結果

カイ二乗検定により地域と各設問の間に有意な関連があったとされる設問に対して、残差分析を行いました。

なお、分析にあたっては「その他」や「回答不明」を除いています。

Q3 あなたの「お住いの地域」は、人が集まるイベントや活動が盛んだと思いますか。

(調整済み標準化残差)

	とても思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえ ばそう思わない	全く思わない	わからない
北部	++	++	--	--	
中央					
南部				+	
東部	-	--			

++(--): 両側1%有意(分位点 2.58)、+(-): 両側5%有意(分位点 1.96)

北部地域では「とても思う」「どちらかといえばそう思う」が多く、「どちらかといえ
ばそう思わない」「全く思わない」が少ないです。

南部地域では「全く思わない」が多いです。

東部地域では「とても思う」「どちらかといえばそう思う」が少ないです。

Q4 「柏市」は、人が集まるイベントや活動が盛んだと思いますか。

(調整済み標準化残差)

	とても思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	全く思わない	わからない
北部	++	++	--	--	
中央					
南部				+	
東部	-	--			

++(--): 両側1%有意(分位点 2.58)、+(-): 両側5%有意(分位点 1.96)

北部地域では「とても思う」「どちらかといえばそう思う」が多く、「どちらかといえ
ばそう思わない」「全く思わない」が少ないです。

南部地域では「全く思わない」が多いです。

東部地域では「とても思う」「どちらかといえばそう思う」が少ないです。

Q23 柏市の取組への満足度について伺います。

こども1 こどもたちが心身ともに健やかに育つ環境の整備 (調整済み標準化残差)

	不満	どちらかといえば 不満	どちらともいえ ない	どちらかといえ ば満足	満足
北部	--				++
中央		+			
南部		-			
東部					

++(--): 両側1%有意(分位点 2.58)、+(-): 両側5%有意(分位点 1.96)

北部地域では「不満」が少なく、「満足」が多いです。

中央では「どちらかといえば不満」が多いです。

南部では「どちらかといえば不満」が少ないです。

こども3 妊娠から子育てまでの相談・支援体制の充実 (調整済み標準化残差)

	不満	どちらかといえば 不満	どちらともいえ ない	どちらかといえ ば満足	満足
北部					++
中央					
南部					--
東部					

++(--): 両側1%有意(分位点 2.58)、+(-): 両側5%有意(分位点 1.96)

北部地域では「満足」が多いです。

南部地域では「満足」が少ないです。

高齢者2 病気や障がいを抱える人への支援体制の充実

(調整済み標準化残差)

	不満	どちらかといえば 不満	どちらともいえない	どちらかといえば 満足	満足
北部					
中央				-	
南部					
東部	+		--		

++(--): 両側1%有意(分位点 2.58)、+(-): 両側5%有意(分位点 1.96)

中央地域では「どちらかといえば満足」が少ないです。

東部地域では「不満」が多く、「どちらともいえない」が少ないです。

高齢者3 地域共生社会の実現

(調整済み標準化残差)

	不満	どちらかといえば 不満	どちらともいえない	どちらかといえば 満足	満足
北部				++	
中央		+		-	
南部					
東部	+				

++(--): 両側1%有意(分位点 2.58)、+(-): 両側5%有意(分位点 1.96)

北部地域では「どちらかといえば満足」が多いです。

中央地域では「どちらかといえば不満」が多く、「どちらかといえば満足」が少ないです。

東部地域では「不満」が多いです。

地域活動2 地域イベントの実施

(調整済み標準化残差)

	不満	どちらかといえば 不満	どちらともいえない	どちらかといえば 満足	満足
北部			--	++	+
中央				-	
南部					
東部					

++(--): 両側1%有意(分位点 2.58)、+(-): 両側5%有意(分位点 1.96)

北部地域では「どちらかといえば満足」「満足」が多く、「どちらともいえない」が少ないです。

中央地域では「どちらかといえば満足」が少ないです。

環境1 緑や自然を身近に感じられる環境の充実

(調整済み標準化残差)

	不満	どちらかといえば 不満	どちらともいえない	どちらかといえば 満足	満足
北部	--	--	--	++	++
中央	+	++			--
南部					-
東部			+		

++(--): 両側1%有意(分位点 2.58)、+(-): 両側5%有意(分位点 1.96)

北部地域では「どちらかといえば満足」「満足」が多く、「不満」～「どちらともいえない」が少ないです。

中央地域では「不満」「どちらかといえば不満」が多く、「満足」が少ない。

南部地域では「満足」が少ないです。

東部では「どちらともいえない」が多いです。

環境2 省エネ・創エネ等への取り組み・啓発の実施

(調整済み標準化残差)

	不満	どちらかといえば 不満	どちらともいえない	どちらかといえば 満足	満足
北部	--			++	+
中央	+				
南部					-
東部					

++(--): 両側1%有意(分位点 2.58)、+(-): 両側5%有意(分位点 1.96)

北部地域では「どちらかといえば満足」「満足」が多く、「不満」が少ない。

中央地域では「不満」が多いです。

南部地域では「満足」が少ないです。

環境3 身近に利用できる公園の充実

(調整済み標準化残差)

	不満	どちらかといえば 不満	どちらともいえない	どちらかといえば 満足	満足
北部	--	--	--	++	++
中央		++			--
南部			+	-	
東部					

++(--): 両側1%有意(分位点 2.58)、+(-): 両側5%有意(分位点 1.96)

北部地域では「どちらかといえば満足」「満足」が多く、「不満」～「どちらともいえない」が少ないです。

中央地域では「どちらかといえば不満」が多く、「満足」が少ないです。

南部地域では「どちらともいえない」が多く、「どちらかといえば満足」が少ないです。

交通1 交通渋滞の解消に向けた取り組み

(調整済み標準化残差)

	不満	どちらかといえば 不満	どちらともいえない	どちらかといえば 満足	満足
北部					
中央				-	
南部	-			+	
東部	+		-		

++(--): 両側1%有意(分位点 2.58)、+(-): 両側5%有意(分位点 1.96)

中央地域では「どちらかといえば満足」が少ないです。

南部地域では「どちらかといえば満足」が多く、不満が少ないです。

東部地域では「不満」が多く、「どちらともいえない」が少ないです。

交通2 段差の解消など歩きやすい環境の整備

(調整済み標準化残差)

	不満	どちらかといえば 不満	どちらともいえない	どちらかといえば 満足	満足
北部		-		++	
中央		++	-	-	
南部					
東部					

++(--): 両側1%有意(分位点 2.58)、+(-): 両側5%有意(分位点 1.96)

北部地域では「どちらかといえば満足」が多く、「どちらかといえば不満」が少ないです。

中央地域では「どちらかといえば不満」が多く、「どちらともいえない」「どちらかといえば満足」が少ないです。

交通3 出かけやすい鉄道・バスなどの市内交通網の整備

(調整済み標準化残差)

	不満	どちらかといえば 不満	どちらともいえない	どちらかといえば 満足	満足
北部					
中央	--				
南部				++	
東部	++			-	--

++(--): 両側1%有意(分位点 2.58)、+(-): 両側5%有意(分位点 1.96)

中央地域では「不満」が少ないです。

南部地域では「どちらかといえば満足」が多いです。

東部地域では「不満」が多く、「どちらかといえば満足」「満足」が少ないです。

Q24 柏市の取組全体の満足度を教えてください。

(調整済み標準化残差)

	不満	どちらかといえば 不満	どちらともいえない	どちらかといえば 満足	満足
北部			--	++	
中央	+	++			
南部		-			
東部			++	-	

++(--): 両側1%有意(分位点 2.58)、+(-): 両側5%有意(分位点 1.96)

北部地域では「どちらかといえば満足」が多く、「どちらともいえない」が少ないです。

中央地域では「不満」「どちらかといえば不満」が多いです。

南部地域では「どちらかといえば不満」が少ないです。

東部地域では「どちらともいえない」が多く、「どちらかといえば満足」が少ないです。

5. mGAP 指標(修正地域参画総量)

地域に関わるという行動は、何らかの“意欲”が前提にあるという考えから、まちへの推奨・参加・感謝といった関与意欲を定量化するための成果指標です。

定量化にあたっては、企業やブランドに対する愛着・信頼の度合いを数値化して測る指標「NPS(ネットプロモータースコア)」の考え方に基づいて各意欲量を算出します。

< 関与意欲を聞く設問 >

Q 2 0 . 知人や友人に柏市での居住をどれくらい勧めたいですか。【推奨意欲】

Q 2 1 . 柏市をより良くするための活動への参加や行動しようとする気持ちは、どの程度ですか。【参加意欲】

Q 2 2 . 柏市をより良くしようと活動している人に感謝の気持ちを表すと、どの程度ですか。【感謝意欲】

< NPS の計算方法 >

各設問に対して 0 点 ~ 10 点の 11 段階で評価をしてもらい、評価点数に応じて回答者を「推奨者」「中立者」「批判者」の 3 つのグループに分類します。

回答者全体に占める推奨者の割合(%)から、批判者の割合(%)を引くことで NPS の値を算出します。



< スコアの読み取り方 >

算出された NPS の絶対評価にあまり意味はなく、時系列比較や同業種間における比較などの相対評価によって、現状を把握することが主な目的となります。

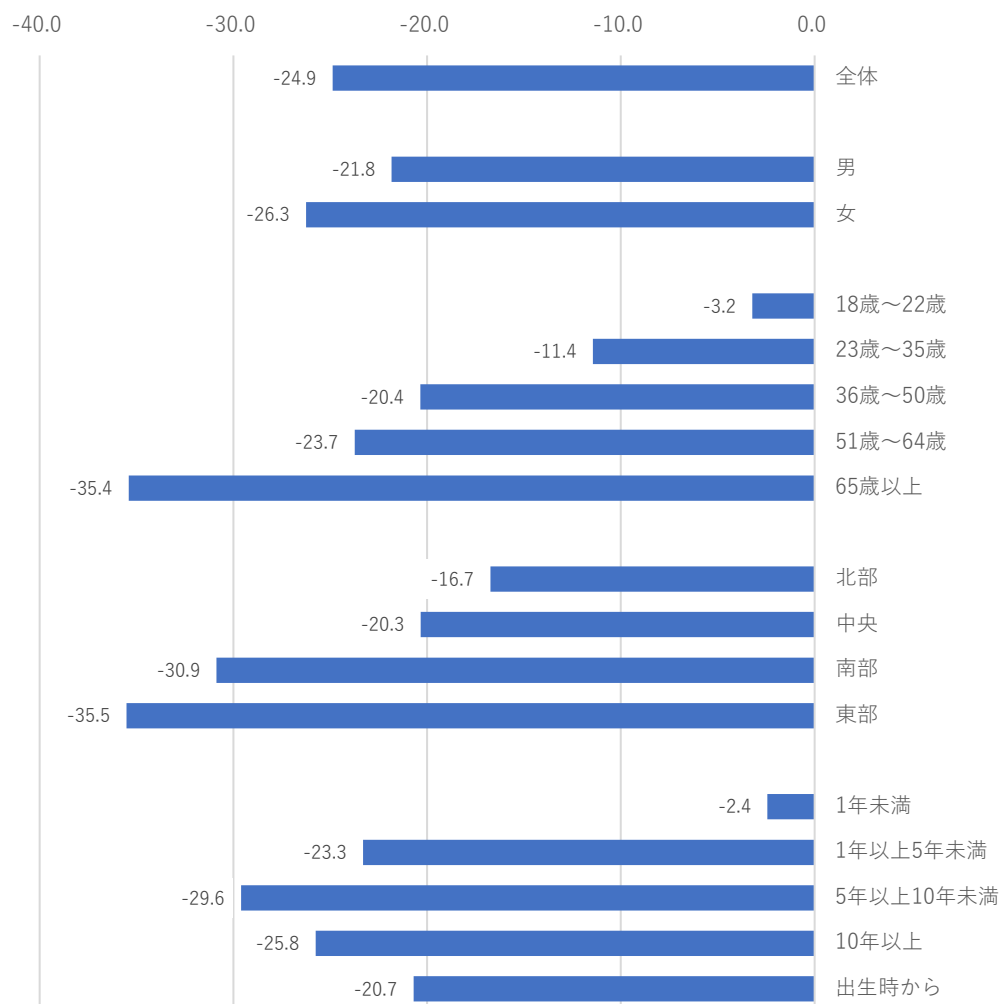
《参考文献》

河井孝仁「シティプロモーション評価指標の提案－修正地域参画総量指標の活用手法－」『東海大学紀要文学部』第108輯・2017年

mGAP 指標の結果

【推奨意欲】

Q20 知人や友人に柏市での居住をどれくらい勧めたいですか。



全体の NPS は－24.9 であり、性別で見ると女性がやや低くなっています。

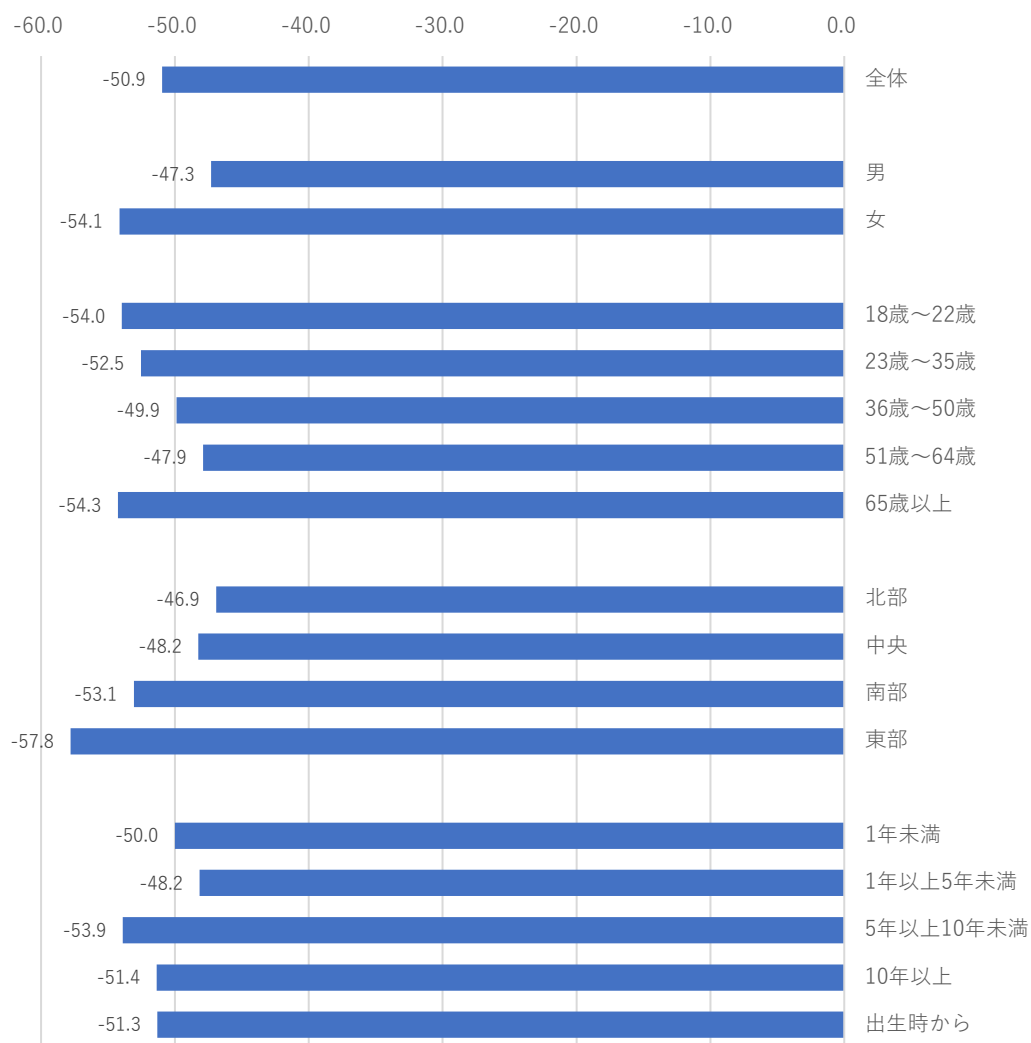
年齢別で見ると18歳～22歳がもっとも高く、年齢が上がるにつれて低くなっています。

地域別では北部・中央・南部・東部の順に NPS が高い結果となりました。

居住年数別では、1年未満がもっとも高く、5年以上10年未満が最も低い結果となっています。

【参加意欲】

Q21 柏市をより良くするための活動への参加や行動しようとする気持ちは、どの程度ですか。



全体のNPSは－50.9であり、性別でみると女性がやや低くなっています。

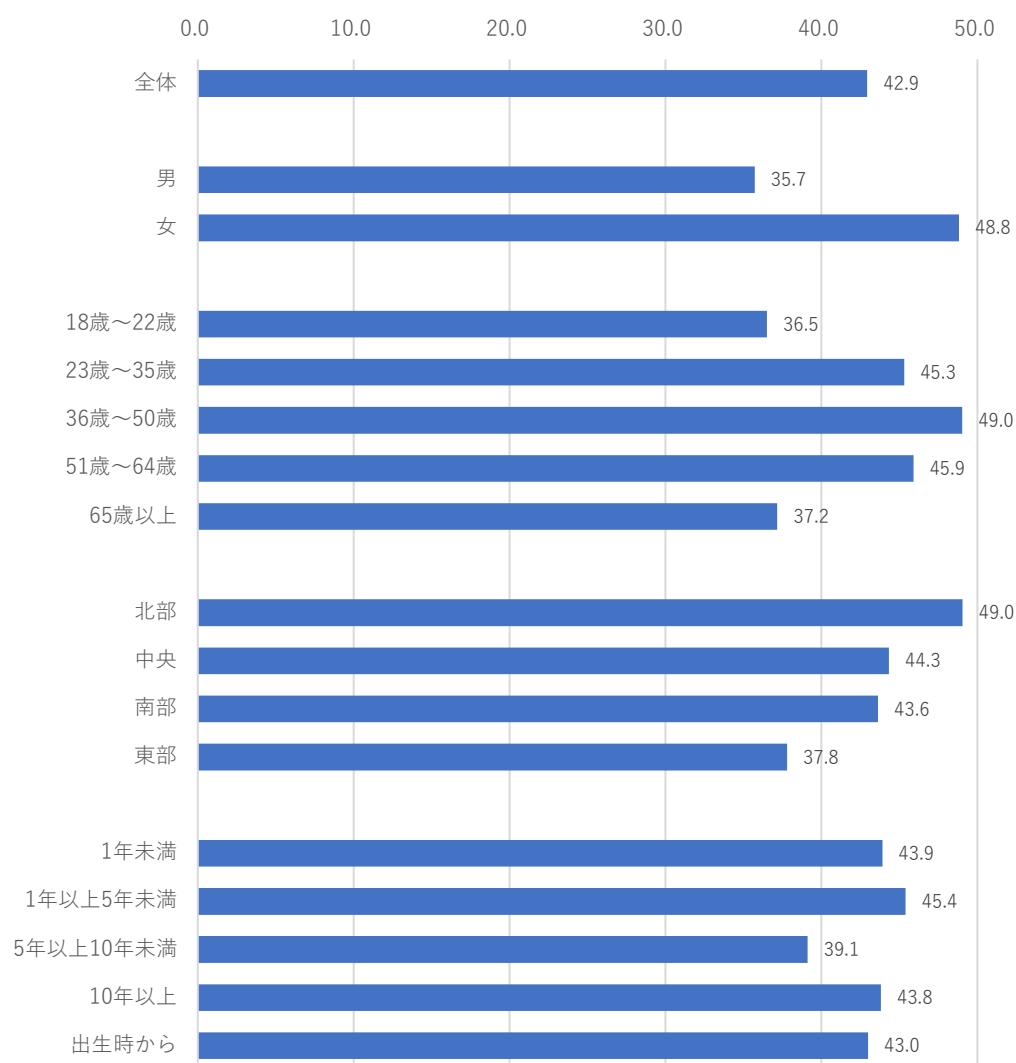
年齢別でみると51歳～64歳が最も高く、65歳以上が最も低い結果となっています。

地域別では北部・中央・南部・東部の順にNPSが高い結果となりました。

居住年数別では、1年以上5年未満が最も高く、5年以上10年未満が最も低い結果となっています。

【感謝意欲】

Q22 柏市をより良くしようと活動している人に感謝の気持ちを表すと、どの程度ですか。



全体の NPS は 42.9 であり、性別でみると女性の方が高くなっています。

年齢別でみると36歳～50歳が最も高く、18歳～22歳が最も低い結果となっています。

地域別では北部・中央・南部・東部の順に NPS が高い結果となりました。

居住年数別では、1年以上5年未満が最も高く、5年以上10年未満が最も低い結果となっています。

4章 自由記入回答

本章では、調査票の自由記入欄に回答いただいた内容について、「形態素解析」、「共起ネットワーク」、「対応分析」の3手法を用いて、分析します。

1. 自由記入欄の概要

回答状況

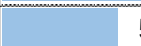
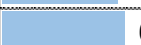
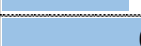
配布数	回収数	うち 無効票	有効回収数 (a)	自由記入 回答数 (b)	有効回収数に 占める回答率(%) (b / a)
3,000	1,922	4	1,918	700	36.5

回答者の特徴（性別）

	自由記入回答の有無		合計
	記述なし	記述あり	
男性	 67.6 (548)	 32.4 (263)	100(811)
女性	 61.0 (652)	 39.0 (417)	100(1,069)
不明・その他	 47.4 (18)	 52.6 (20)	100(38)

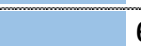
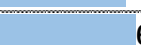
・数字は%、カッコ内は人数、n=1918、無回答は除く

回答者の特徴（年齢層別）

	自由記入回答の有無		合計
	記述なし	記述あり	
18-22歳	 73.0 (46)	 27.0 (17)	100(63)
23-35歳	 57.0 (135)	 43.0 (102)	100(237)
36-50歳	 60.0 (275)	 40.0 (183)	100(458)
51-64歳	 62.7 (299)	 37.3 (178)	100(477)
65歳以上	 68.8 (447)	 31.2 (203)	100(650)
不明	 48.5 (16)	 51.5 (17)	100(33)

・数字は%、カッコ内は人数、n=1918、無回答は除く

回答者の特徴（地域別）

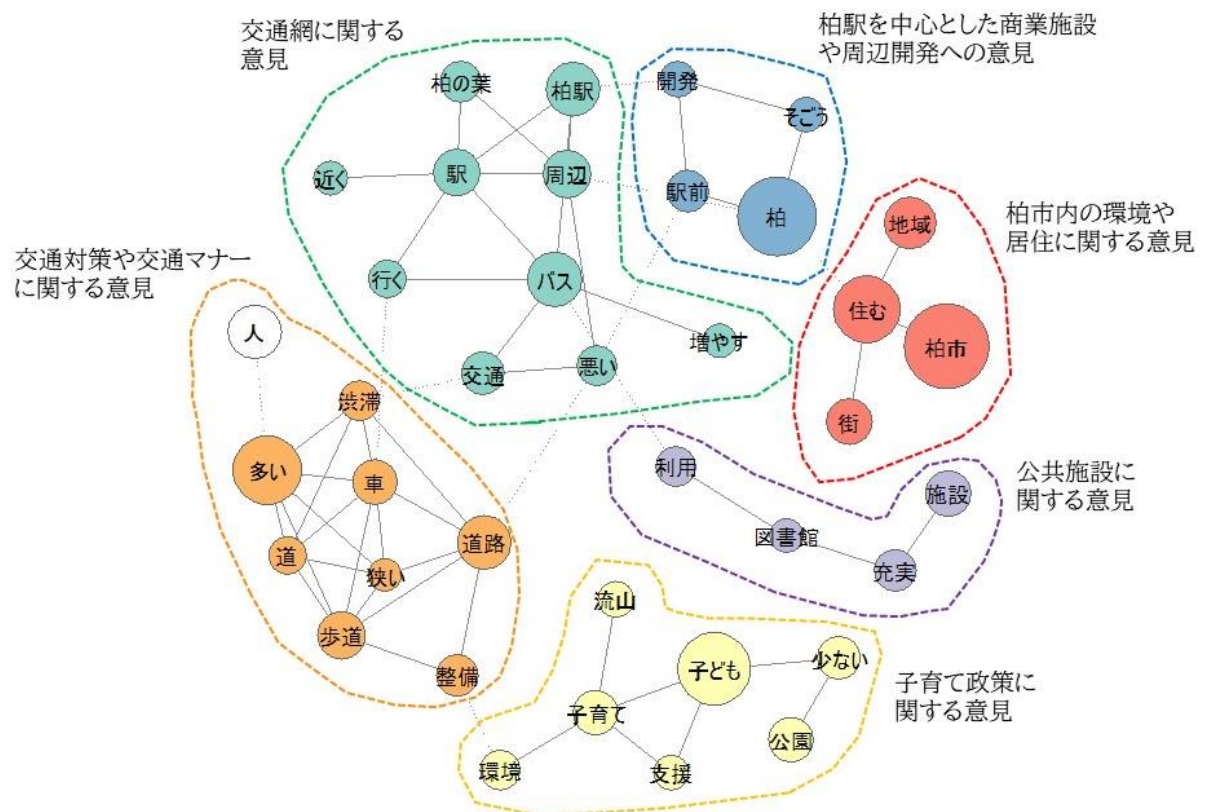
	自由記入回答の有無		合計
	記述なし	記述あり	
北部	 62.0 (295)	 38.0 (181)	100(476)
中央	 61.9 (445)	 38.1 (274)	100(719)
南部	 67.1 (267)	 32.9 (131)	100(398)
東部	 65.6 (145)	 34.4 (76)	100(221)
不明	 63.5 (66)	 36.5 (38)	100(104)

・数字は%、カッコ内は人数、n=1918、無回答は除く

2. 自由記入回答の分析

2.1 共起ネットワークによる要約

共起ネットワークとは、文章内において出現頻度の高い語のうち、よく一緒に使われている語を程度の強さで判断し、線で結んだ図のことをいいます。



2.2 頻出ワード上位30

自由記入回答の特徴を把握するため、実際に回答の中で使われている単語を、形態素解析(*)の手法を用いて分析し、よく使用された単語を頻出ワードとして上位30を表にまとめました。31位以降のワードは頻出回数が少なく、内容が拡散することから、掲出するのは上位30位までにとどめています。

なお、回数の数え方については、当該単語が出現したことをもって1回と数えているため、同一回答者の発言の中で繰り返し使用されている単語があった場合、複数回として数えられていることに留意する必要があります。

* …文章を言語上で意味を持つ最小単位に分けることで、それぞれの品詞や変化などを判別すること。

順位	頻出ワード	出現回数	順位	頻出ワード	出現回数
1	柏市	296	17	お願い	86
2	柏	255		街	86
3	子ども	214	19	公園	83
4	多い	196	20	高齢	82
5	住む	181	21	子育て	81
6	バス	121		車	81
7	人	120	23	交通	77
8	道路	118	24	少ない	75
9	柏駅	117	25	充実	72
10	地域	110		整備	72
11	良い	105	27	駅前	71
12	歩道	93	28	柏の葉	67
13	周辺	92	29	環境	66
14	駅	91	30	渋滞	65
15	施設	88		出来る	65
16	市	87		利用	65

2.3 動詞・形容詞が示している回答の中身

頻出ワード上位 30のうち、動詞及び形容詞に分類される単語は「多い」、「住む」、「良い」、「少ない」、「出来る」となります。

これらの単語がどのような文脈で使用されているか、概要を以下のとおりまとめました。

i) 【多い】

分類	延べ件数及び割合
道路状況・交通マナーに関する意見	81 (41.3%)
市内環境に関する意見	28 (14.3%)
市の行政に関する意見	14 (7.1%)
住民に関する意見	12 (6.1%)
治安に関する意見	8 (4.1%)
イベントに関する意見	8 (4.1%)
駅周辺に関する意見	7 (3.6%)
アンケートに関する意見	4 (2.0%)
広報・情報発信に関する意見	4 (2.0%)
子育てに関する意見	4 (2.0%)
その他	26 (13.3%)

最も多く使われていた内容は「道路状況・交通マナー」に関する意見であり、続いて「市内環境に関する意見」が多いという結果になりました。

【内容例】道路状況・交通マナーに関する意見（原文ママ）

- 柏市の歩道は狭く、段差が多いので歩きやすい歩道に作り変えてほしいです。
- 一車線の道で右折しないといけないところが多く、右折レーンもないため右折待ちによる渋滞の原因となっている。
- 歩道と車道にガードレールがないところが多く歩行者、自動車、小さい子どもが特にあぶない。
- 交通マナーが悪いドライバーが多く、行政にて改善に注力してほしい。
- 柏市の道はベビーカーや車椅子の人には不便な所が多すぎる。
- 特に歩道はガタガタしていたり幅が狭かったりして危ないと感じることが多い。
- 特に16号沿いは自転車も歩道を通るケースが多く、すれ違うのに危ない時があります。
- 年を重ねてからを想像すると車を運転できなくなった時不便そうと思う場面が多いです。
- 歩道の整備を希望する声が本当に周りでも多いです。

ii)【住む】

分類	延べ件数及び割合
居住状況に関する感想	122 (67.4%)
居住状況に関する改善や要望	35 (19.3%)
その他	24 (13.3%)

最も多く使われていた内容は、回答者自身の「居住状況に関する感想」であり、続いて「居住状況に関する改善や要望」が多いという結果になりました。

なお、居住状況に関する感想を肯定的な意見と否定的な意見に分類した結果は以下のとおりとなります。

分類	延べ件数及び割合
肯定的な感想	39 (32.0%)
否定的な感想	67 (54.9%)
その他	16 (13.1%)

【内容例】住居状況に関する感想（原文ママ）

- 柏市は、とても明るくて住みやすい町です。
- 柏市に越してきて 3 年ほど経ちますが、利便性がありながらも、自然豊かで、住みやすい街だと思っています。
- なんとなく職場が近いから、便利だからという理由で住み始めましたが、色々なお店や美味しいお店なんかも多く、住めば住むほど魅力を感じられる奥深い街だなと感じます。
- 郊外に行けばたくさん大型店もありますが、車の免許がない方にとって住みづらい街といっても仕方ないです。
- 子どもの頃から柏市に住んでいるが、20 年前位から柏駅前や駅前通り周辺の治安が悪いと思います。
- 柏駅周辺だけ整えても住んでいる所は整わない町。

【内容例】住居状況に関する要望（原文ママ）

- もっと人口が増えることが予想されるのでより住みやすい環境を求めています。
- 児童扶養手当の他にも金銭的支援があると今後も柏市に住み続けられると思います。
- 人口増加も大切ですが、住んでいる住人が便利に、安全に過ごせるような柏になってくれることを期待します。
- 子どもからお年寄りまで、集まれる、集まりやすい、集まりたくなる施設を造り、柏市に住みたい、住み続けたいと思う街づくりを強く希望します。

iii)【良い】

分類	延べ件数及び割合
広報・情報発信に関する意見	11 (10.5%)
まちづくりに関する意見	10 (9.5%)
市の行政に関する意見	10 (9.5%)
市内環境に関する意見	10 (9.5%)
道路状況・交通マナーに関する意見	10 (9.5%)
アンケートに関する意見	8 (7.6%)
住みやすさに関する意見	8 (7.6%)
駅周辺に関する意見	7 (6.7%)
公共施設に関する意見	7 (6.7%)
イベントに関する意見	4 (3.8%)
その他	20 (19.0%)

最も多く使われていた内容は、「広報・情報発信に関する意見」であり、続いて「まちづくりに関する意見」、「市の行政に関する意見」、「市内環境に関する意見」、「道路状況・交通マナーに関する意見」が多いという結果となりました。

【内容例】広報・情報発信に関する意見（原文ママ）

- 「広報かしわ」について月1回全戸配布になり、とても良かったと思います。
- 「広報かしわ」が新しくなって、とても良くなったと思います。
- 「広報かしわ」は現状の柏市の動向がわかり、大変良いと思います。
- 広報かしわは新しくなってから見やすく、必要な情報にたどり着きやすくなり、良かったです。
- 広報誌も以前と比較して格段に良くなった気がします。

iv)【少ない】

分類	延べ件数及び割合
公共施設に関する意見	15 (20.0%)
市内環境に関する意見	13 (17.3%)
道路状況・交通マナーに関する意見	9 (12.0%)
商業施設に関する意見	7 (9.3%)
子育てに関する意見	6 (8.0%)
イベントに関する意見	5 (6.7%)
医療に関する意見	5 (6.7%)
その他	15 (20.0%)

最も多く使われていた内容は、「公共施設に関する意見」であり、続いて「市内環境に関する意見」が多いという結果となりました。

【内容例】公共施設に関する意見（原文ママ）

- 週末に子どもがあそべる公園がとても少ないです。
- 人口規模の割に図書館は古臭く、蔵書が少なく感じます。
- 柏市には博物館や美術館などの文化施設が少ない。
- 文化会館やスポーツ施設が少ないです。
- 近隣センターはどこも駐車場が少なく、きまった近くのセンターにしかつれて行けませんでした。
- 子ども達が遊べる遊具のある公園が少ないので増やしてほしい。

iv)【出来る】

分類	延べ件数及び割合
居住状況に関する感想	24 (36.9%)
居住状況に関する改善や要望	28 (43.1%)
その他	13 (20.0%)

最も多く使われていた内容は、回答者自身の「居住状況に関する改善や要望」であり、続いて「居住状況に関する感想」が多いという結果となりました。

なお、居住状況に関する感想を肯定的な意見と否定的な意見に分類した結果は以下のとおりとなります。

分類	延べ件数及び割合
肯定的な感想	8 (33.3%)
否定的な感想	10 (41.7%)
その他	6 (25.0%)

【内容例】住居状況に関する感想（原文ママ）

- 行政手続きが市役所だけではなく、近くの出張所でも出来るので助かります。
- 皆で住みやすくする為の気配り等知る事ができ、広報作りに携わっている皆様に感謝致します。
- 柏市民、特に自動車運転を出来ない人にとっては駅前スーパーマーケットの閉店は非常に不便。
- 自分の住んでいる所は松戸市に囲まれてる様な所なので、柏市をほとんど感じる事が出来ません。

【内容例】住居状況に関する改善や要望（原文ママ）

- 柏市だけにしか出来ない教育などなんとか考えて頂きたい。
- そごう、そしてこれからはヨーカ堂が無くなる様ですが、食生活が重視出来ます様計画して下さい。
- 小さな子どもが遊べる遊具のある大きな公園や雨でも利用出来る場所を増やしてもらいたい（小規模な公園は点在するが利用されていない）
- 柏に住んでほんとうに良かったと他県の友人にも自慢出来る何がほしいと思います。
- 再開発事業なんて数年もかかってしまうので、出来ることから改善してほしい。
- 交通便の悪さはコミュニティバスなどで解消出来ると思います。

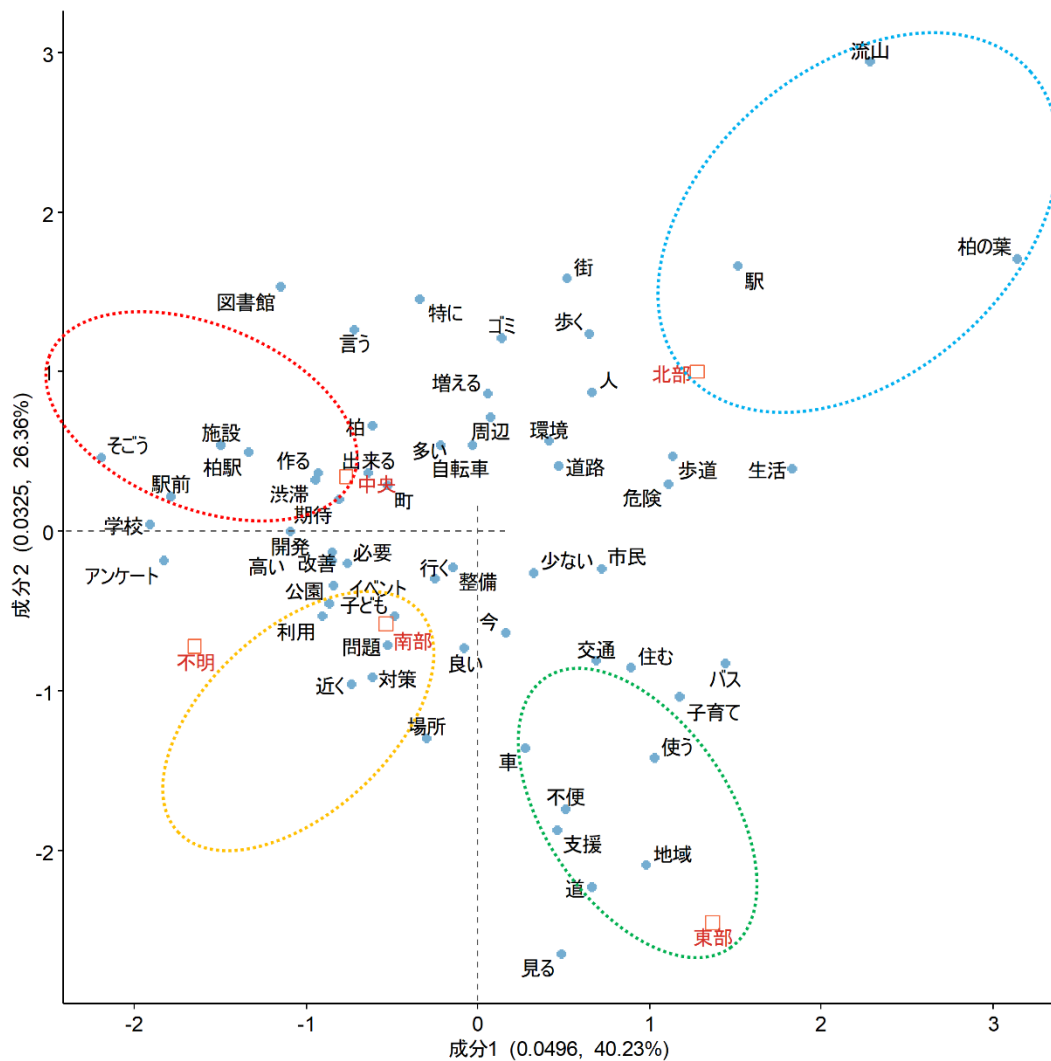
「自由記入欄の内容」と「外部変数」をもとに、外部変数ごとに特徴的な語を調べ、グラフ化したものです。

また、互いに関連の強い項目どうしは、原点からみて同一方向に布置されます。

[illegible]

- 125

ii) 地域による対応分析



- 【北部】の回答には、「流山」、「柏の葉」、「駅」といった語が特徴として多く出現しています。
内容例：子育て支援は流山市の方が手厚いと感じてしまいます。(原文ママ)
- 【中央】の回答には、「そごう」、「駅前」、「施設」といった語が特徴として多く出現しています。
内容例：そごうの跡地がどうなるか気になっています。(原文ママ)
- 【南部】の回答には、「近く」、「対策」、「問題」といった語が特徴として多く出現しています。
内容例：図書館が近くにないです。(原文ママ)
- 【東部】の回答には、「地域」、「道」、「支援」といった語が特徴として多く出現しています。
内容例：柏市はとても住みよい所ですが、地域格差が目立つところだとも思っています。(原文ママ)

5章 調査票

本章では、参考資料として、調査に使用した調査票を掲載します。

柏市まちづくり推進のための調査

柏市役所からのご協力のお願い

日頃から市政について、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本調査の目的は、市民の皆様の意識や日頃の行動などをお伺いし、これまでの施策の取組の成果や今後の施策の進め方を見直す資料を作成することです。

個人を特定できる情報を取得する内容はありませんので、安心してご回答ください。

できるだけ多くの方のご意見を反映した調査を目指しておりますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどお願い申し上げます。

調査結果は、柏市ホームページで公表いたします。

令和6年6月19日 柏市長 太田和美

回答及び提出にあたってのお願い

- ◆ 封筒宛名のご本人様自身がご回答をお願いいたします。
- ◆ ご回答は、とくに断りがなければ、選択肢番号を **1** つ選んで選択肢に○(マル)をつけてください。
- ◆ **令和6年7月1日(月)**までに同封の返信用封筒でご返送いただきますようお願いいたします。

設問数
30問

所要時間
15分

柏市のイメージについて伺います

Q1. あなたは、現在の柏市が「子どもを安心して産み育てられるまち」だと思いますか。

1	2	3	4	5
とても思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	全く思わない	対象の子どもがおらずわからない

Q2. あなたは、現在の柏市の「教育環境は充実している」と思いますか。

1	2	3	4	5
とても思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	全く思わない	対象の子どもがおらずわからない

Q3. あなたの「お住まいの地域」は、人が集まるイベントや活動が盛んだと思いますか。

1	2	3	4	5
とても思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	全く思わない	わからない

Q4. 「柏市」は、人が集まるイベントや活動が盛んだと思いますか。

1	2	3	4	5
とても思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	全く思わない	わからない



【柏の葉エリア】についてお伺いします



Q5. あなたが「柏の葉エリア」と聞いて思い浮かぶ印象について、以下の選択肢からすべて選んでください

1. 駅前に大型ショッピングセンターがある
2. 環境に配慮している
3. 新しいビジネスにチャレンジする環境がある
4. 国際色が豊かである
5. 新しい交通※1 へ挑戦している
6. 健康に暮らせる機会が多い
7. 企業や市民と行政が協力している
8. 街並みがきれい
9. 大学と市民が関わる機会がある
10. バイオテクノロジー※2 の研究開発が行われている

※1 自動運転バスや電気自動車の走行中給電など。

※2 遺伝子や細胞、生命活動に関連する技術から、医療・創薬・食品などの開発を行うこと。

Q6. スマートシティではデジタル技術など新しい技術を活用し、社会課題の解決を目指しています。以下の選択肢のうち、あなたの生活で必要とするものを3つまで選んでください。

1. 脱炭素社会を実現する省エネルギーな暮らし
2. いつまでも健康で暮らせる仕組み
3. 好きな時に快適に移動できる交通手段
4. 安心できる暮らしを支える防犯システム
5. 災害状況を知らせてくれる情報ネットワーク
6. 地域的心声をまちづくりに反映できる仕組み
7. 生涯学べ、誰もが新しいことに挑戦できる環境
8. 新しい事業に挑戦できる仕組み
9. 最先端のがん予防、治療が受けられる環境
10. 国際的な交流が活発な環境



【手賀沼エリア】についてお伺いします

Q7. あなたが「手賀沼エリア」と聞いて思い浮かぶイメージについて、以下の言葉ごとに、あなたの気持ちに近いものを1つ選んでください。

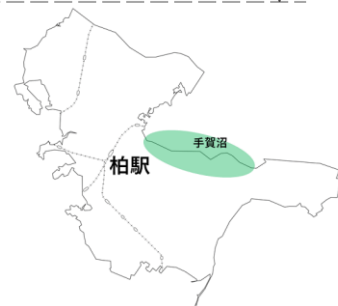
	とても	やや	でもない どっちかで	やや	とても	
庶民的な	1	2	3	4	5	高級な
落ち着いた	1	2	3	4	5	にぎやかな
閑散とした	1	2	3	4	5	混雑した
伝統的な	1	2	3	4	5	現代的な
親しみがある	1	2	3	4	5	洗練された
自然な	1	2	3	4	5	人工的な
日常的な	1	2	3	4	5	非日常的な
雑然とした	1	2	3	4	5	コンセプトのある
安らぎのある	1	2	3	4	5	創造的な

ご自身のイメージがどちらの単語のイメージに近いかを選んでください。

Q8. あなたは、「手賀沼エリア」に行ったことがありますか。

1
ある
↓
Q9へ

2
ない
↓
Q10へ



Q9. 「手賀沼エリア」に行った目的を以下の選択肢からすべて選んでください。

- 道の駅しょうなん
- 柏ふるさと公園
- 北柏ふるさと公園
- 手賀沼花火大会などのイベント
- ランニング・ウォーキング
- サイクリング
- キャンプ
- 水辺でのアクティビティ
- 農作業体験・収穫体験
- その他()

Q10. 柏市全域の人に「手賀沼エリア」がもっと利用される場となるために必要だと思うものを、2つまで選んでください。

- 交通アクセスの向上
- エリアの周知・PR活動
- 体験型アクティビティの設置
- 飲食店やカフェの誘致
- 小中学校での校外学習利用
- 農泊（農業体験＋民泊）
- 企業とのコラボイベント
- その他
()



健康についてお伺いします

Q11. あなたは、障がいや病気の有無に関わらず、健やかでいきいきと生活ができていると感じますか。

1	2	3	4	5
とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない

Q12. あなたは、普段から健康に気を付けていますか。

1	2	3
気を付けている	気を付けていないが、今後何かを始めるつもり	気を付けていない

お住まいの状況についてお伺いします

Q13. あなたが、柏市に住んでいる理由に近いものを以下の選択肢から2つまでお選びください。

1. 生まれたときから住んでいるから
2. 仕事の都合のため
3. 住宅の都合のため
4. 家族の都合のため
5. 結婚などライフステージの変化のため
6. 柏市に魅力を感じたため
7. 特に理由はない
8. その他
()

Q14. あなたが「お住まいの地域」の住み心地を教えてください。

1	2	3	4	5
住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	住みにくい

Q15. 上記のように思う理由に近いものを、以下の選択肢から3つまでお選びください。

1. 地域の人間関係
2. 自然環境
3. 道路の状況
4. 医療・福祉の環境
5. 子育ての環境
6. 通勤・通学の利便性
7. 公共交通機関の体制
8. 治安・防犯体制
9. 買い物の利便性
10. 公園等の公共施設環境
11. その他
()



Q16. あなたは、現在お住まいのところにこれからも住み続けたいと思いますか。

1	2	3	4
住み続けたいし、住み続けると思う	転居したいが、住み続けると思う	住み続けたいが、転居すると思う	転居したいし、転居すると思う

↓

Q17. (2または3を選んだ方に伺います)
理由について、以下の選択肢のうち最も近いものをお選びください。

1. 土地・家屋を所有しているため
2. 仕事の都合のため
3. 家族の都合のため
4. 地域の人間関係のため
5. 結婚などライフステージの変化のため
6. その他
()

柏市への気持ちについてお伺いします

Q18. あなたは、市外にお住まいの方に「柏市」を自慢できますか。

1	2	3	4	5
自慢できる	どちらかといえば自慢できる	どちらともいえない	どちらかといえば自慢できない	自慢できない

Q19. あなたは、「柏市」に愛着を持っていますか。

1	2	3
愛着をもっている	どちらともいえない	特に愛着はない

※ 以下の**Q20～21**について、気持ちの度合いを数値に○(マル)をして教えてください。

Q20. 友人や知人に柏市での居住をどれくらい勧めたいですか。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10											
勧めたくない											勧めたい

Q21. 柏市をより良くするための活動への参加や行動しようとする気持ちは、どの程度ですか。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10											
弱い											強い

Q22. 柏市をより良くしようと活動している人に感謝の気持ちを表すと、どの程度ですか。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10											
弱い											強い



柏市の取組への満足度について伺います

Q23.

次の各項目について、
あなたが感じている「現在の満足度」を教えてください。

		不 満	ど ち ら か と い え ば 不 満	ど ち ら と も い え ない	ど ち ら か と い え ば 満 足	満 足	対 象 者 で ない	対 象 者 が い ない
こ ど も	こどもたちが心身ともに健やかに育つ環境の整備	1	2	3	4	5	6	
	社会全体でこどもを育む環境の整備	1	2	3	4	5	6	
	妊娠から子育てまでの相談・支援体制の充実	1	2	3	4	5	6	
教 育	児童生徒にとって、安心して学習できる環境の整備	1	2	3	4	5	6	
	児童生徒が自ら学び続けることのできる教育の実施	1	2	3	4	5	6	
	地域をはじめとする、こどもたちの学びを支える環境の整備	1	2	3	4	5	6	
健 康	誰に対しても健康づくりのきっかけとなる取り組みの実施	1	2	3	4	5	6	
	医療・介護サービスがいつでも利用しやすい環境の整備	1	2	3	4	5	6	
	フレイル※1予防・介護予防の取り組みの実施	1	2	3	4	5	6	
高 齢 者 ・ 福 祉	高齢者がいきいきと過ごすための環境の整備	1	2	3	4	5	6	
	病気や障がいを抱える人への支援体制の充実	1	2	3	4	5	6	
	地域共生社会※2の実現	1	2	3	4	5	6	
経 済 ・ 活 力	柏駅周辺における賑わいや新たな魅力の創出	1	2	3	4	5	6	
	市内農産物の魅力の発信	1	2	3	4	5	6	
	地域ごとの個性や魅力を活かした取り組みの実施	1	2	3	4	5	6	
地 域 活 動	地域コミュニティの活発さ・自主性	1	2	3	4	5	6	
	地域イベントの実施	1	2	3	4	5	6	
	地域や柏市に対する愛着の促進	1	2	3	4	5	6	
生 涯 学 習	文化芸術・スポーツに参加しやすい環境の整備	1	2	3	4	5	6	
	自ら学ぶことのできる環境の整備	1	2	3	4	5	6	
	自らの学びを活かす場の創出	1	2	3	4	5	6	
環 境	緑や自然を身近に感じられる環境の充実	1	2	3	4	5	6	
	省エネ・創エネ等への取り組み・啓発の実施	1	2	3	4	5	6	
	身近に利用できる公園の充実	1	2	3	4	5	6	

※1 健康な状態と要介護状態の中間。身体機能や認知機能の低下が見られる状態のこと。

※2 地域の多様な主体が「支える側」「支えられる側」といった関係を越えて地域を共につくっていく社会。



		不 満	ど ち ら か と い え ば 不 満	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば 満 足	満 足	対 象 者 で な い	対 象 者 が い な い
交 通	交通渋滞の解消に向けた取り組み	1	2	3	4	5	6	
	段差の解消など歩きやすい環境の整備	1	2	3	4	5	6	
	出かけやすい鉄道・バスなどの市内交通網の整備	1	2	3	4	5	6	
消 防 災 ・ 救 急	避難施設の充実や防災備蓄など自然災害への備え	1	2	3	4	5	6	
	災害発生に備えた、自助・共助による防災力向上への支援	1	2	3	4	5	6	
	迅速で的確な消防・救急体制の充実	1	2	3	4	5	6	
安 心	安心して暮らせるまちづくりの推進	1	2	3	4	5	6	
	消費者トラブルに対する支援体制の充実	1	2	3	4	5	6	
	健康危機※3へ対応する体制の充実	1	2	3	4	5	6	

※3 新型コロナウイルス感染症の流行・まん延など、何らかの原因により生ずる生命・健康の安全を脅かす事態。

Q24. 柏市の取組全体の満足度を教えてください。

1	2	3	4	5
満足	どちらかといえ ば満足	どちらともい えない	どちらかとい え ば 不 満	不 満

あなた自身のことについてお伺いします

Q25. あなたの性別を教えてください。

1	2	3
男	女	その他

Q26. あなたの年齢を教えてください。

1	2	3	4	5
18歳～ 22歳	23歳～ 35歳	36歳～ 50歳	51歳～ 64歳	65歳 以上

Q27. あなたの家族構成を教えてください。

1	2	3	4	5
単 身 世 帯	夫婦のみ 世帯(同棲 を含む)	夫婦とこども 世帯	親、子、孫 などの三 世代以上	その他

Q28. 柏市以外での居住経験はありますか。

1	2
ある	ない

Q29. 柏市に住んでいる期間はどれくらいですか。

1	2	3	4	5
1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	出生時 から

Q30. あなたの家の郵便番号を教えてください。

2	7		—				
---	---	--	---	--	--	--	--



自由記入欄

ご協力いただき誠にありがとうございました。

施策に もう一声

令和5年5月号から「広報かしわ」が全戸配布になったことをご存じですか？
柏市では「伝わる」情報発信として様々なことに取り組んでいきます。
ぜひご意見をお聞かせください。

① あなたの誌面版「広報かしわ」の閲覧状況を教えてください。

1	2	3	4	5
基本的に全部 の記事を読む	興味のある 記事だけを 読む	パラパラめ くる程度	読まない	届いて いない

② (3または4を選んだ方に伺います)
あなたは、市役所が発信する情報をどの公式媒体
から得ていますか。
以下の選択肢からすべてお選びください。

1. ホームページ
2. LINE
3. メール配信サービス
4. X(旧Twitter)
5. 電子版の広報かしわ
6. 市役所からの情報は得ていない

③ あなたは、日頃どこで見た広告が印象に残っていますか。

以下の選択肢から3つまでお選びください。

1. SNS上の広告
2. 電車内のポスター・モニター
3. 駅構内のポスター・モニター
4. バスの車内ポスター
5. バスの車内アナウンス
6. ラッピング車両※1
7. 飲食店の卓上広告
8. その他 ()

※1 バスや電車の車体全面に広告をあしらったもの。

発 行 年 月: 令和6年12月

発 行 ・ 編 集: 柏市企画部 経営戦略課 データ分析室

〒277-0004

千葉県柏市柏下73番地 柏市中央体育館管理棟2階

☎04-7167-1099